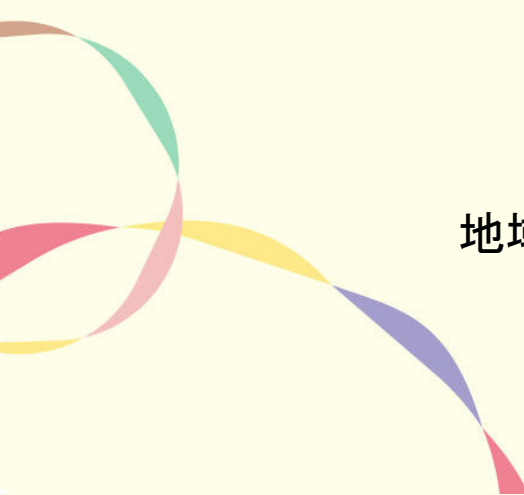


名古屋市孤独・孤立に関する調査
調査報告書

令和8年1月

名古屋市健康福祉局

地域共生推進部地域共生推進課



目 次

第1 調査の概要	1
第2 結果の概要	3
1 孤独の状況	3
2 孤立の状況	44
3 自由意見	64
【参考】孤立に関する指標(研究会における試案)	67
第3 単純集計結果付き調査票	73

利用上の注意

- 本書は令和7年に実施した「名古屋市孤独・孤立に関する調査」の調査結果の概要を取りまとめたものであり、この「調査結果の概要」も含め、集計した結果は本市の今後の施策の基礎資料とさせていただきます。
- 本文、表、グラフなどに使われている(n)は、各質問に対する回答者数です。回答不詳等がある場合、全体の数とは一致しません。
- 結果は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入しています。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがあります。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とすることを原則としました。
- 複数回答(2つ以上選んでよい質問)においては、合計が100%を超える場合があります。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- 本文中にある「全国調査」、図にある「(参考)全国」の数値は、内閣府孤独・孤立対策推進室が実施した「人々のつながりに関する基礎調査(令和6年)調査報告書」に基づくものです。
- 孤独の状況は、直接質問では「しばしばある・常にある」、間接質問では孤独感スコアが「10～12点(常にある)」と回答した人の割合を中心に分析しています。
- クロス集計の結果の分析において、回答者数(n)が18を下回るものについては、参考値の扱いとしています。
- 本書に掲載されたデータを引用・転載する場合には、出典の表記をお願いいたします。
(例: 出典:「名古屋市孤独・孤立に関する調査 調査報告書」)

第1 調査の概要

1 調査の目的

名古屋市における孤独・孤立の実態を把握し、今後の孤独・孤立対策事業及び関連行政施策の基礎資料とすることを目的として実施(調査は統計法(平成19年法律第53号)に基づく一般統計調査として実施)

2 調査の対象等

- (1) 調査の対象:名古屋市内に居住する満16歳以上の個人
- (2) 調査対象者数:10,000人(住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定)

3 調査事項

(1) 孤独に関する事項

孤独感(直接質問・間接質問)、孤独感の継続期間、これまでに経験したライフイベント(孤独感に強く影響を与えたと思う出来事)

(2) 孤立に関する事項

家族や友人たちとのコミュニケーション手段や頻度、社会活動への参加状況、行政機関・NPO等からの支援の状況、他者へのサポート意識

(3) その他関連事項

外出頻度、外出目的、行動範囲、困った時に頼れる人の有無・頼れる相手、不安や悩みの相談相手の有無・相談相手、気軽に話せる相手の有無、不安や悩みを相談することについての感情、日常生活における不安や悩みの有無・内容、心身の健康状態、現在の生活の満足度、スマートフォンの使用時間・必要性、孤独・孤立の問題に関して日頃感じていること

(4) 属性事項

年齢、性別、配偶者の有無、子どもの有無、世帯構成・世代、同居の子どもの有無・末子の年齢、居住人数、教育(最終学歴)、就業状態(現在の仕事)、家族の介助や看病の有無、居住形態(住宅の種類)、世帯の年間収入、経済的な暮らし向き

4 調査の方法等

- (1) 調査期間:令和7年6月16日～令和7年7月13日
- (2) 調査の流れ:名古屋市健康福祉局地域共生推進部地域共生推進課→調査実施事務局(株式会社BIZPOWER)→調査対象者
- (3) 調査の方法
 - ①令和7年6月中旬に調査実施事務局から調査対象者あてに調査書類を郵送
 - ②調査対象者は「オンラインにより回答」又は「調査票に回答を記入の上、郵送により回答」のいずれかの方法を選択し、令和7年7月13日までに回答

5 有効回答率

この調査における回収数は4,110件(白紙回答を除く)で、上記3(1)から(3)のいずれかに回答があ

る調査票を有効回答として取り扱い、有効回答率は41.1%（調査書類送付数：10,000件、有効回答者数 4,108人）であった。回答方法別では郵送による回答が86.2%、オンラインによる回答が13.8%であった。

6 集計対象数

この調査における集計対象数は、次のとおりであった。

◇性別

	全体	男性	女性	その他（どちらとも いえない・わからない ・答えたくない）	無回答
名古屋市	4,108 [100.0]	1,767 [43.0]	2,298 [55.9]	15 [0.4]	28 [0.7]
（参考）全国	10,871 [100.0]	5,030 [46.3]	5,714 [52.6]	80 [0.7]	47 [0.4]

※「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」は、男性・女性と比較して回答者が少なく、偏りが生じるため、本書内の性別の集計からは除外している。

[]内の数値は構成比（%）

◇年齢

	全体	16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	無 回 答	（再掲）		
											20 ～ 64 歳	65 ～ 74 歳	75 歳 以上
名古屋市	4,108 [100.0]	21 [0.5]	38 [0.9]	150 [3.7]	366 [8.9]	509 [12.4]	892 [21.7]	1,164 [28.3]	838 [20.4]	130 [3.2]	1,466 [35.7]	1,036 [25.2]	1,455 [35.4]
（参考）全国	10,871 [100.0]	306 [2.8]	839 [7.7]	1,112 [10.2]	1,572 [14.5]	1,914 [17.6]	1,909 [17.6]	2,030 [18.7]	1,189 [10.9]	- [-]	6,363 [58.5]	2,018 [18.6]	2,184 [20.1]

[]内の数値は構成比（%）

◇性別・年齢階級別

	全 体	男性 全体	男性								無 回 答
			16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	
名古屋市	4,108 [100.0]	1,767 [43.0]	14 [0.3]	16 [0.4]	54 [1.3]	139 [3.4]	211 [5.1]	413 [10.1]	548 [13.3]	328 [8.0]	44 [1.1]
（参考）全国	10,871 [100.0]	5,030 [46.3]	148 [1.4]	398 [3.7]	500 [4.6]	681 [6.3]	863 [7.9]	923 [8.5]	998 [9.2]	519 [4.8]	- [-]

	女性 全体	女性								無 回 答	その他・無 回答
		16 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上		
名古屋市	2,298 [55.9]	6 [0.1]	22 [0.5]	95 [2.3]	224 [5.5]	289 [7.0]	477 [11.6]	615 [15.0]	508 [12.4]	62 [1.5]	43 [1.0]
（参考）全国	5,714 [52.6]	152 [1.4]	430 [4.0]	600 [5.5]	870 [8.0]	1,023 [9.4]	967 [8.9]	1,012 [9.3]	660 [6.1]	- [-]	127 [1.2]

[]内の数値は構成比（%）

第2 結果の概要

1 孤独の状況

(1) 本調査における孤独感の把握方法

孤独という主観的な感情をより的確に把握するため、この調査では、以下の2種類の質問により孤独感を把握した。

①直接質問

以下のとおり「孤独」について、直接的に質問する内容となっている。

あなたはどの程度、孤独（ひとりぼっちと感じる精神的な状態）であると感じることがありますか。

1 決してない	4 時々ある
2 ほとんどない	5 しばしばある・常にある
3 たまにある	

②間接質問

間接質問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)のラッセル氏が、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA 孤独感尺度」¹の日本語版²の3項目短縮版³に基づくもので、以下の3つの設問への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価する内容となっている。設問に「孤独」という言葉を使用せずに孤独感を把握することから、この調査ではこれを間接質問と呼んでいる。

今回の調査結果の取りまとめに当たっては、3つの設問それぞれへの回答について、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて、便宜的に「10～12点」(常にある)、「7～9点」(時々ある)、「4～6点」(ほとんどない)、「3点」(決してない)の4区分に整理した。

あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

あなたは、自分は他の人たちから孤立（社会とのつながりや助けの無い又は少ない状態）していると感じることはありますか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

1 Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. J Pers Assess. 1996;66(1):20-40.

2 舩田ゆづり,田高悦子,他:高齢者における日本語版 UCLA 孤独感尺度(第3版)の開発とその信頼性・妥当性の検討,日本地域看護学会誌.15(1):25-32,2012.

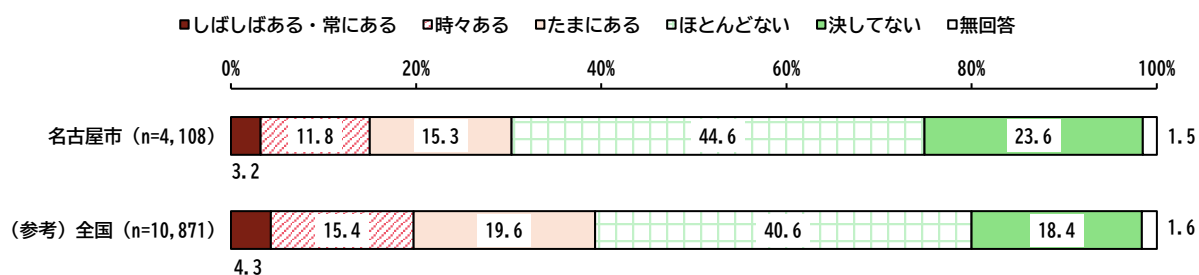
3 Arimoto A & Tadaka E:Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

(2) 孤独の状況(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は 3.2%、「時々ある」が 11.8%、「たまにある」が 15.3%となっている。一方、孤独感が「ほとんどない」と回答した人の割合は 44.6%、「決してない」が 23.6%となっている。

全国調査と比較すると、「しばしばある・常にある」、「時々ある」及び「たまにある」の割合が低くなっている。

【図 1－1】孤独の状況（直接質問）（名古屋市、全国）

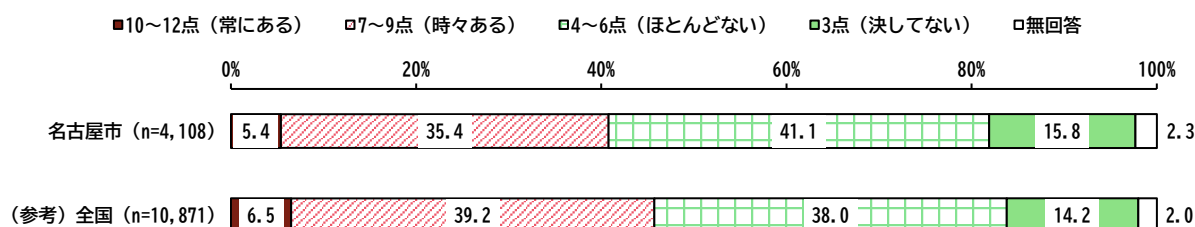


(3) 孤独の状況(間接質問)

「UCLA 孤独感尺度」に基づく孤独感スコアでは、「10～12 点(常にある)」という人の割合は 5.4%、「7～9 点(時々ある)」が 35.4%、「4～6 点(ほとんどない)」が 41.1%、「3 点(決してない)」が 15.8%となっている。

全国調査と比較すると、「常にある」及び「時々ある」の割合が低くなっている。

【図 1－2】孤独の状況（間接質問）（名古屋市、全国）

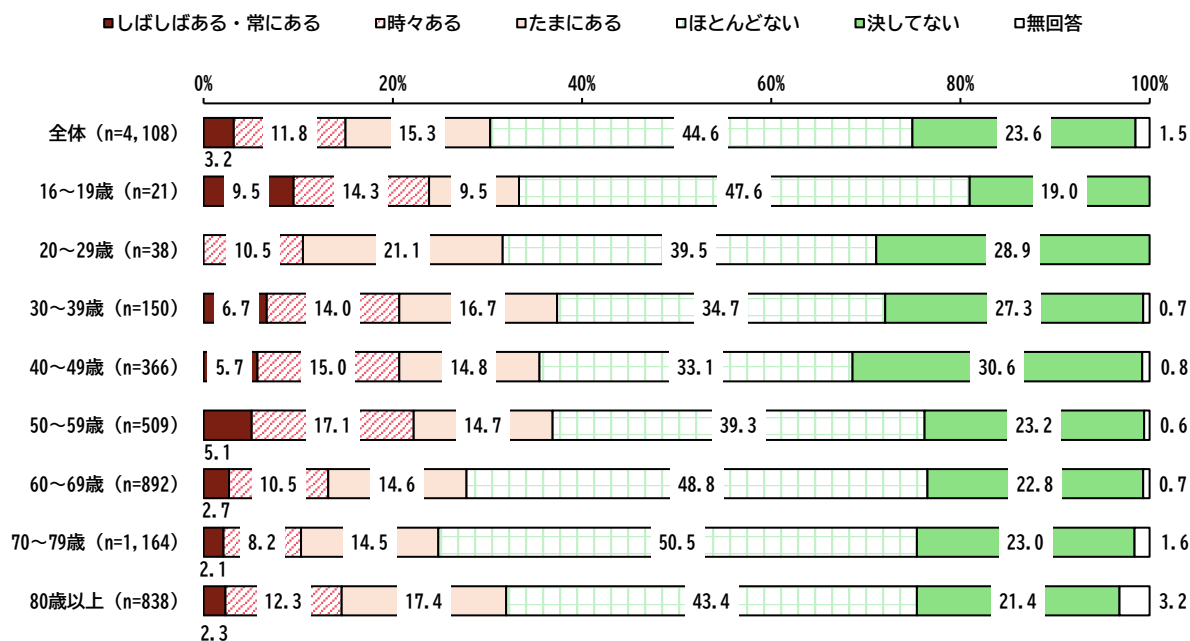


次ページ以降、「(参考) 全国」の記載のない図表は、名古屋市の結果であることを表す。

(4) 年齢階級別孤独感(直接質問)

孤独感を年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、16～19 歳で最も高くなっており、30 歳代から 70 歳代までは年齢が高くなるにつれて低くなっているが、80 歳以上で再び高くなっている。

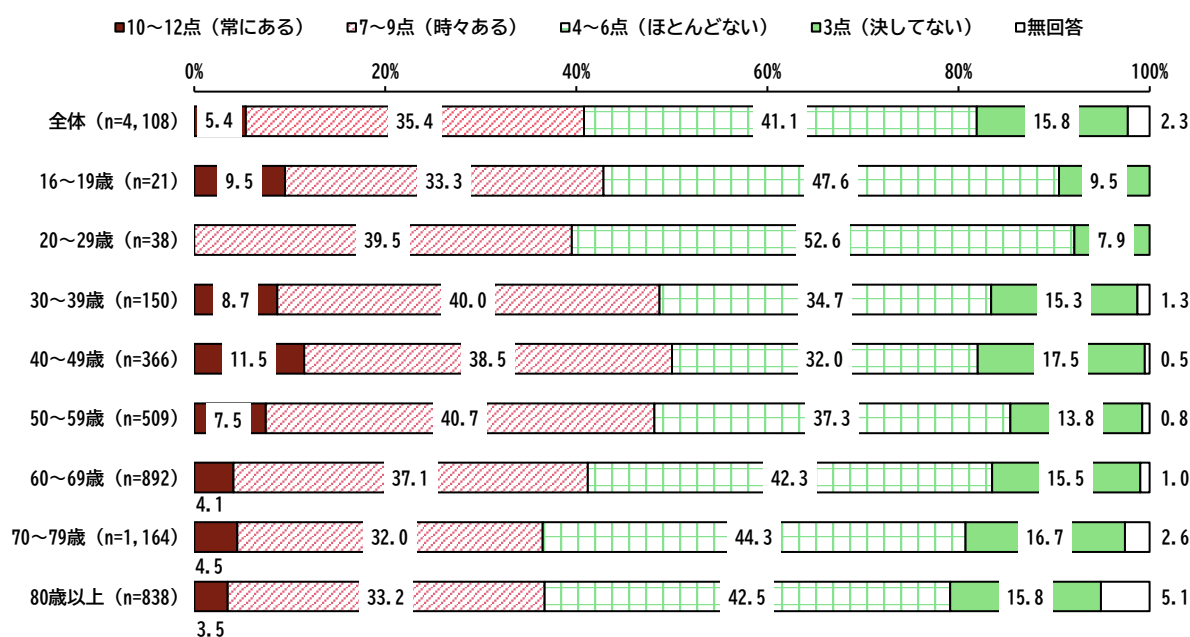
【図 1－3】年齢階級別孤独感（直接質問）



(5) 年齢階級別孤独感(間接質問)

孤独感スコアを年齢階級別にみると、スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、16～19 歳、30 歳代から 50 歳代で高くなっている。

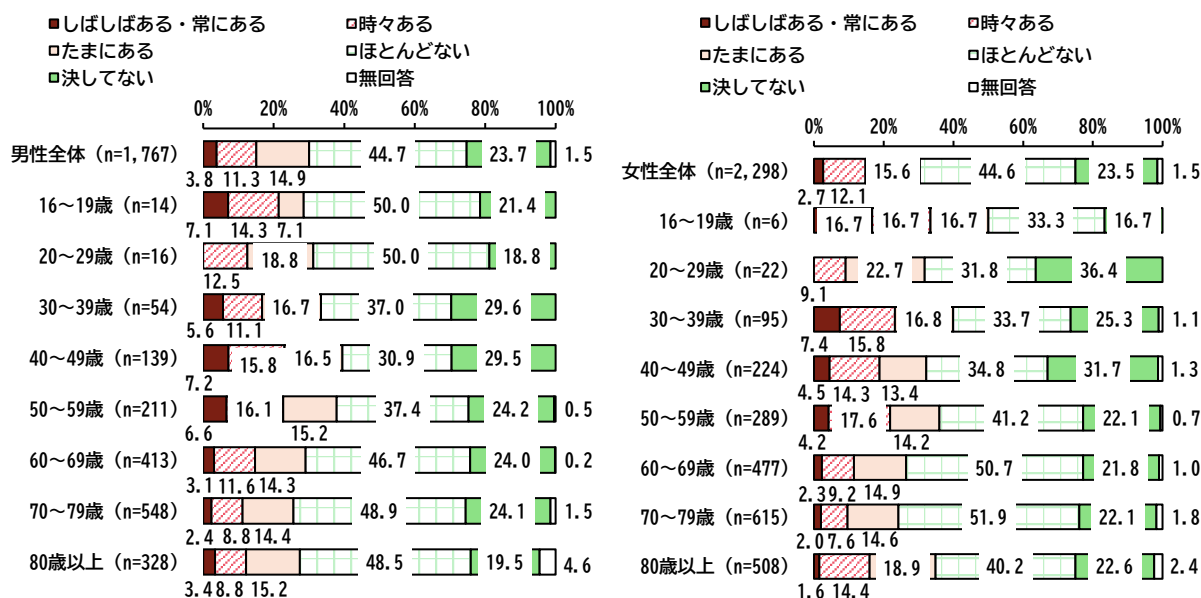
【図 1－4】年齢階級別孤独感（間接質問）



(6) 男女、年齢階級別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性が 3.8%、女性が 2.7%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男女ともに 30 歳代から 50 歳代で高くなっている。

【図 1-5】男女、年齢階級別孤独感(直接質問)

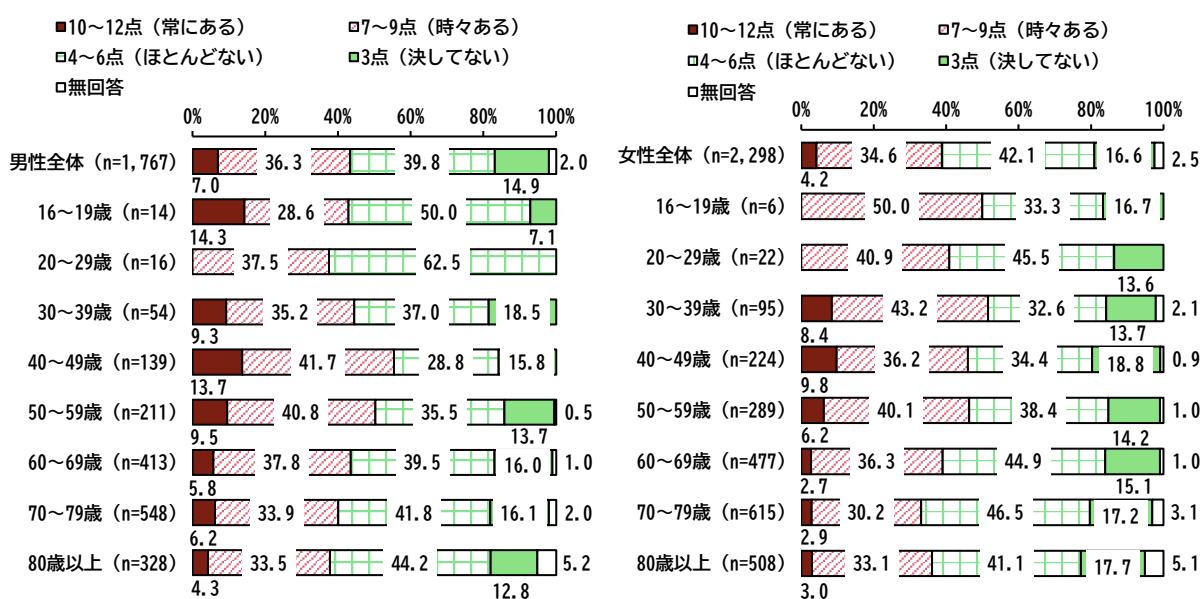


(注) 男性及び女性の「16~19 歳」及び男性の「20~29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(7) 男女、年齢階級別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10~12 点(常にある)」という人の割合は、男性が 7.0%、女性が 4.2% となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男女ともに 30 歳代から 50 歳代で高くなっている。

【図 1-6】男女、年齢階級別孤独感(間接質問)



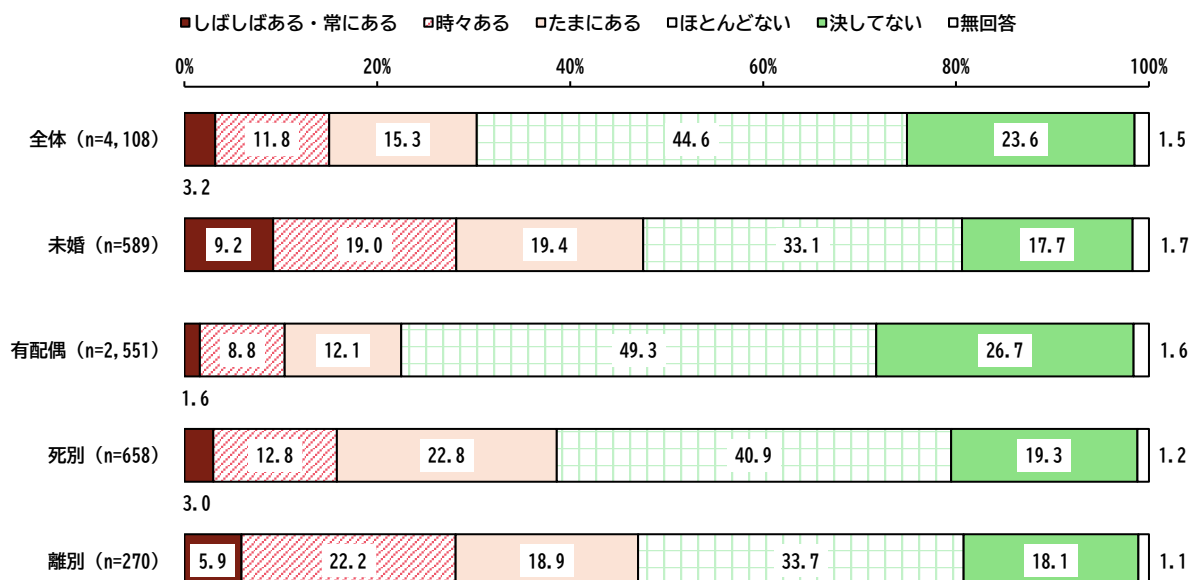
(注) 男性及び女性の「16~19 歳」及び男性の「20~29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(8) 配偶者の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「未婚」及び「離別」で高くなっている。

なお、本調査では、配偶者には事実上、夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含めている。

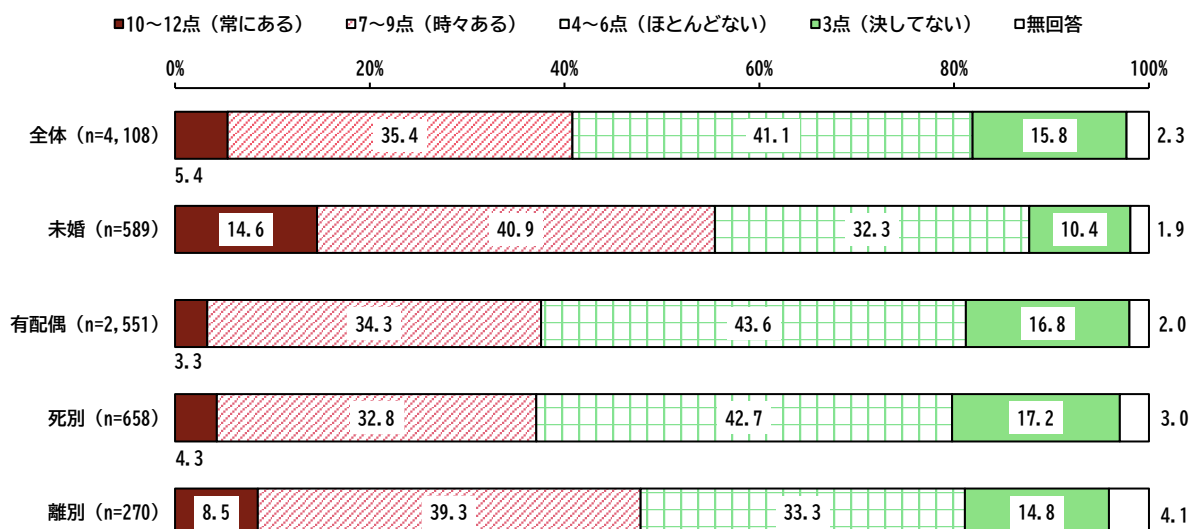
【図 1－7】 配偶者の有無別孤独感（直接質問）



(9) 配偶者の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、「未婚」及び「離別」で高くなっている。

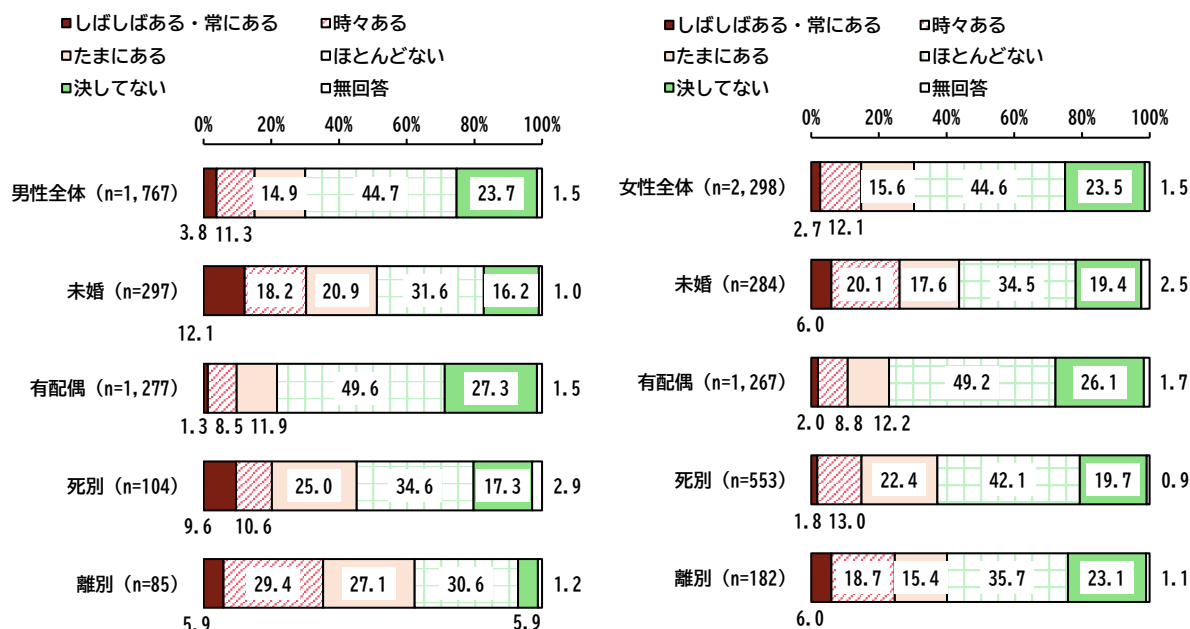
【図 1－8】 配偶者の有無別孤独感（間接質問）



(10) 男女、配偶者の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性は「未婚」及び「死別」、女性は「未婚」及び「離別」で高くなっている。

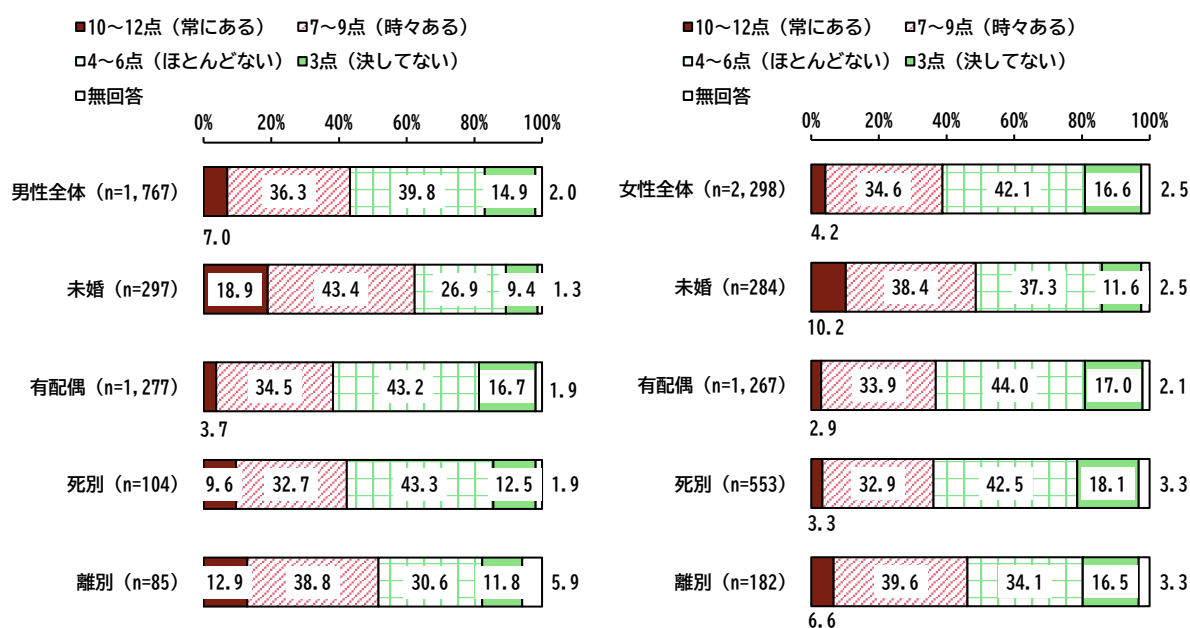
【図 1－9】男女、配偶者の有無別孤独感（直接質問）



(11) 男女、配偶者の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、男女とも「未婚」及び「離別」で高くなっている。

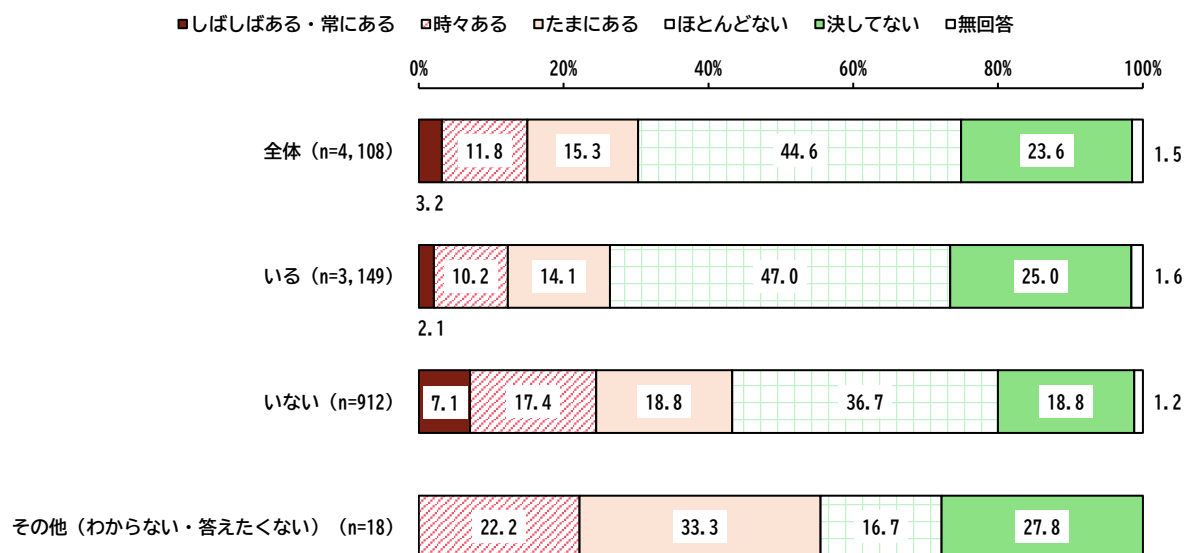
【図 1－10】男女、配偶者の有無別孤独感（間接質問）



(12) 子どもの有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、子どもが「いる」で2.1%、「いない」で7.1%である。

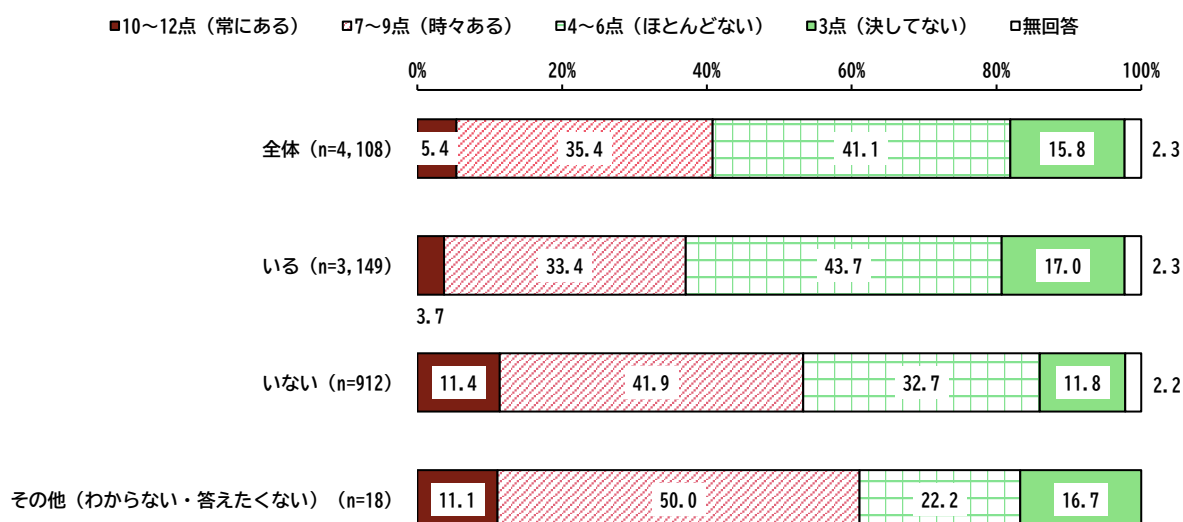
【図 1－11】子どもの有無別孤独感（直接質問）



(13) 子どもの有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、子どもが「いる」で 3.7%、「いない」では 11.4%である。

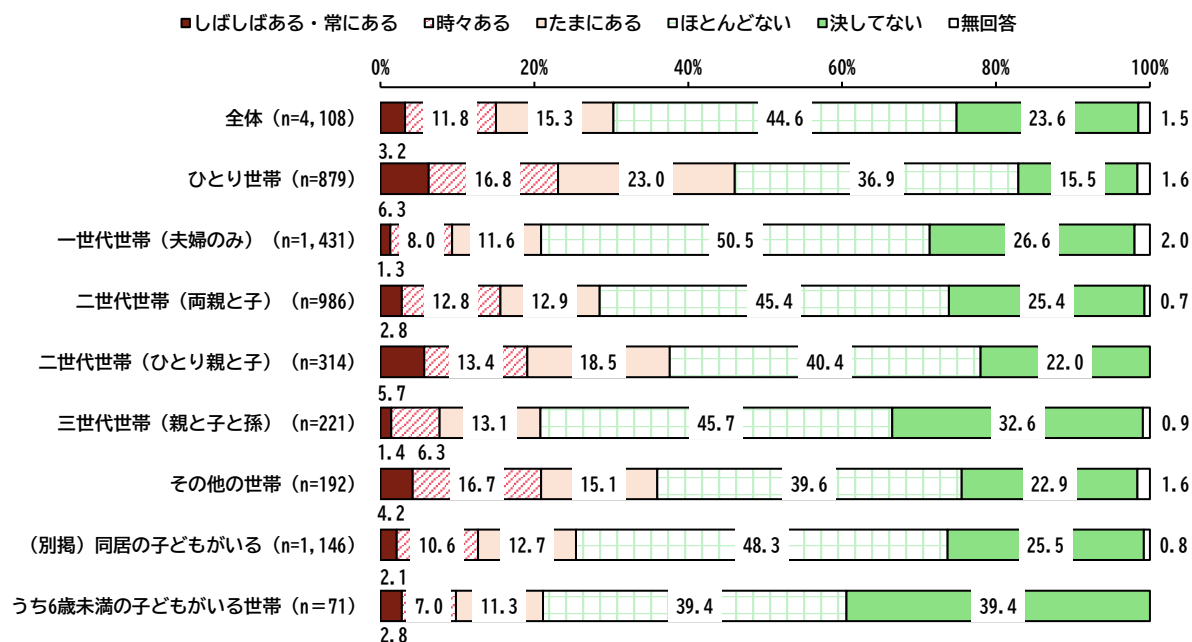
【図 1－12】子どもの有無別孤独感（間接質問）



(14) 世帯構成別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「ひとり世帯」及び「二世世代世帯(ひとり親と子)」で高くなっている。

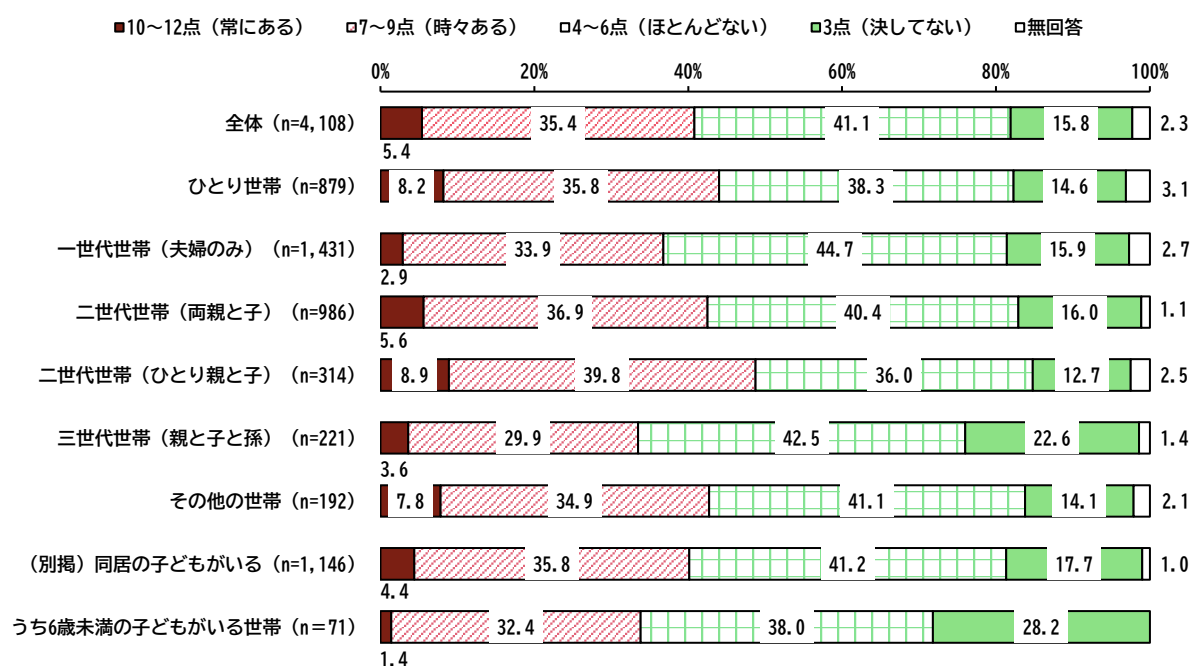
【図 1-13】世帯構成別孤独感(直接質問)



(15) 世帯構成別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、「ひとり世帯」及び「二世世代世帯(ひとり親と子)」で高くなっている。

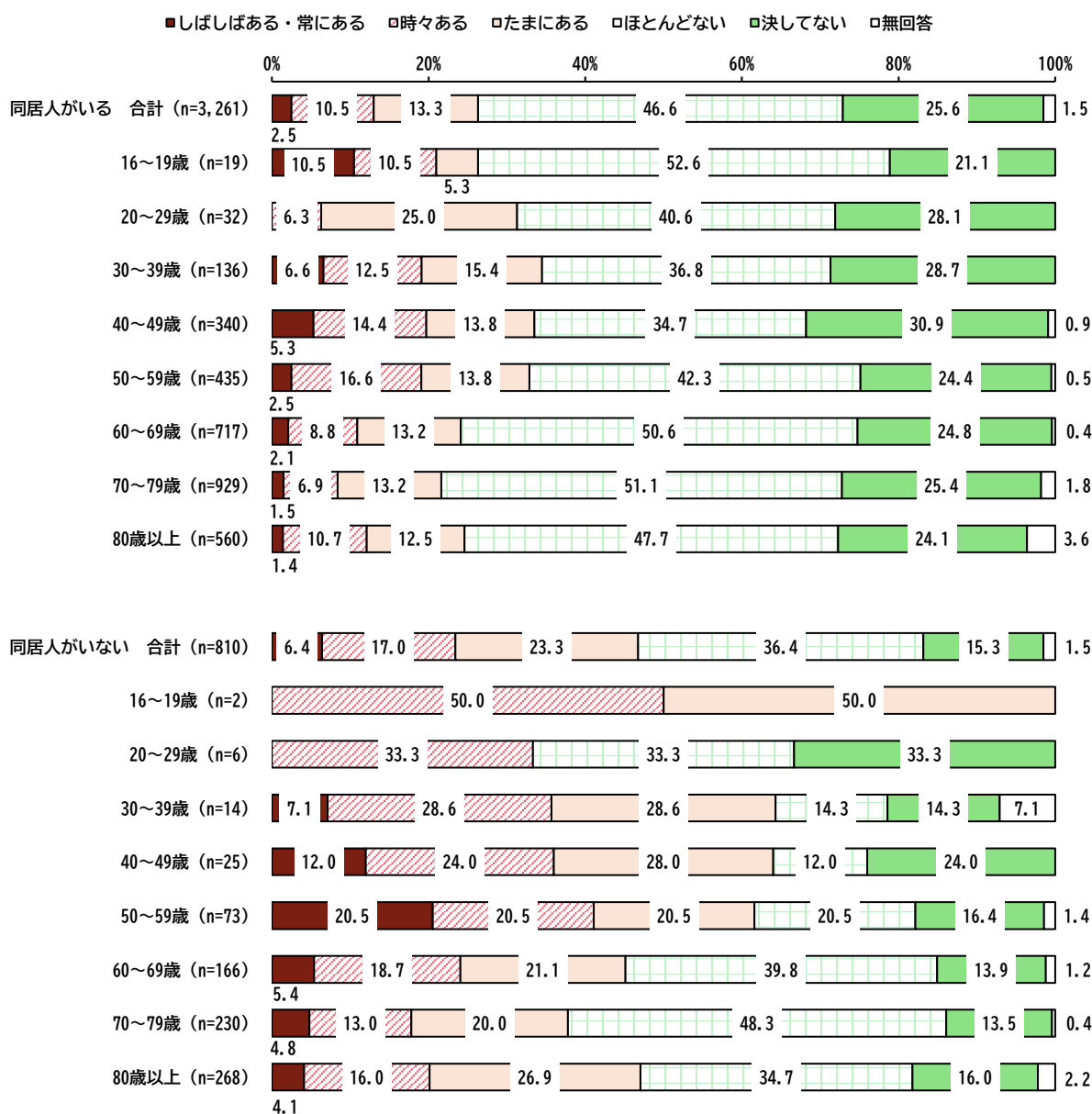
【図 1-14】世帯構成別孤独感(間接質問)



(16) 同居人の有無、年齢階級別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「同居人がいる」で 2.5%、「同居人がいない」で 6.4%となっている。これを同居人の有無、年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人では 16～19 歳が最も高く、次いで 30 歳代、40 歳代となっている。同居人がいない人では 50 歳代が最も多く、次いで 40 歳代となっている。

【図 1-15】同居人の有無、年齢階級別孤独感(直接質問)



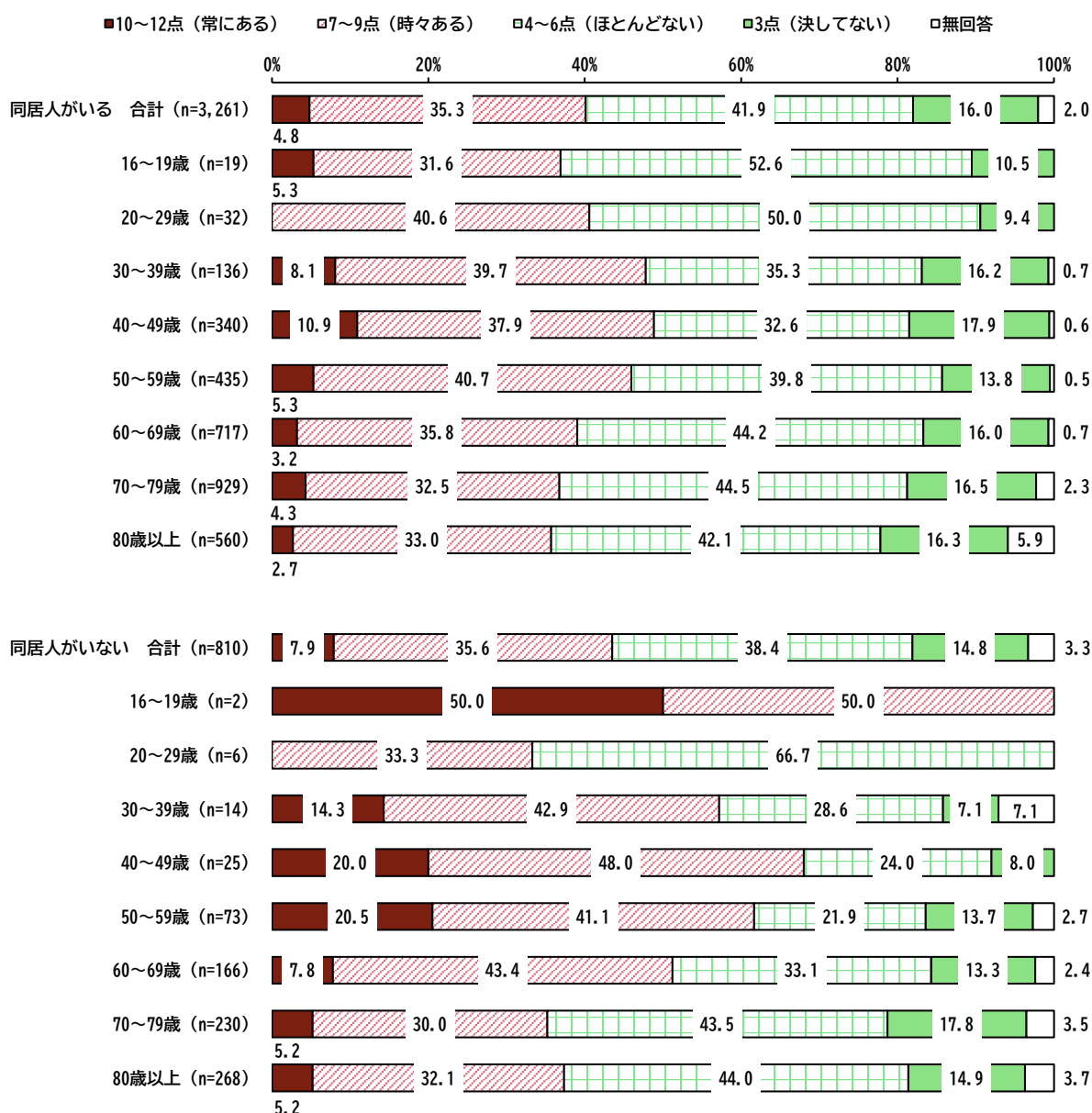
(注 1) 同居人の有無は、居住人数(問6)への回答を基準に判定している。なお、居住人数(問6)が無回答、かつ同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度(問 16(2))に回答がある場合及び、居住人数(問6)が無回答、かつ世帯構成(問 5)で「ひとり世帯」以外に回答がある場合は、「同居人がいる」と判定している。

(注 2) 16～19 歳、20 歳代及び 30 歳代の「同居人がいない」は、回答者数が些少のため、参考値。

(17) 同居人の有無、年齢階級別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、「同居人がいる」で 4.8%、「同居人がいない」で 7.9%となっている。これを同居人の有無、年齢階級別にみると、孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、同居人がいる人では 30 歳代及び 40 歳代で、同居人がいない人では 40 歳代及び 50 歳代で高くなっている。

【図 1－16】同居人の有無、年齢階級別孤独感(間接質問)



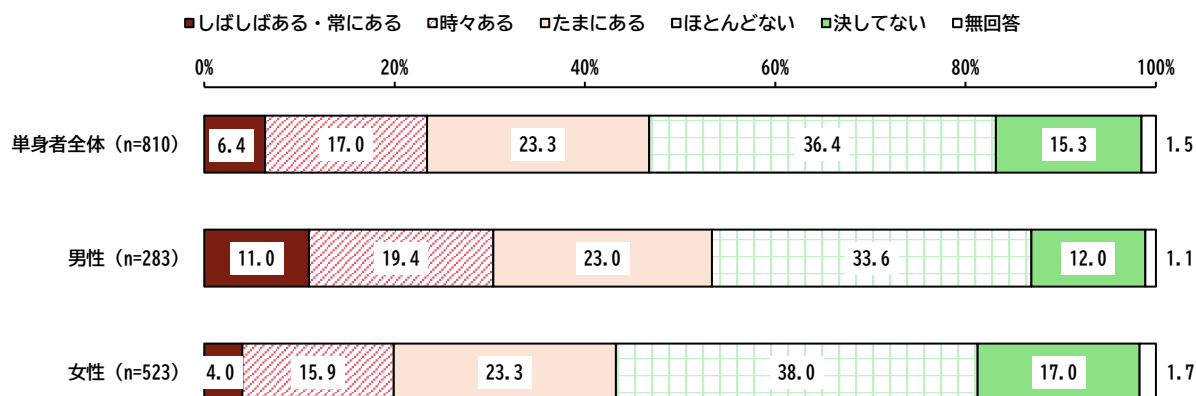
(注 1) 同居人の有無は、図 1-15 と同様に判定している。

(注 2) 16～19 歳、20 歳代及び 30 歳代の「同居人がいない」は、回答者数が些少のため、参考値。

(18) 男女別単身者の孤独感(直接質問)

単身者の孤独感を男女別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性で11.0%、女性で4.0%となっている。

【図1-17】男女別単身者の孤独感(直接質問)

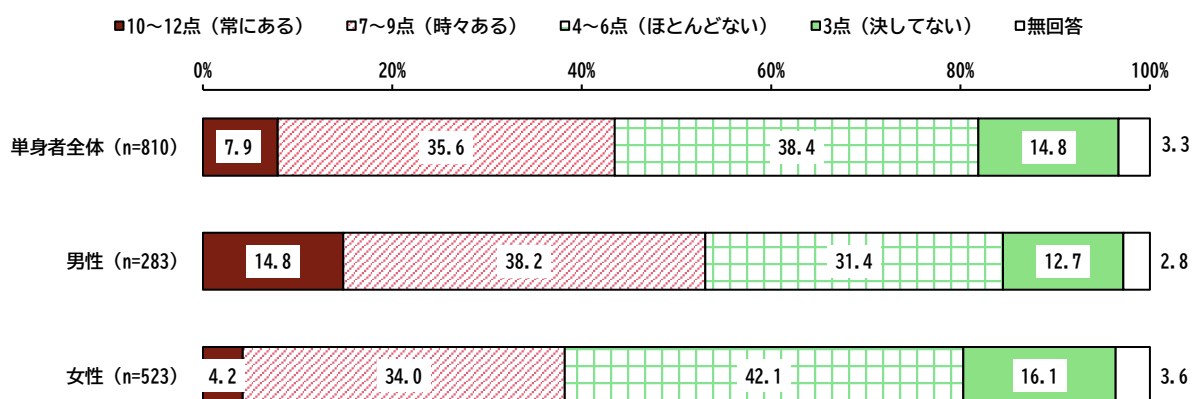


(注)「単身者」は「同居人がいない」と判定された者としており、性別(問2)への回答によって「男性単身者」と「女性単身者」に区分している。同居人の有無は、居住人数(問6)への回答を基準に判断している。なお、居住人数(問6)が無回答、かつ同居している人たちの直接会話によるコミュニケーション頻度(問16(2))に回答がある場合及び、居住人数(問6)が無回答、かつ世帯構成(問5)で「ひとり世帯」以外に回答がある場合は、「同居人がいる」と判定している。

(19) 男女別単身者の孤独感(間接質問)

単身者の孤独感スコアを男女別にみると、スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、男性で14.8%、女性で4.2%となっている。

【図1-18】男女別単身者の孤独感(間接質問)

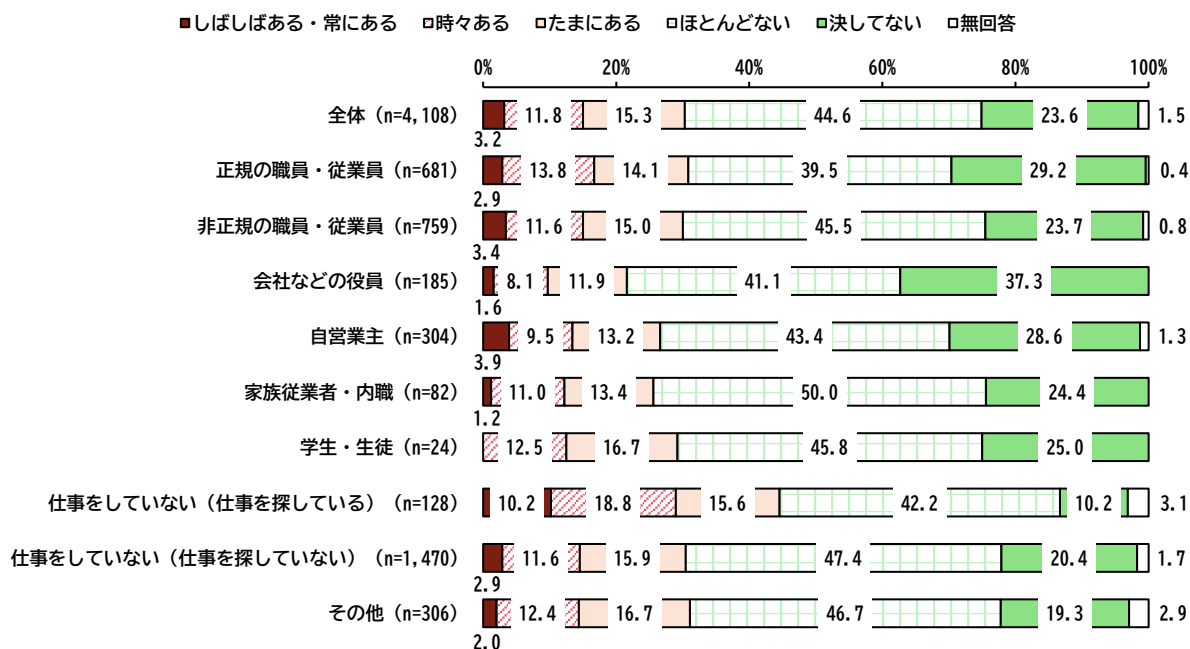


(注)「単身者」は、図1-17と同様に判定している。

(20) 現在の仕事別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「仕事をしていない(仕事を探している)」で最も高くなっている。

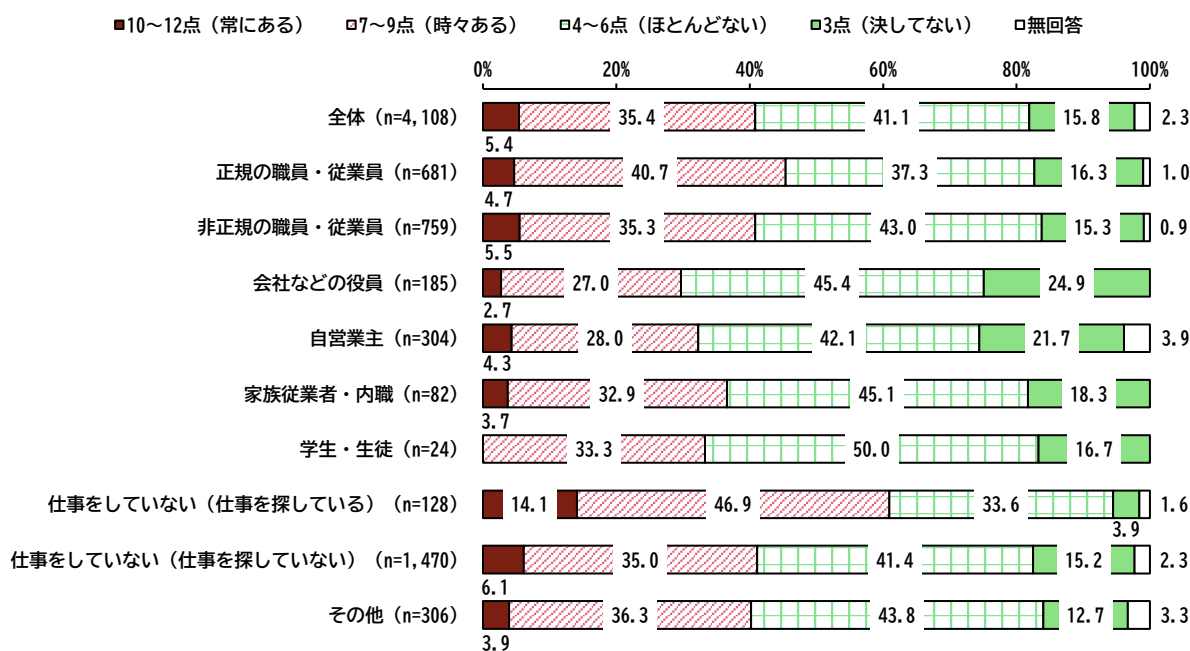
【図 1-19】現在の仕事別孤独感(直接質問)



(21) 現在の仕事別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、「仕事をしていない(仕事を探している)」及び「仕事をしていない(仕事を探していない)」で高くなっている。

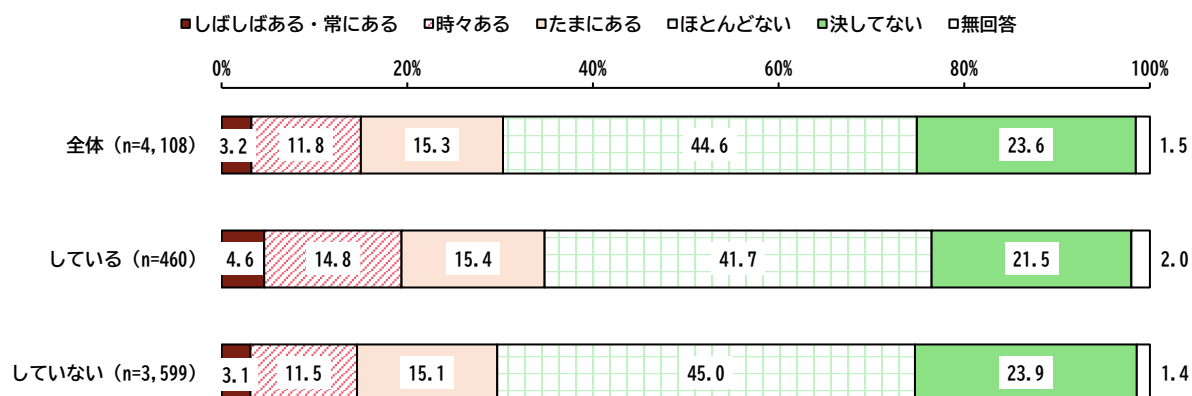
【図 1-20】現在の仕事別孤独感(間接質問)



(22) 家族の介助や看病の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、家族の介助や看病を「している」で 4.6%、「していない」で 3.1%となっている。

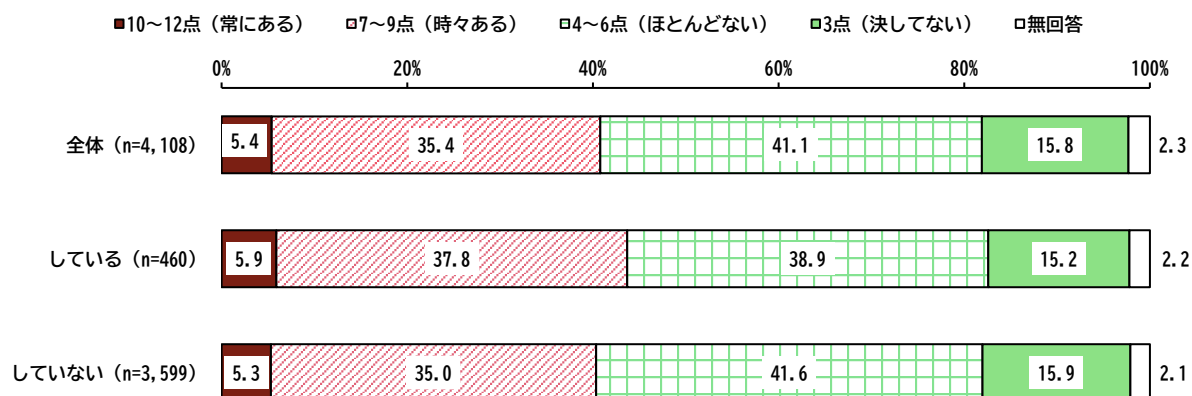
【図 1－21】 家族の介助や看病の有無別孤独感（直接質問）



(23) 家族の介助や看病の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、「している」で 5.9%、「していない」では 5.3%となっている。

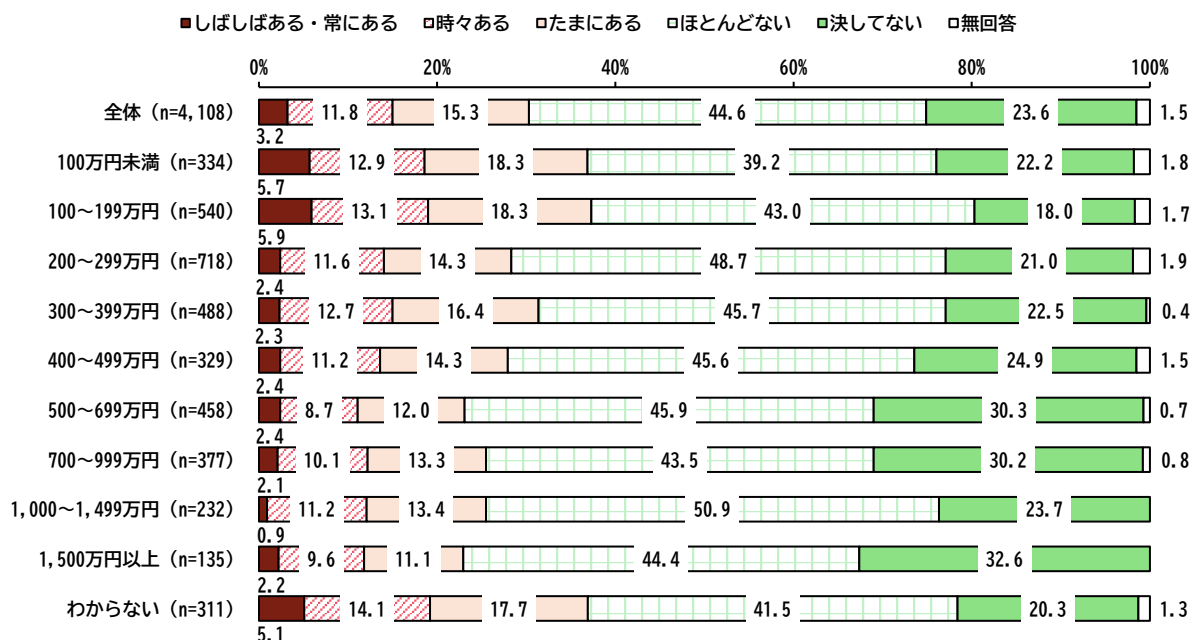
【図 1－22】 家族の介助や看病の有無別孤独感（間接質問）



(24) 世帯の年間収入別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、年収が「100 万円未満」、「100～199 万円」及び「わからない」で高くなっている。

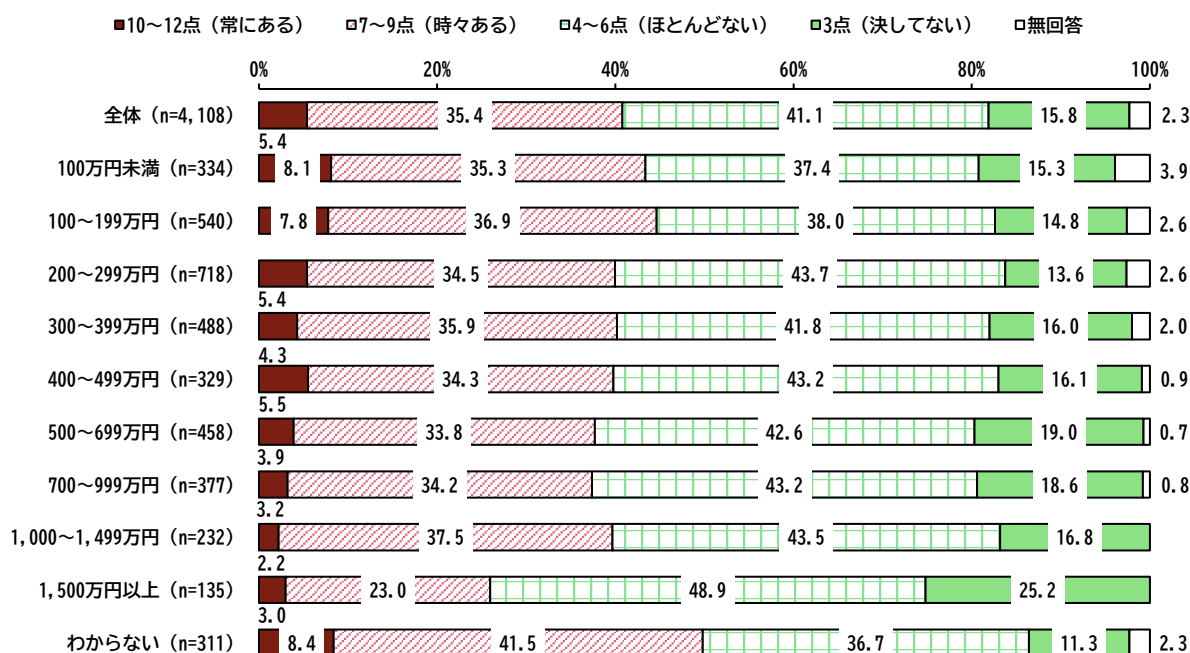
【図 1－23】世帯の年間収入別孤独感（直接質問）



(25) 世帯の年間収入別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、年収が「100 万円未満」、「100～199 万円」及び「わからない」で高くなっている。

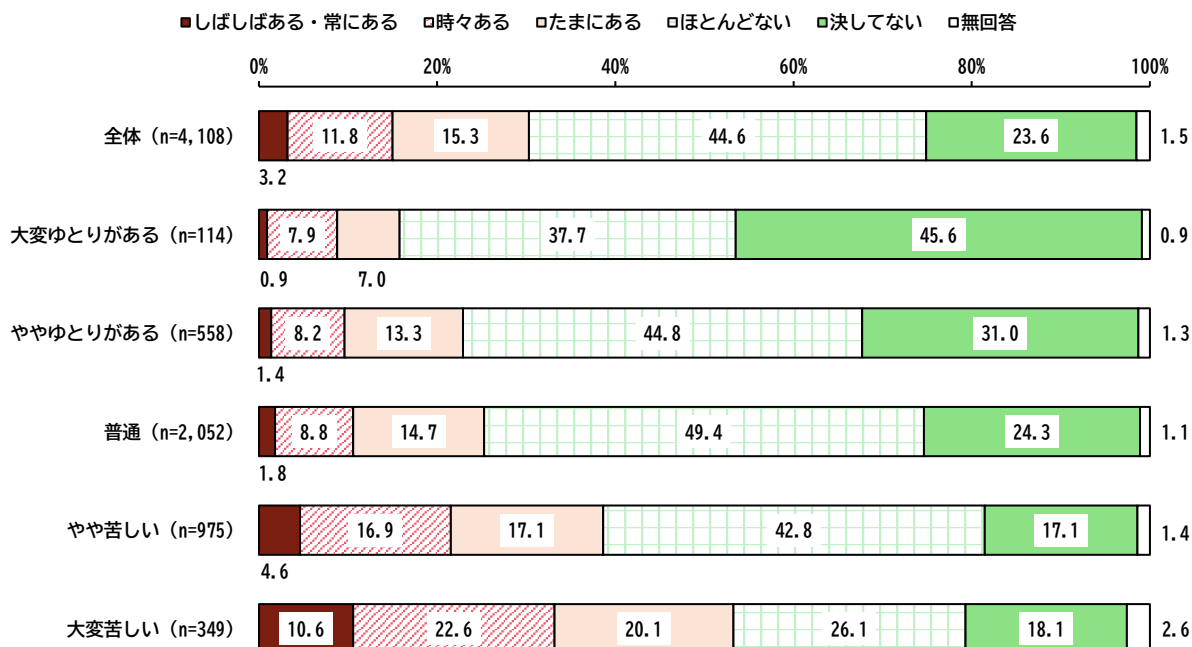
【図 1－24】世帯の年間収入別孤独感（間接質問）



(26) 経済的な暮らし向き別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「大変苦しい」で高くなっている。

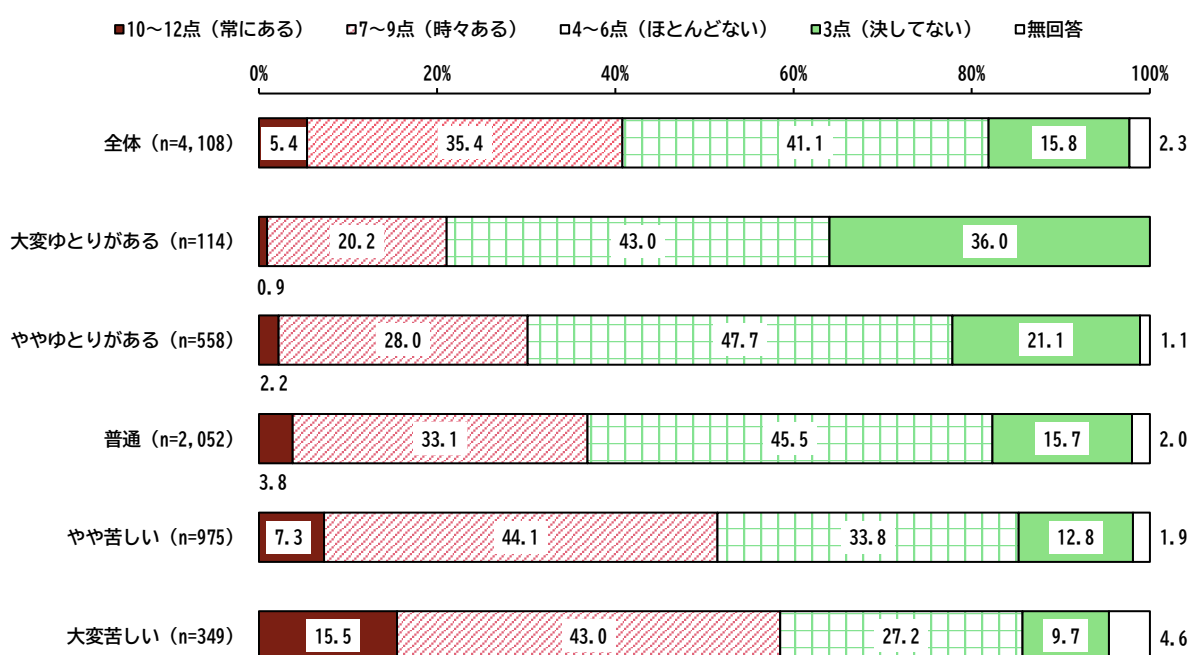
【図 1－25】経済的な暮らし向き別孤独感(直接質問)



(27) 経済的な暮らし向き別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、「大変苦しい」及び「やや苦しい」で高くなっている。

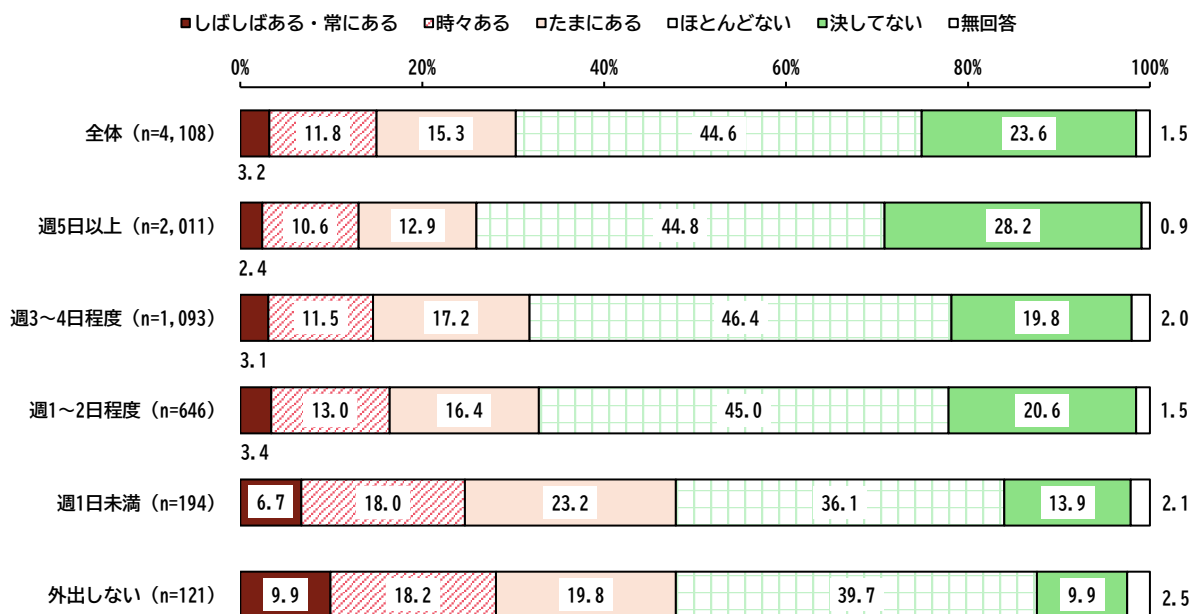
【図 1－26】経済的な暮らし向き別孤独感(間接質問)



(28) 外出頻度別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「週1日未満」及び「外出しない」で高くなっている。

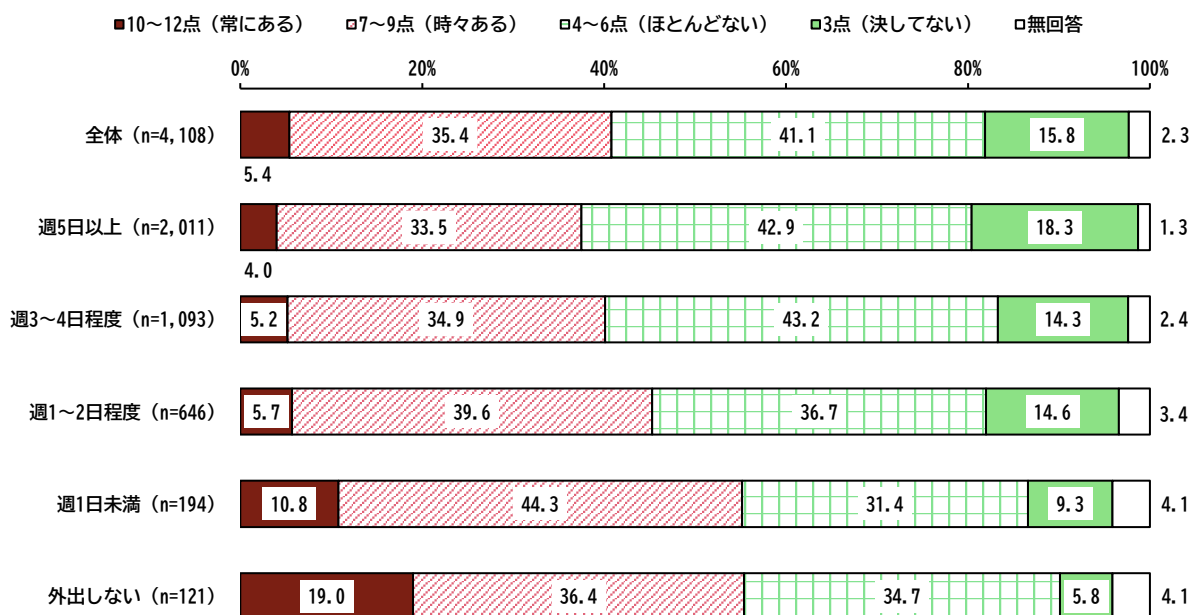
【図 1-27】 外出頻度別孤独感 (直接質問)



(29) 外出頻度別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10~12点(常にある)」という人の割合は、「週1日未満」及び「外出しない」で高くなっている。

【図 1-28】 外出頻度別孤独感 (間接質問)

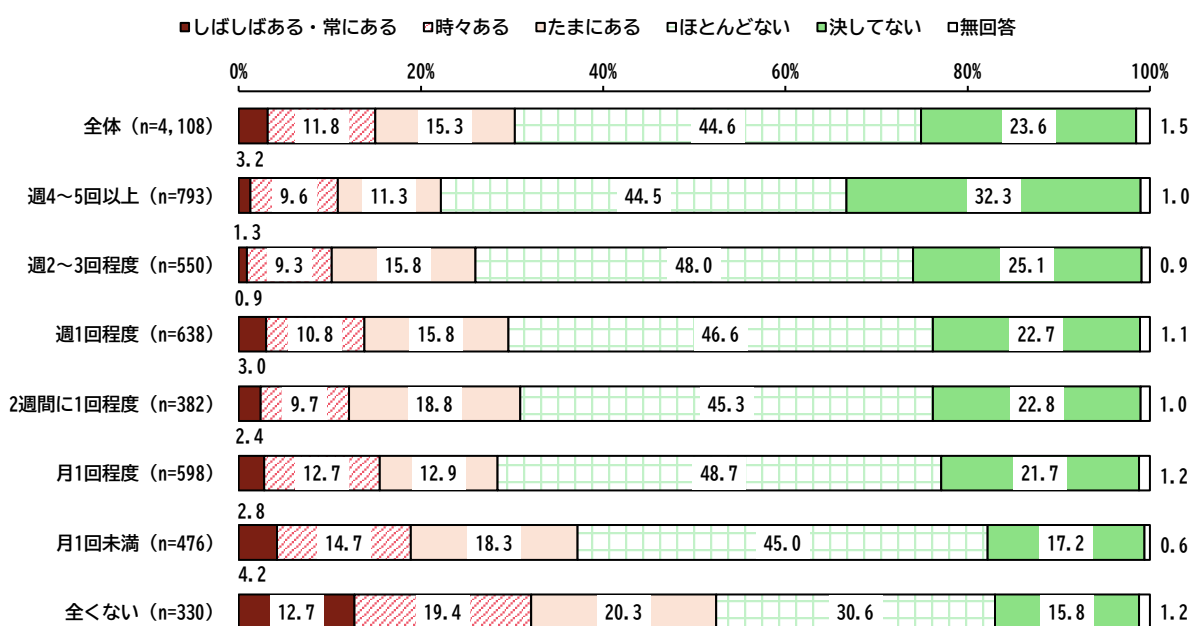


(30) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度別孤独感（直接質問、間接質問）

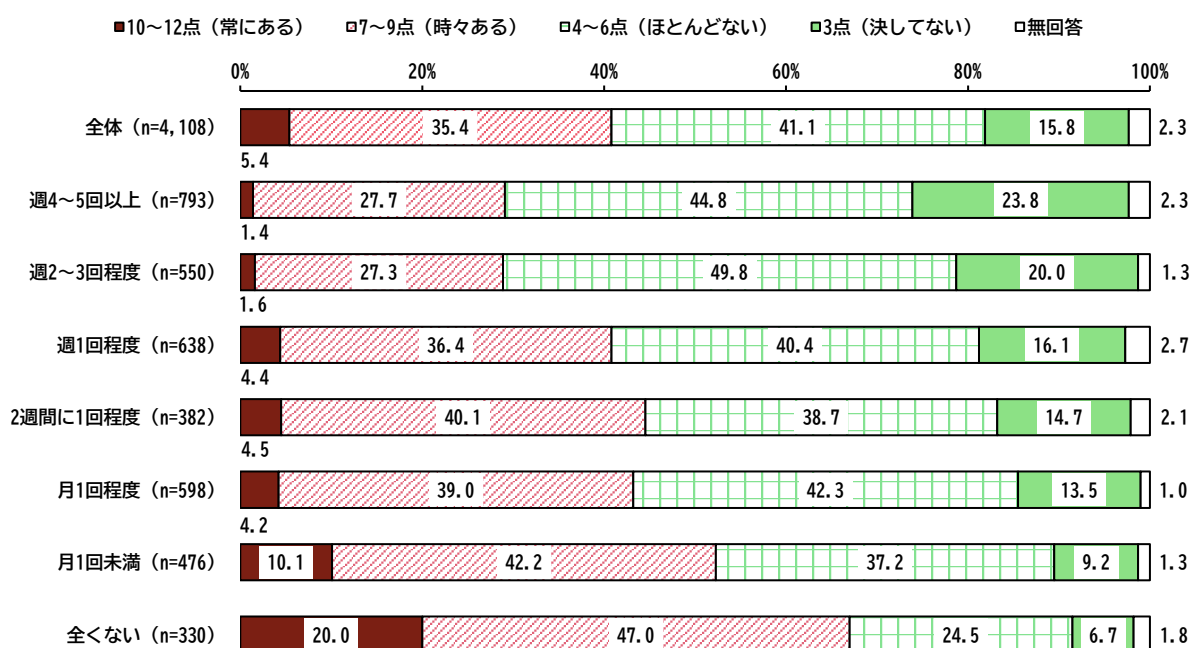
「図1-29」から「図1-34」までは、同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション手段ごとに、その頻度別孤独感を示している。

直接質問による孤独感で「しばしばある・常にある」と回答した人の割合と間接質問による孤独感スコアで「10～12点（常にある）」という人の割合は、「直接会って話す」及び「電話（ビデオ通話含む）」では、「全くない」で最も高くなっている。一方、「SNS や電子メールなどをする」では「月1回未満」及び「全くない」で高くなっている。

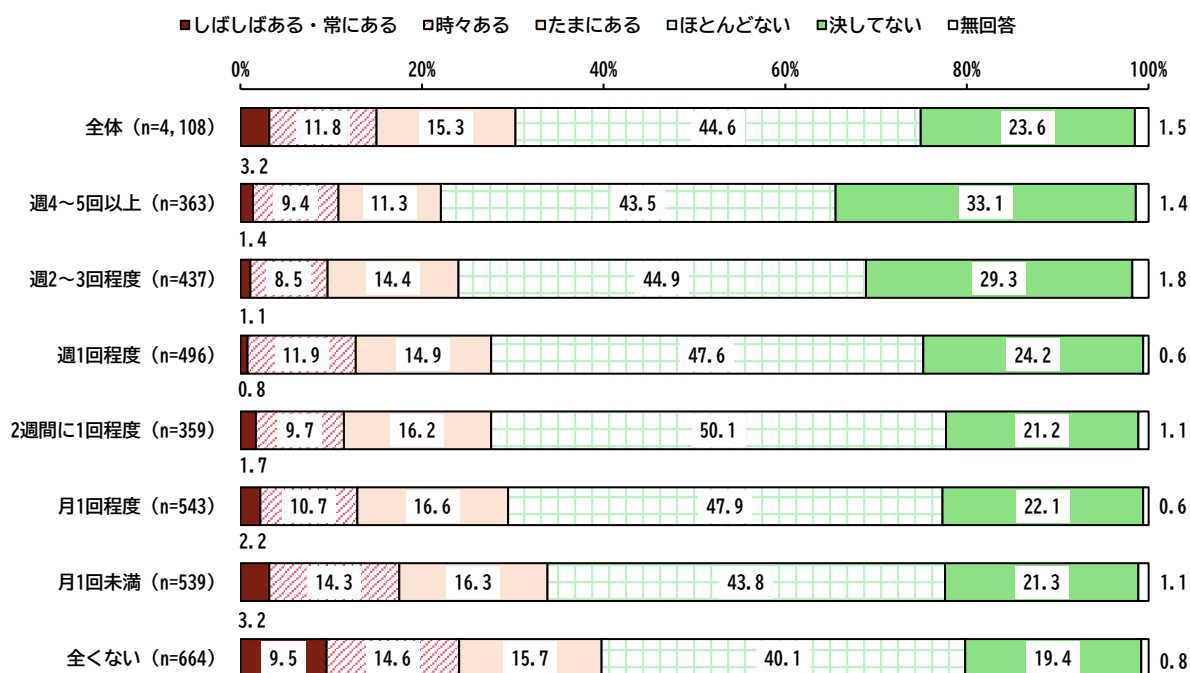
【図1-29】「直接会って話す」頻度別孤独感（直接質問）



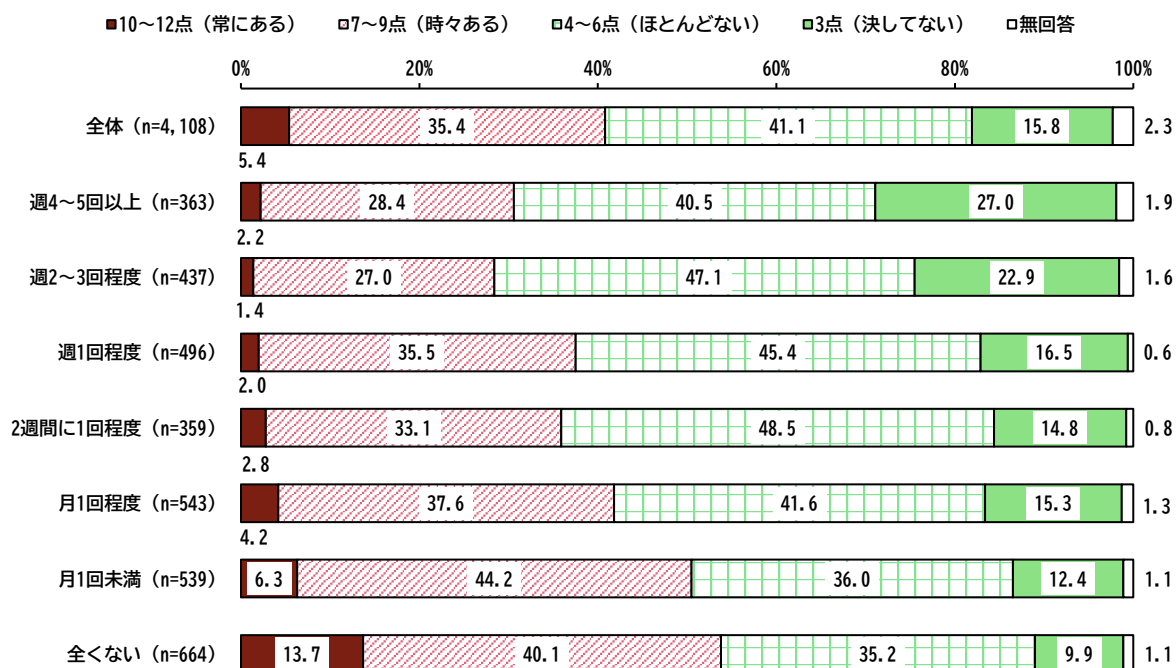
【図1-30】「直接会って話す」頻度別孤独感（間接質問）



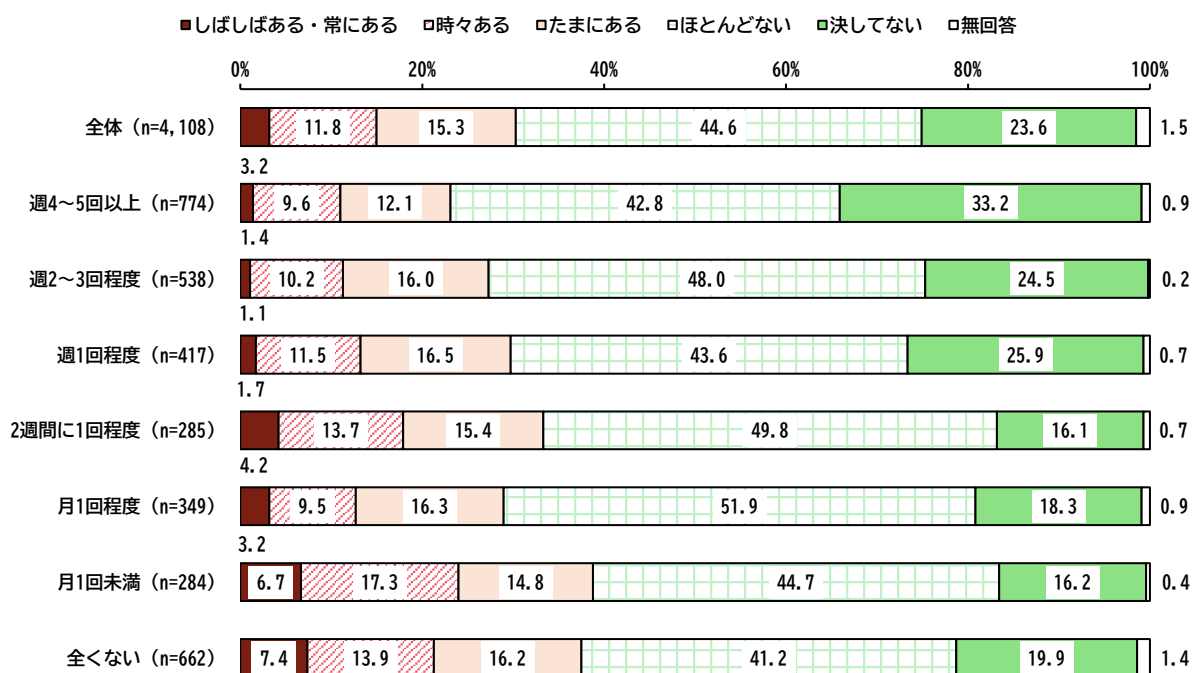
【図 1－31】「電話（ビデオ通話含む）する」頻度別孤独感（直接質問）



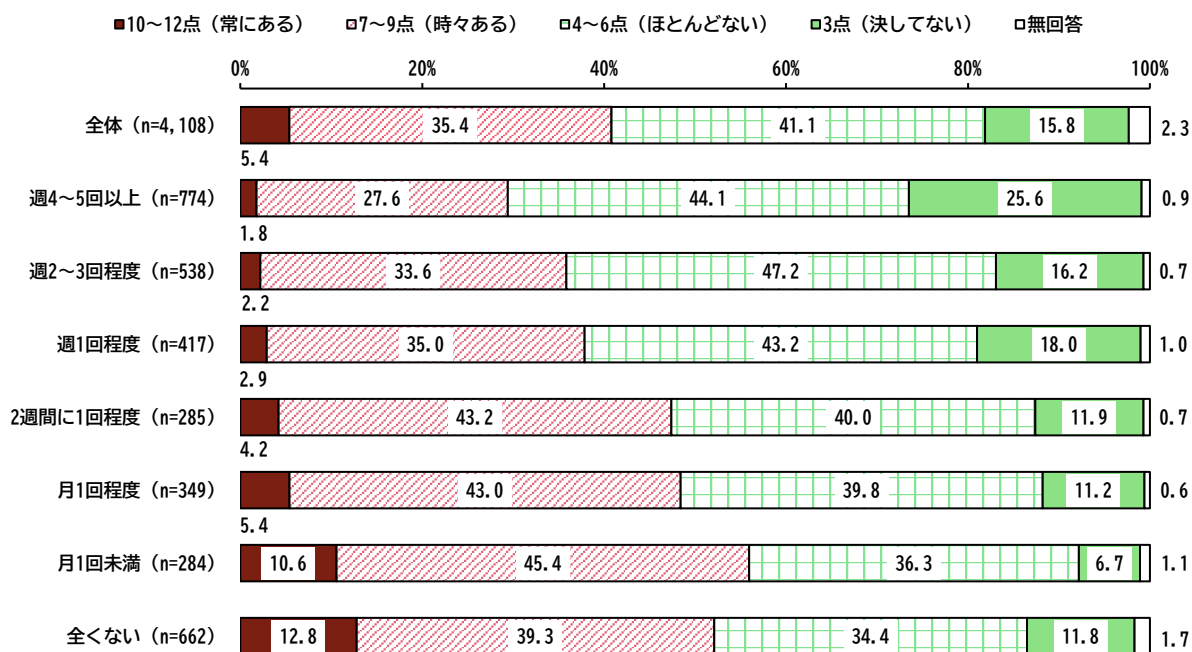
【図 1－32】「電話（ビデオ通話含む）する」頻度別孤独感（間接質問）



【図 1－33】「SNS や電子メールなどをする」頻度別孤独感（直接質問）



【図 1－34】「SNS や電子メールなどをする」頻度別孤独感（間接質問）

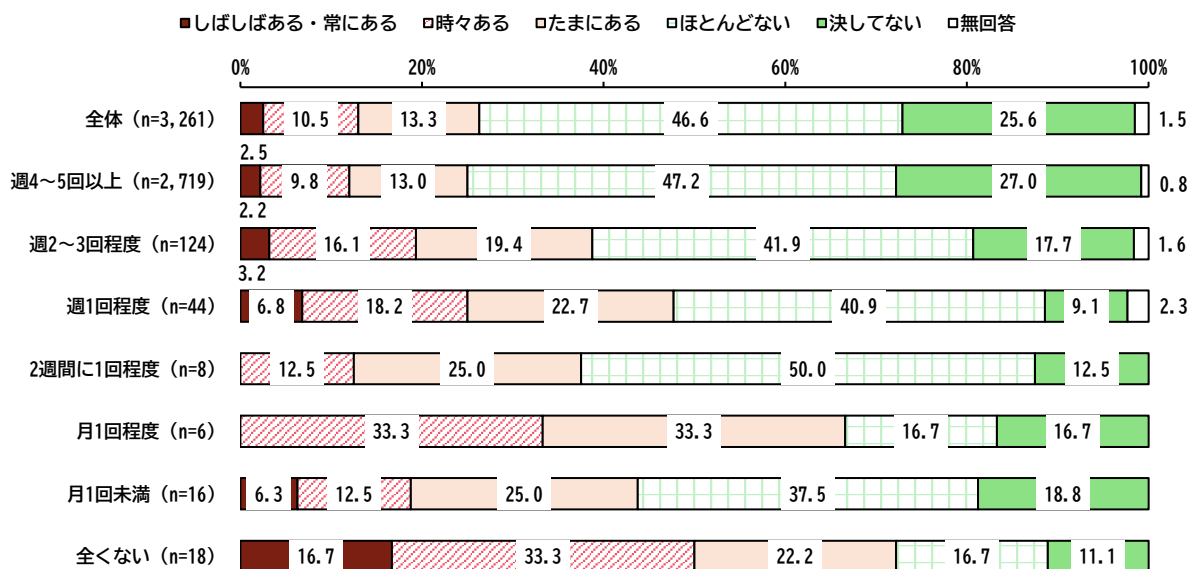


※以下、(31)及び(32)については、同居人がいると判定した人を集計対象としている(P11～12 参照)。

(31) 同居している人たちと直接会って話す頻度別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、頻度が「全くない」で高くなっている。

【図 1-35】同居している人たちと「直接会って話す」頻度別孤独感(直接質問)



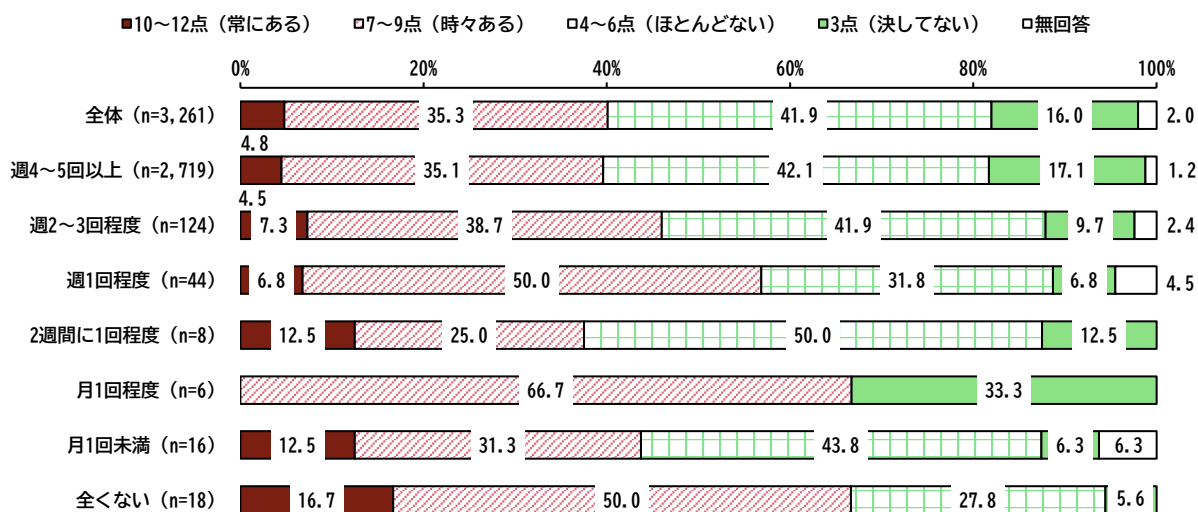
(集計対象:同居人がいると判定した 3,261 人)

(注)同居している人たちと「直接会って話す」頻度が、「2週間に1回程度」、「月1回程度」及び「月1回未満」については、回答者数が些少のため、参考値。

(32) 同居している人たちと直接会って話す頻度別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、頻度が「全くない」で高くなっている。

【図 1-36】同居している人たちと「直接会って話す」頻度別孤独感(間接質問)



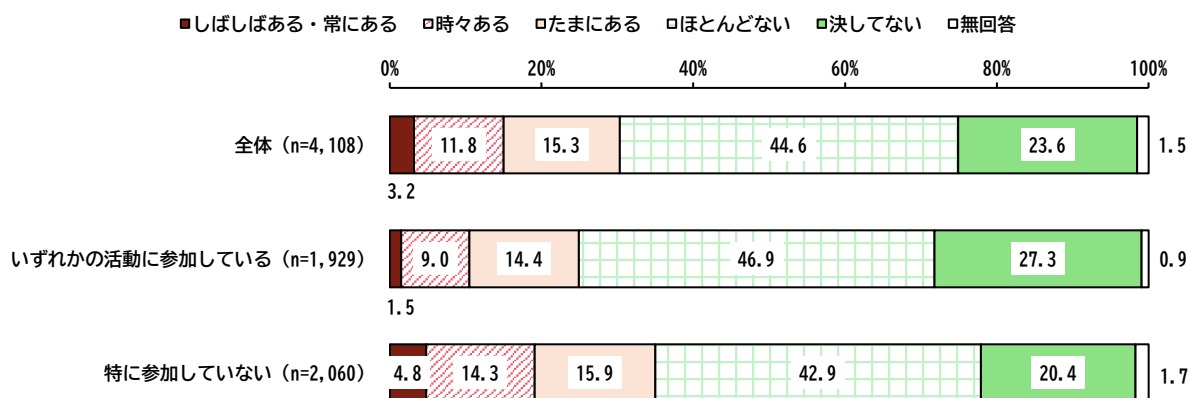
(集計対象:同居人がいると判定した 3,261 人)

(注)同居している人たちと「直接会って話す」頻度が、「2週間に1回程度」、「月1回程度」及び「月1回未満」については、回答者数が些少のため、参考値。

(33) 社会活動への参加状況別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「いずれかの活動に参加している」で1.5%、「特に参加はしていない」で4.8%となっている。

【図1-37】社会活動への参加状況別孤独感(直接質問)

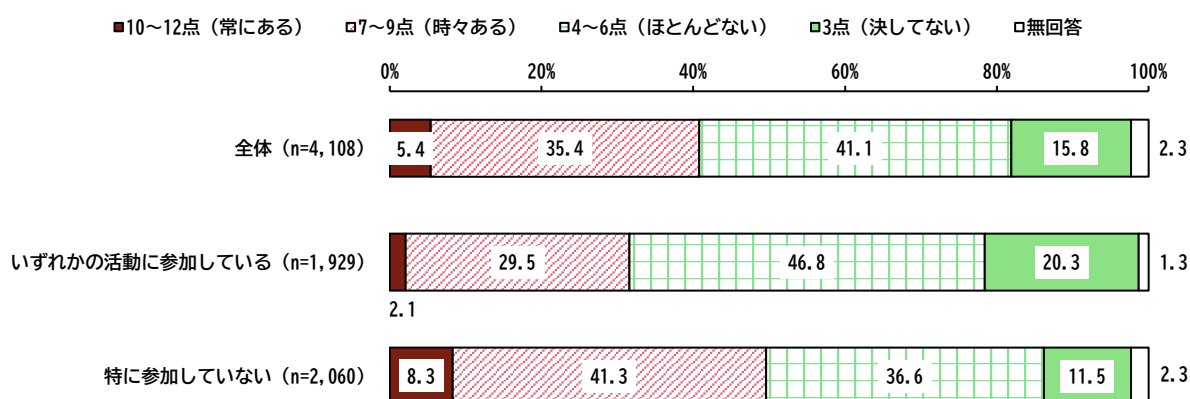


(注)回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)」のいずれかに回答があった者を「いずれかの活動に参加している」として集計。

(34) 社会活動への参加状況別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、「いずれかの活動に参加している」で2.1%、「特に参加はしていない」で8.3%となっている。

【図1-38】社会活動への参加状況別孤独感(間接質問)

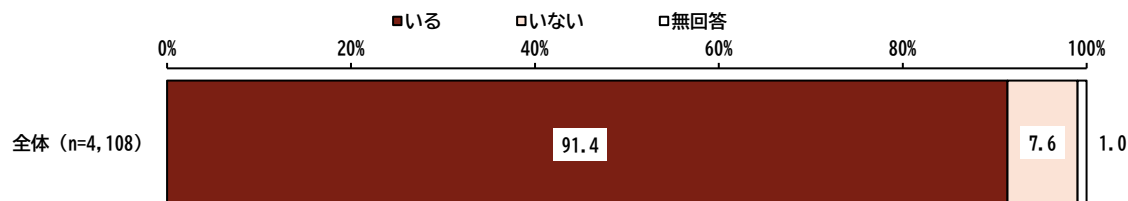


(注)回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)」のいずれかに回答があった者を「いずれかの活動に参加している」として集計。

(35) 困った時に頼れる人の有無

困った時に頼れる人が「いる」と回答した人の割合は 91.4%、「いない」は 7.6%と なっている。

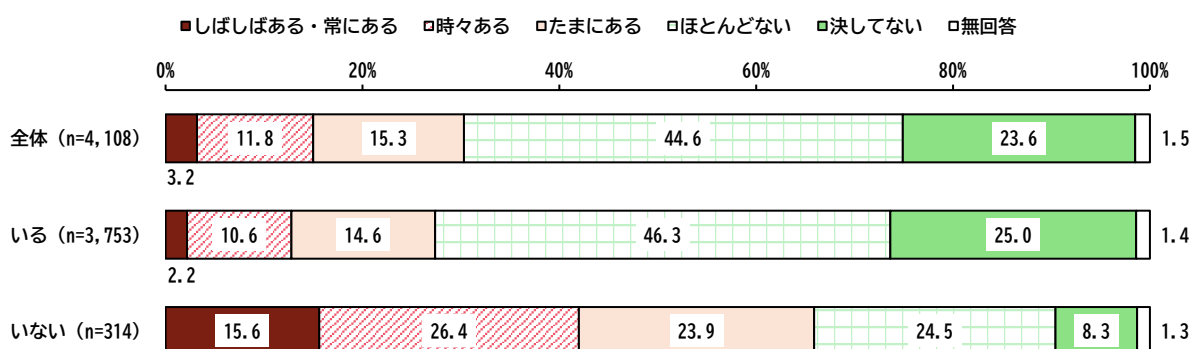
【図 1－39】 困った時に頼れる人の有無



(36) 困った時に頼れる人の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、頼れる人が「いる」で 2.2%、「いない」で 15.6%となっている。

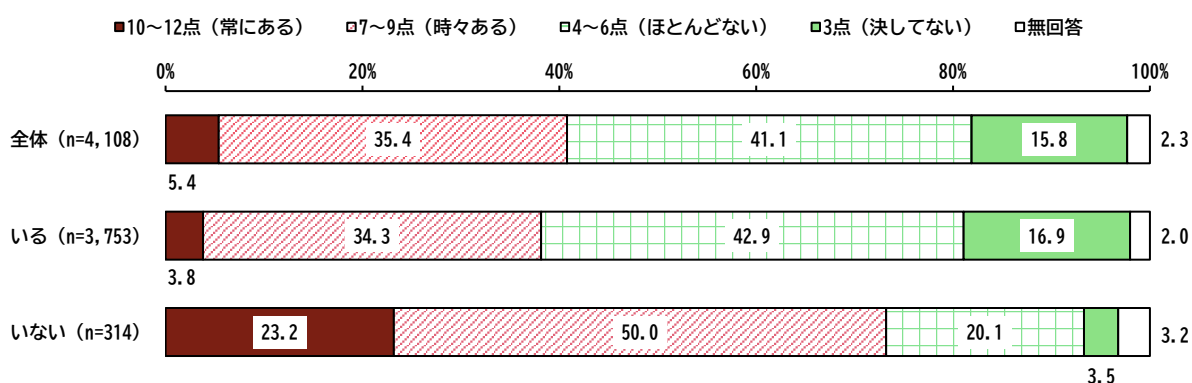
【図 1－40】 困った時に頼れる人の有無別孤独感（直接質問）



(37) 困った時に頼れる人の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、頼れる人が「いる」で 3.8%、「いない」で 23.2%となっている。

【図 1－41】 困った時に頼れる人の有無別孤独感（間接質問）



※以下、(38)については、頼れる人が「いる」と回答した人を集計対象としている(P24 参照)。

(38) 男女、年齢階級別困った時に頼れる人の種類

困った時に頼れる人が「いる」と回答した人に対し、その相手を尋ねたところ、「家族・親族」と回答した割合が 95.5%と最も高く、次いで、「友人・知人」(45.0%)、「病院・診療所の医師」(20.8%)などとなっている。

男女別にみると、「家族・親族」と回答した割合は、女性で高い。また、男女、年齢階級別にみると、「友人・知人」と回答した割合は、男性は 50 歳代で、女性は 20 歳代から 50 歳代で高くなっている。

【図 1-42】男女、年齢階級別困った時に頼れる人の種類【複数回答】

(%)

	n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	行政機関(区役所・支所・各種相談支援機関)	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答
全 体	3,753	95.5	45.0	7.7	13.2	8.7	1.0	2.7	20.8	1.9	0.8
男性／全体	1,535	94.5	40.1	6.4	15.7	8.7	1.0	2.3	21.8	1.9	1.0
16～19 歳	13	100.0	69.2	-	46.2	-	-	-	15.4	-	-
20～29 歳	14	100.0	71.4	-	35.7	7.1	-	-	14.3	-	-
30～39 歳	49	93.9	40.8	2.0	30.6	6.1	-	-	6.1	2.0	2.0
40～49 歳	118	91.5	37.3	0.8	37.3	5.9	0.8	0.8	11.9	1.7	0.8
50～59 歳	170	91.2	55.3	3.5	32.4	7.1	-	0.6	17.1	4.1	1.8
60～69 歳	354	95.2	42.4	6.5	20.1	10.7	2.3	2.0	18.9	1.1	1.4
70～79 歳	489	95.9	40.9	9.0	7.4	9.8	0.6	2.7	25.2	1.8	0.4
80 歳以上	291	94.5	26.8	7.2	3.1	7.6	1.4	4.5	29.2	1.7	1.0
女性／全体	2,183	96.2	48.4	8.7	11.3	8.7	1.0	2.9	20.0	2.0	0.7
16～19 歳	6	100.0	83.3	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-
20～29 歳	22	95.5	72.7	-	22.7	4.5	-	-	4.5	-	-
30～39 歳	91	97.8	62.6	5.5	30.8	5.5	-	-	15.4	3.3	-
40～49 歳	205	96.1	63.4	4.4	28.8	7.8	1.0	0.5	13.2	1.5	1.5
50～59 歳	269	97.0	63.6	5.9	24.2	9.7	0.7	1.5	14.5	2.6	0.7
60～69 歳	452	96.2	53.3	7.5	13.5	8.4	1.3	2.0	17.3	2.0	0.2
70～79 歳	592	95.8	46.6	9.6	3.5	11.0	1.0	3.0	22.5	1.9	0.7
80 歳以上	489	96.9	27.6	13.3	0.2	7.8	1.2	6.3	27.8	2.2	0.4

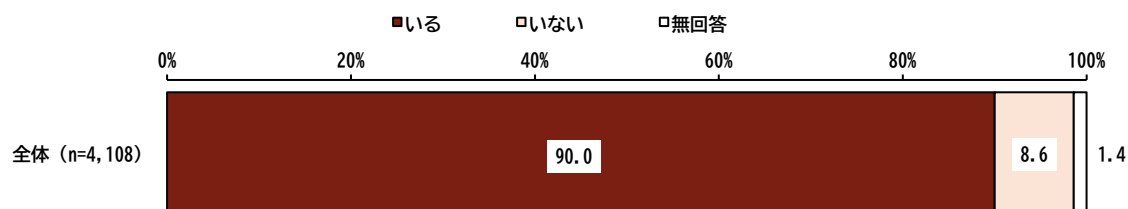
(集計対象:頼れる人が「いる」と回答した 3,753 人)

(注)男性の「16～19 歳」及び「20～29 歳」、女性の「16～19 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(39) 不安や悩みの相談相手の有無

不安や悩みが生じた際の相談相手が「いる」と回答した人の割合は 90.0%、「いない」は 8.6%となっている。

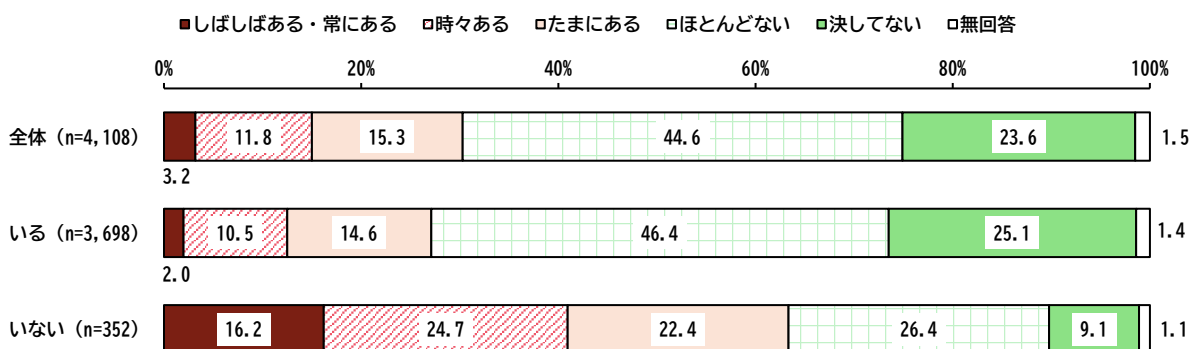
【図 1－43】 不安や悩みの相談相手の有無



(40) 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手が「いる」で 2.0%、「いない」で 16.2%となっている。

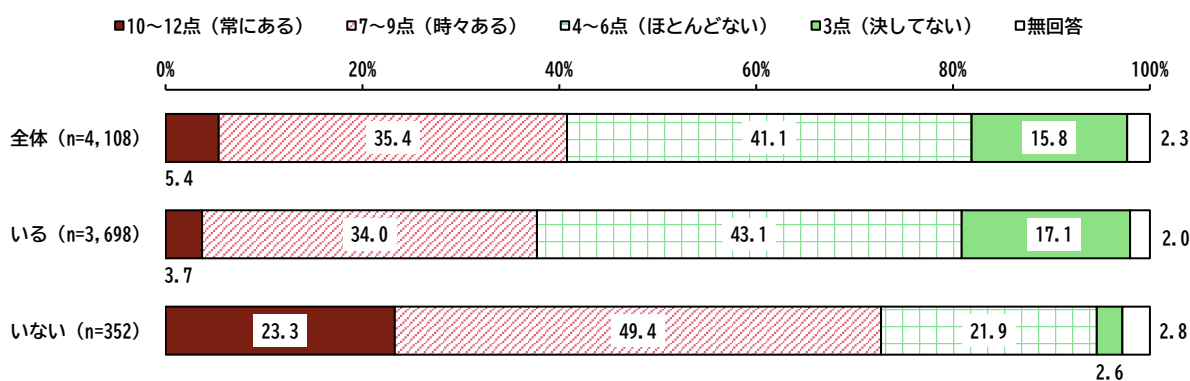
【図 1－44】 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（直接質問）



(41) 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、相談相手が「いる」で 3.7%、「いない」で 23.3%となっている。

【図 1－45】 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（間接質問）



※以下、(42)については、相談相手が「いる」と回答した人を集計対象としている(P26 参照)。

(42) 男女、年齢階級別不安や悩みの相談相手の種類

不安や悩みが生じた場合の相談相手が「いる」と回答した人に対し、その相手を尋ねたところ、「家族・親族」と回答した割合が 94.0%と最も高く、次いで、「友人・知人」(49.7%)、「病院・診療所の医師」(17.9%)などとなっている。

「家族・親族」と回答した割合を男女、年齢階級別にみると、男性では 60 歳代及び 80 歳以上、女性では 30 歳代、70 歳代及び 80 歳以上で高くなっている。「友人・知人」は、男性の 30 歳代、50 歳代から 70 歳代、女性の 20 歳代から 50 歳代で高くなっている。

【図 1-46】男女、年齢階級別不安や悩みの相談相手の種類【複数回答】

		(%)									
	n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	行政機関(区役所・支所・各種相談支援機関)	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答
全 体	3,698	94.0	49.7	4.6	12.2	6.8	1.1	2.3	17.9	2.2	0.5
男性／全体	1,520	93.5	42.0	4.1	14.4	6.6	1.4	2.4	18.8	2.2	0.5
16～19 歳	13	92.3	69.2	-	30.8	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	13	100.0	76.9	-	38.5	7.7	-	-	7.7	-	-
30～39 歳	49	89.8	46.9	-	38.8	4.1	-	-	4.1	4.1	-
40～49 歳	116	89.7	38.8	-	31.9	3.4	-	-	12.1	4.3	-
50～59 歳	172	91.9	48.8	0.6	25.0	4.7	-	0.6	15.1	2.9	0.6
60～69 歳	354	94.9	45.2	4.2	20.1	8.2	2.5	1.7	17.5	1.7	0.8
70～79 歳	484	93.8	43.4	6.8	7.0	7.2	1.2	2.3	20.2	2.3	0.6
80 歳以上	284	95.4	29.9	4.2	2.1	7.0	2.5	5.3	27.1	1.1	-
女性／全体	2,147	94.4	55.2	4.9	10.6	7.0	0.9	2.3	17.4	2.3	0.6
16～19 歳	6	100.0	83.3	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-
20～29 歳	21	85.7	66.7	-	14.3	4.8	-	-	-	-	-
30～39 歳	90	95.6	72.2	3.3	30.0	5.6	-	-	12.2	3.3	-
40～49 歳	203	93.1	68.0	2.0	31.5	5.4	0.5	0.5	11.8	1.5	0.5
50～59 歳	270	93.7	69.3	3.0	21.9	4.4	0.4	1.5	12.2	3.0	0.7
60～69 歳	442	93.4	61.1	3.8	10.2	6.8	1.8	1.8	14.3	2.0	0.7
70～79 歳	578	95.5	55.7	6.1	3.6	8.5	1.0	2.2	19.4	2.1	0.5
80 歳以上	481	95.6	32.2	7.7	0.8	8.5	0.8	4.8	24.5	2.7	0.8

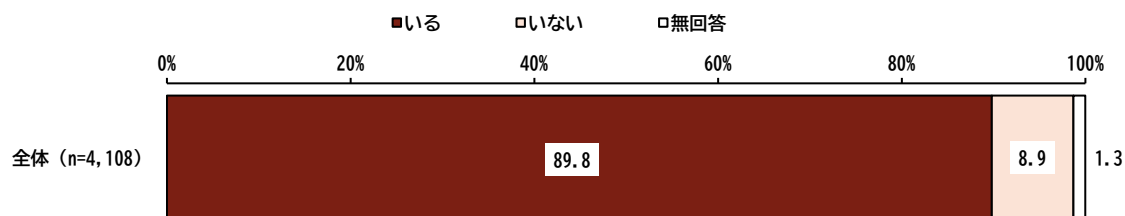
(集計対象:相談相手が「いる」と回答した 3,698 人)

(注)男性の「16～19 歳」及び「20～29 歳」、女性の「16～19 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(43) 気軽に話せる相手の有無

ふだん気軽に話せる相手が「いる」と回答した人の割合は 89.8%、「いない」は 8.9%となっている。

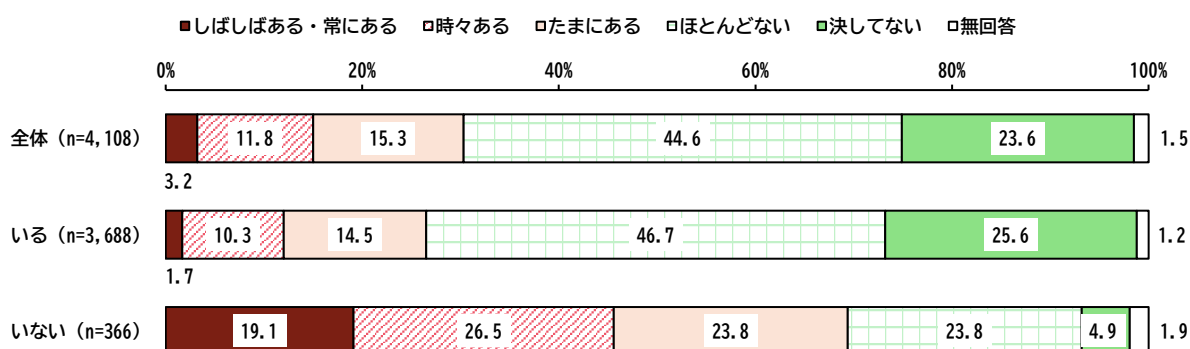
【図 1－47】 気軽に話せる相手の有無



(44) 気軽に話せる相手の有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、気軽に話せる相手が「いる」では 1.7%、「いない」では 19.1%となっている。

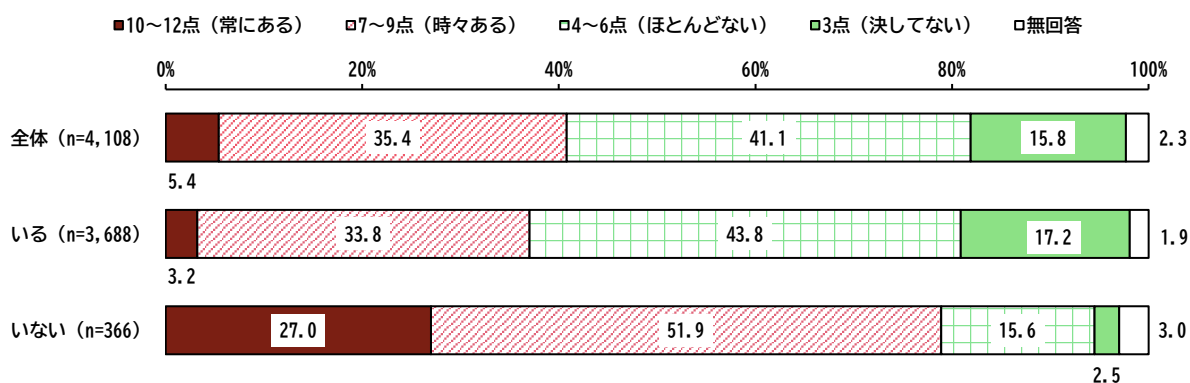
【図 1－48】 気軽に話せる相手の有無別孤独感（直接質問）



(45) 気軽に話せる相手の有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、気軽に話せる相手が「いる」では 3.2%、「いない」で 27.0%となっている。

【図 1－49】 気軽に話せる相手の有無別孤独感（間接質問）



(46) 孤独感(直接質問・間接質問)別不安や悩みを相談することへの感情

不安や悩みを相談することへの感情をみると、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と回答した割合が 68.5%と最も高く、次いで、「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」(57.3%)などとなっている。

「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「たまにある」及び「ほとんどない」で、間接質問による孤独感スコアでは「4～6点(ほとんどない)」及び「3点(決してない)」で高くなっている。

「相談しても無駄である(相談しても解決しない)」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」、間接質問による孤独感スコアでは「10～12点(常にある)」で高くなっている。

【図 1－50】孤独感(直接質問・間接質問)別不安や悩みを相談することへの感情 【複数回答】

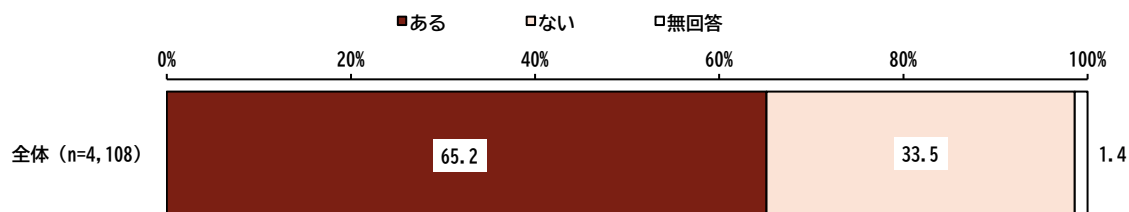
(%)

		n	手掛かりが得られる	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相談することが面倒である	相談することが恥ずかしい	相談すると相手の負担になる	相談しても無駄である(相談しても解決しない)	その他	無回答
	全 体	4,108	57.3	68.5	7.1	3.9	8.3	8.7	3.2	2.2
直接質問	しばしばある・常にある	132	22.0	40.9	16.7	13.6	25.8	41.7	9.1	1.5
	時々ある	486	39.5	64.2	13.4	6.4	15.2	18.3	4.1	2.7
	たまにある	628	44.7	72.6	9.6	6.5	13.9	11.9	3.0	2.4
	ほとんどない	1,831	60.2	71.2	6.2	3.1	5.8	5.1	3.0	1.8
	決してない	968	74.3	67.8	2.8	1.1	3.6	4.1	2.5	1.4
間接質問	10～12点(常にある)	221	28.1	44.8	20.8	11.8	21.3	32.1	6.3	2.7
	7～9点(時々ある)	1,454	45.9	68.9	10.5	6.3	12.9	13.1	3.6	1.9
	4～6点(ほとんどない)	1,690	63.5	71.4	4.7	2.2	5.1	4.4	3.0	2.0
	3点(決してない)	648	79.3	71.1	1.7	0.8	2.5	2.0	1.4	1.1

(47) 不安や悩みの有無

不安や悩みが「ある」と回答した人の割合は 65.2%、「ない」は 33.5%となっている。

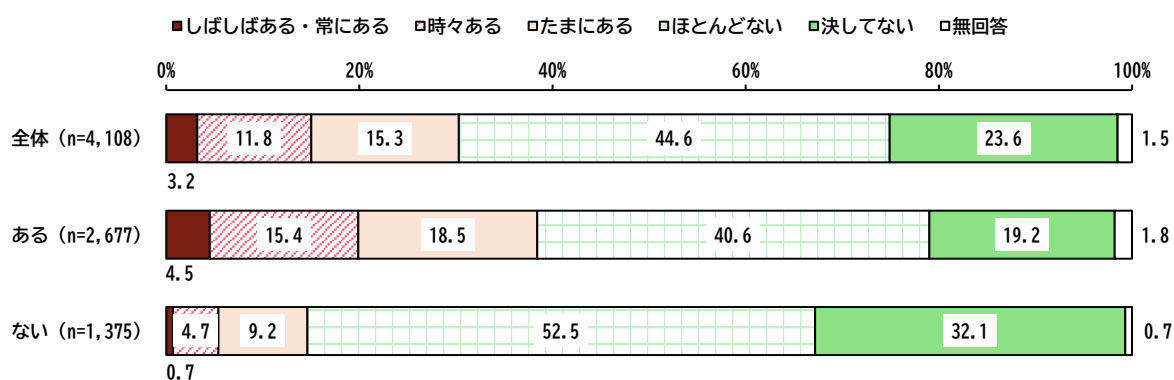
【図 1－51】 不安や悩みの有無



(48) 不安や悩みの有無別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、不安や悩みを感じていることが「ある」で 4.5%、「ない」で 0.7%となっている。

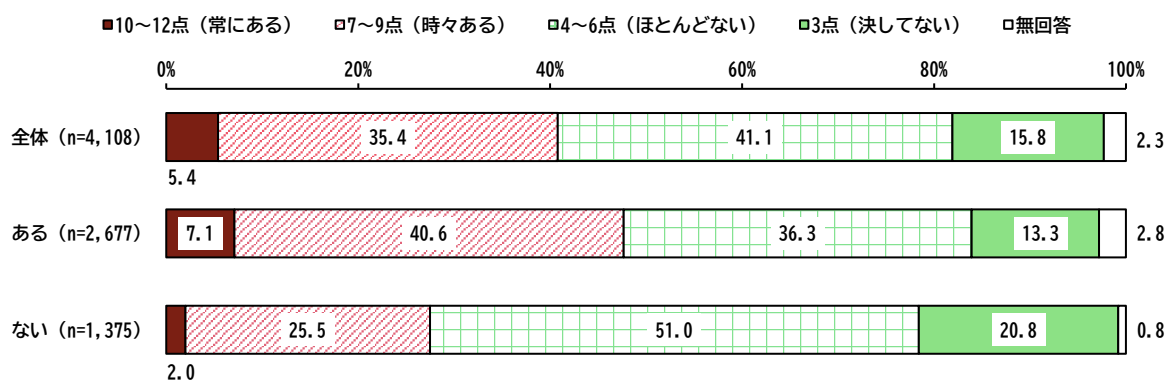
【図 1－52】 不安や悩みの有無別孤独感（直接質問）



(49) 不安や悩みの有無別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、不安や悩みを感じていることが「ある」で 7.1%、「ない」で 2.0%となっている。

【図 1－53】 不安や悩みの有無別孤独感（間接質問）



※以下、(50)～(52)については、日常生活において不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した人を集計対象としている(P30 参照)。

(50) 孤独感(直接質問・間接質問)別不安や悩みの内容

不安や悩みの内容は、「自分の健康」と回答した割合が 65.7%と最も高く、次いで、「家族の健康、介護」(44.6%)、「収入や資産、老後の生活設計」(42.0%)などとなっている。

「自分の健康」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」、「時々ある」及び「たまにある」で、間接質問による孤独感スコアでは「10～12 点(常にある)」及び「7～9点(時々ある)」で高くなっている。

「家族の健康、介護」と回答した割合は、間接質問による孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」及び「7～9点(時々ある)」で高くなっている。

「収入や資産、老後の生活設計」と回答した割合は、直接質問による孤独感では「しばしばある・常にある」及び「時々ある」で、間接質問による孤独感スコアでは「10～12 点(常にある)」及び「7～9点(時々ある)」で高くなっている。

【図 1-54】孤独感(直接質問・間接質問)別不安や悩みの内容【複数回答】

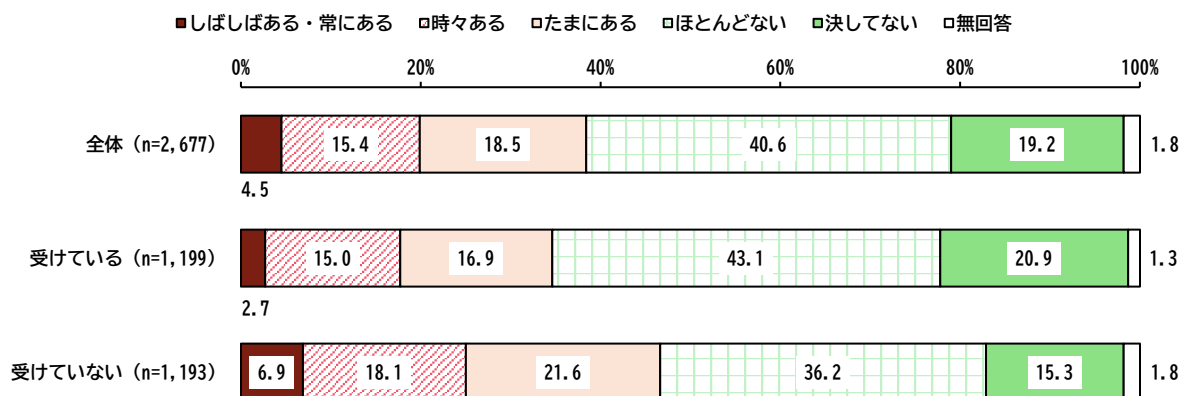
(%)																	
		n	自分の健康	家族の健康、介護	住まい	進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題	結婚、子育てなど、生活上の問題	収入や資産、老後の生活設計	家族・親族間の人間関係	近隣・地域との関係	学校や勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故・事件などの被害	恋愛・性関係	その他	無回答
全 体		2,677	65.7	44.6	16.4	8.8	8.7	42.0	13.3	3.9	6.6	5.0	2.0	10.0	1.9	4.0	9.7
直接質問	しばしばある・常にある	120	72.5	42.5	34.2	17.5	15.0	63.3	30.8	13.3	18.3	7.5	12.5	15.0	9.2	5.8	0.8
	時々ある	413	74.6	46.0	23.2	12.3	11.1	50.4	19.4	8.2	9.2	5.1	2.7	13.3	3.9	6.8	3.4
	たまにある	495	73.7	45.1	17.8	9.9	10.1	43.0	15.4	3.4	8.1	4.2	2.2	12.3	1.2	3.6	4.6
	ほとんどない	1,087	62.7	46.4	13.5	6.5	6.9	38.5	10.4	2.2	4.9	4.0	1.3	9.0	1.2	3.0	12.1
	決していない	514	55.3	41.6	10.3	8.2	8.4	39.3	8.8	2.5	4.7	7.8	1.2	6.4	1.0	3.3	15.4
間接質問	10～12点（常にある）	189	75.7	47.6	33.9	18.0	11.1	61.9	19.6	12.2	12.7	6.9	7.4	14.3	6.9	7.4	1.1
	7～9点（時々ある）	1,086	71.4	48.2	18.8	10.2	10.7	46.3	16.9	5.2	8.9	4.4	2.9	11.6	2.5	4.1	5.2
	4～6点（ほとんどない）	972	59.9	41.5	11.4	6.5	7.0	35.1	10.0	1.5	3.8	5.0	0.5	9.2	0.7	3.4	13.8
	3点（決していない）	356	59.6	42.1	12.1	7.0	7.6	40.4	9.0	2.5	5.1	7.0	1.1	6.2	0.8	2.5	15.2

(集計対象:不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(51) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、家族・友人等からの手助けを「受けている」で2.7%、「受けていない」で6.9%となっている。

【図 1－55】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（直接質問）

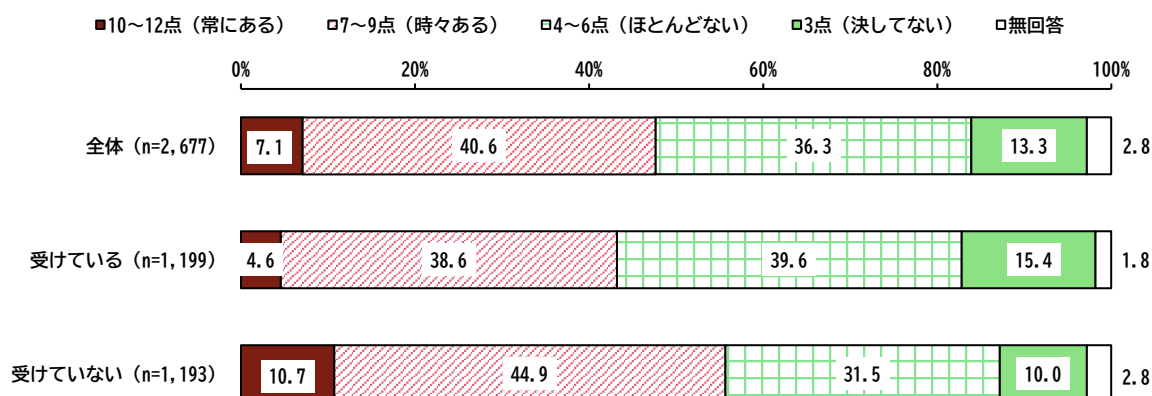


(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(52) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、家族・友人等からの手助けを「受けている」で4.6%、「受けていない」で10.7%となっている。

【図 1－56】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別孤独感（間接質問）

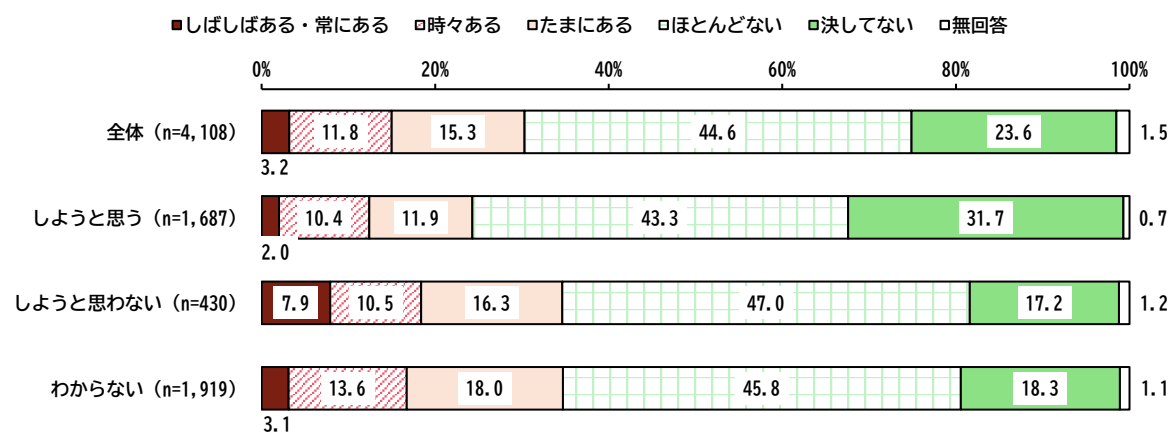


(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(53) 他者へのサポート意識別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、手助けを「しようと思う」で2.0%、「しようと思わない」で7.9%となっている。

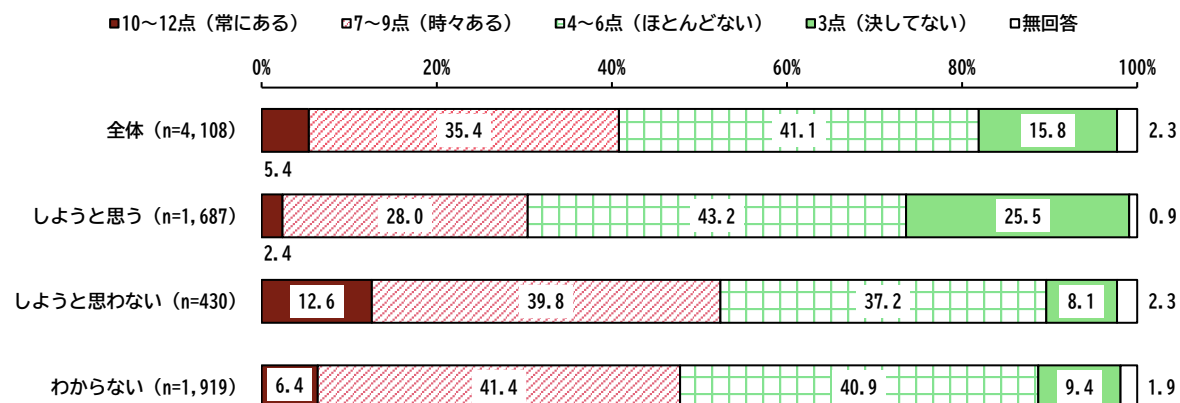
【図 1-57】 他者へのサポート意識別孤独感（直接質問）



(54) 他者へのサポート意識別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、手助けを「しようと思う」で2.4%、「しようと思わない」で12.6%となっている。

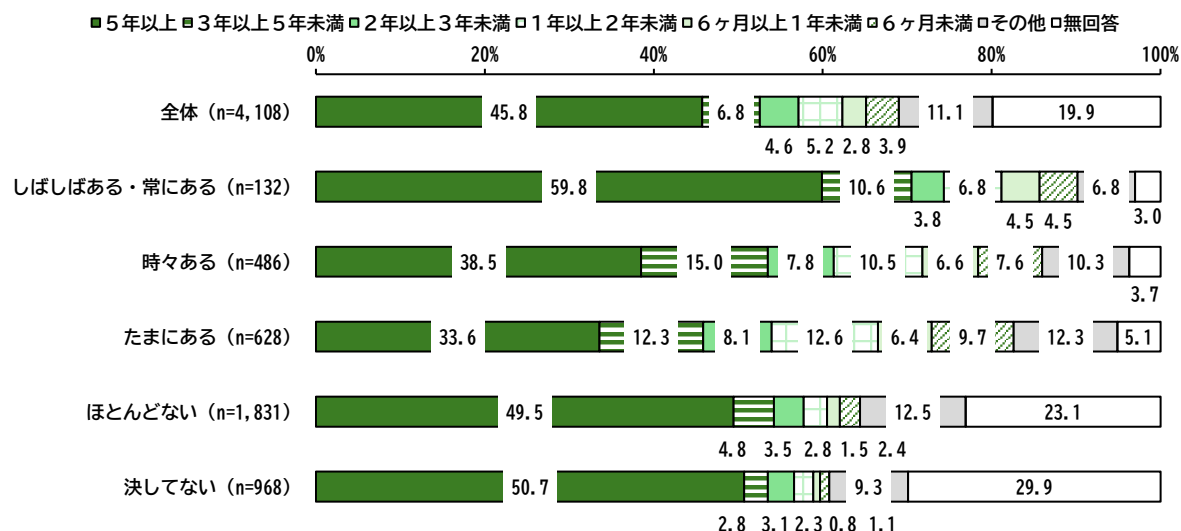
【図 1-58】 他者へのサポート意識別孤独感（間接質問）



(55) 孤独感(直接質問)別現在の孤独感の継続期間

現在の孤独感の継続期間をみると、全体的に「5年以上」と回答した割合が高く、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人では 59.8%となっている。

【図 1－59】 孤独感（直接質問）別現在の孤独感の継続期間

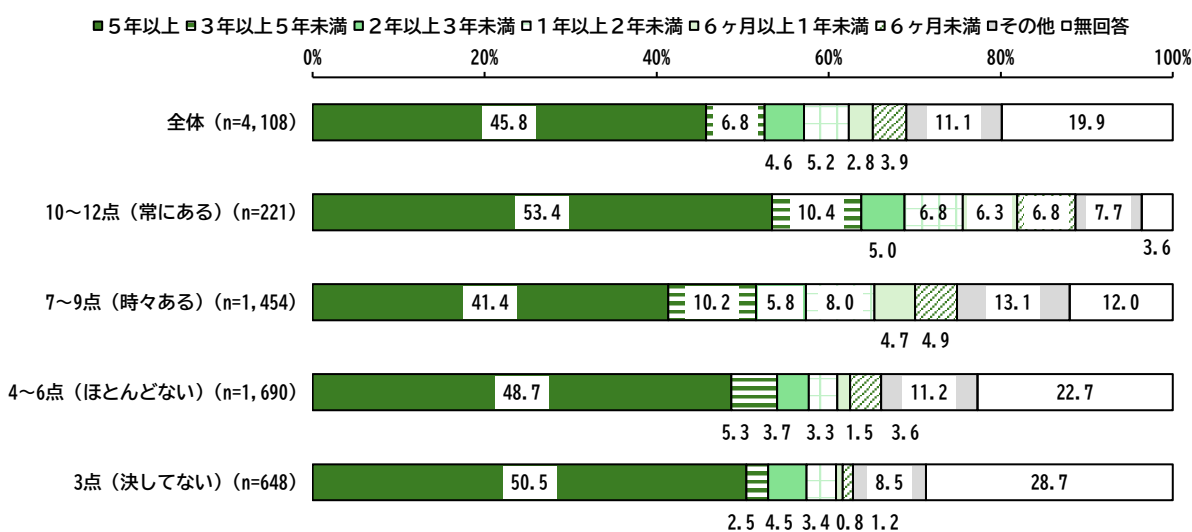


(注) 問 28(あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。)への回答に関し、その状況がどの程度前から続いているのか、全ての回答者を対象として尋ねたもの(P4 参照)。

(56) 孤独感(間接質問)別現在の孤独感の継続期間

現在の孤独感の継続期間をみると、全体的に「5年以上」と回答した割合が高く、孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人では 53.4%となっている。

【図 1－60】 孤独感（間接質問）別現在の孤独感の継続期間



(注) 問 28(あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。)への回答に関し、その状況がどの程度前から続いているのか、全ての回答者を対象として尋ねたもの(P4 参照)。

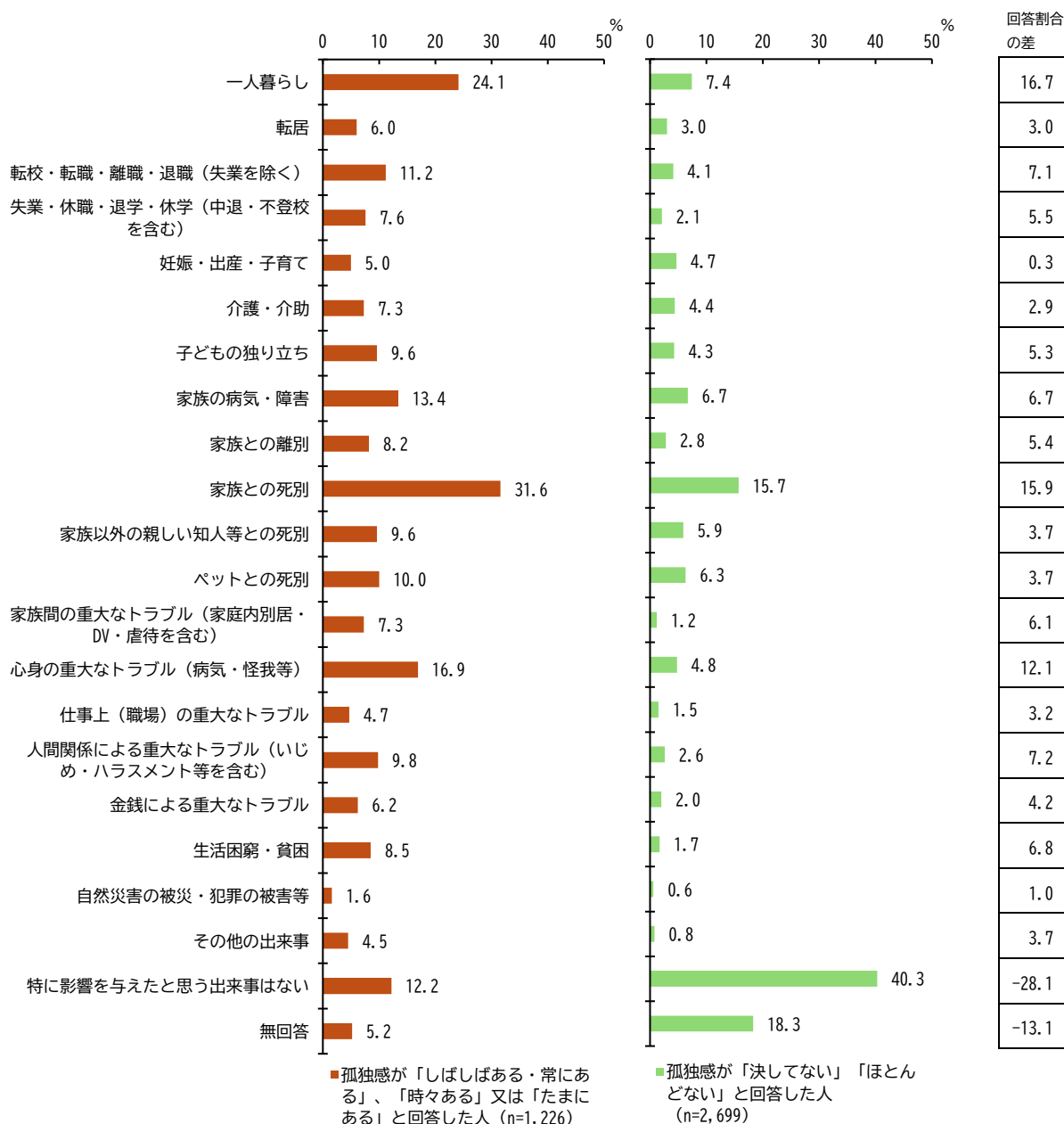
※以下、(57)～(58)については、これまでに経験したライフイベントで「いずれもない」以外を1つでも回答している人を集計対象としている(P83 問30 参照)。

(57) 孤独感(直接質問／2区分)別孤独感に影響を与えたと思う出来事

孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」又は「たまにある」と回答した人では、「家族との死別」と回答した割合が31.6%と最も高く、次いで、「一人暮らし」(24.1%)などとなっている。

孤独感が「決してない」又は「ほとんどない」と回答した人で、現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事の回答割合の差をみると、「一人暮らし」が最も大きく、次いで、「家族との死別」、「心身の重大なトラブル(病気・怪我等)」などとなっている。

【図1-61】孤独感(直接質問／2区分)別孤独感に影響を与えたと思う出来事【複数回答】



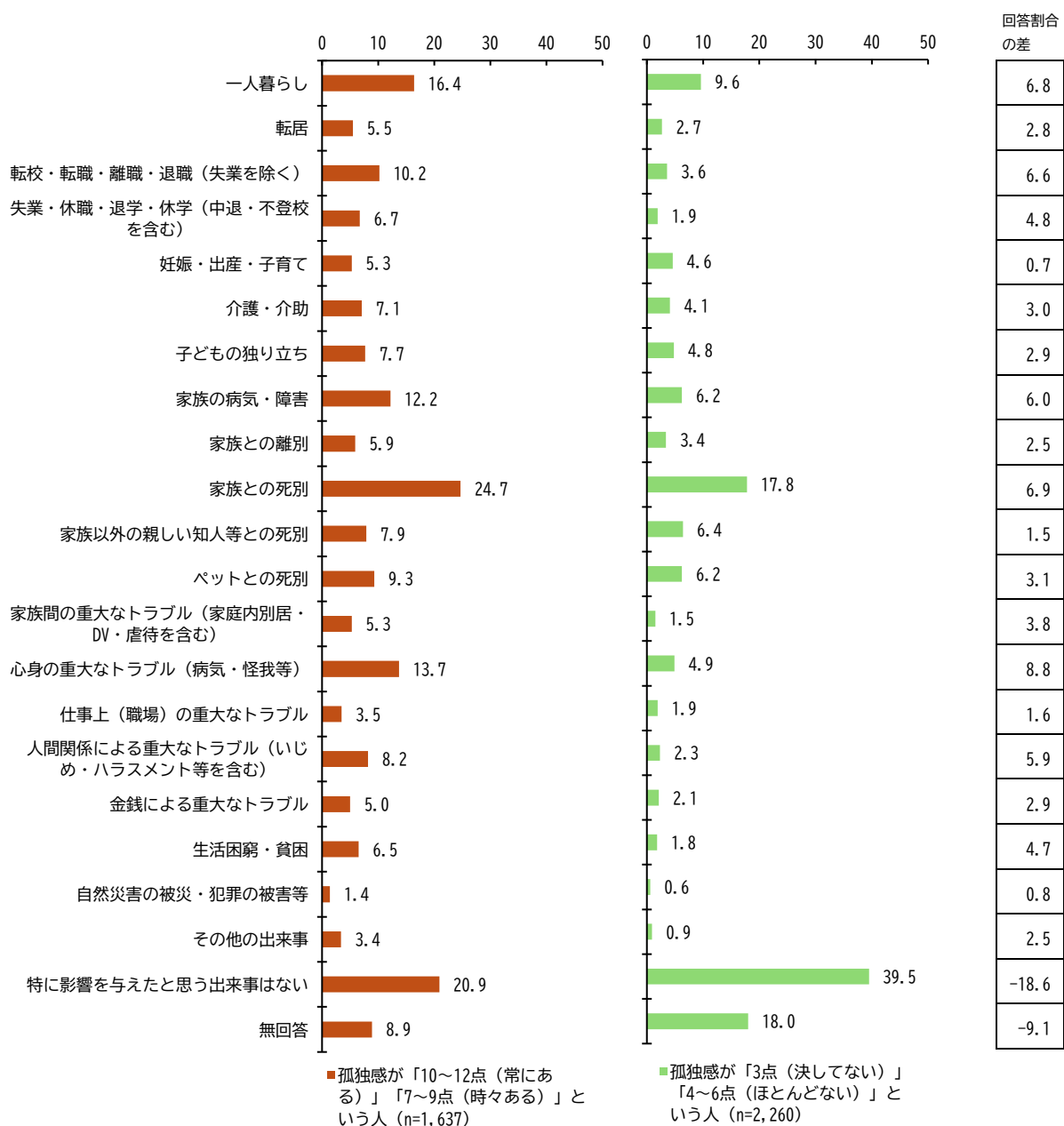
(集計対象:これまでに経験したライフイベントで「いずれもない」以外を1つ以上回答した 3,969 人)

(58) 孤独感(間接質問／2区分)別孤独感に影響を与えたと思う出来事

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」又は「7～9点(時々ある)」という人では、「家族との死別」と回答した割合が24.7%と最も高く、次いで、「一人暮らし」(16.4%)などとなっている。

孤独感スコアが「3点(決してない)」又は「4～6点(ほとんどない)」という人で、現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事の回答割合の差をみると、「心身の重大なトラブル(病気・怪我等)」が最も大きく、次いで、「家族との死別」、「一人暮らし」などとなっている。

【図1-62】孤独感(間接質問／2区分)別孤独感に影響を与えたと思う出来事【複数回答】

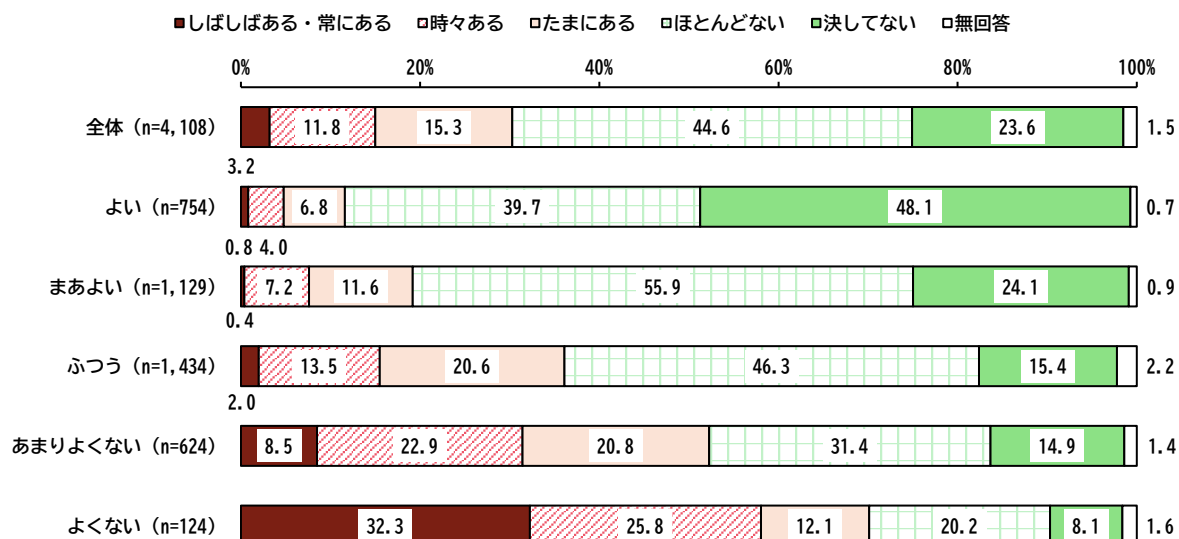


(集計対象:これまでに経験したライフイベントで「いずれもない」以外を1つ以上回答した3,969人)

(59) 心身の健康状態別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、心身の健康状態が「よくない」及び「あまりよくない」で高くなっている。

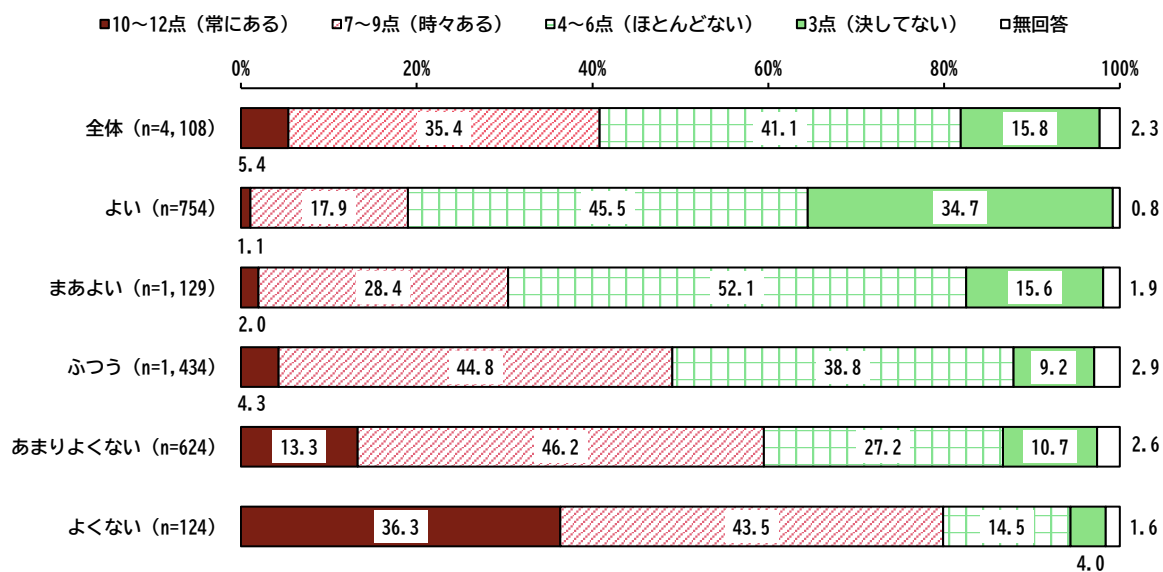
【図 1－63】心身の健康状態別孤独感（直接質問）



(60) 心身の健康状態別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12点(常にある)」という人の割合は、心身の健康状態が「よくない」及び「あまりよくない」で高くなっている。

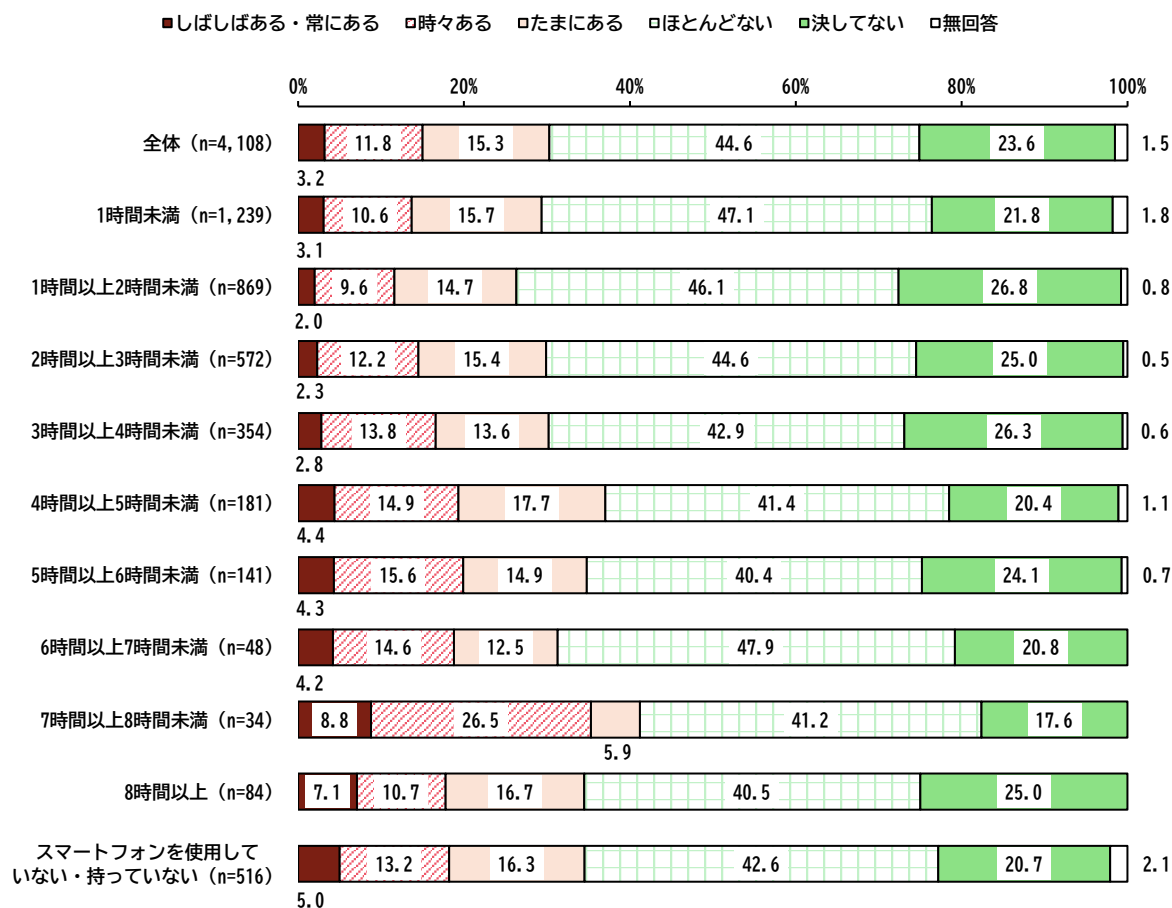
【図 1－64】心身の健康状態別孤独感（間接質問）



(61) スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「7時間以上8時間未満」、「8時間以上」及び「スマートフォンを使用していない・持っていない」で高くなっている。

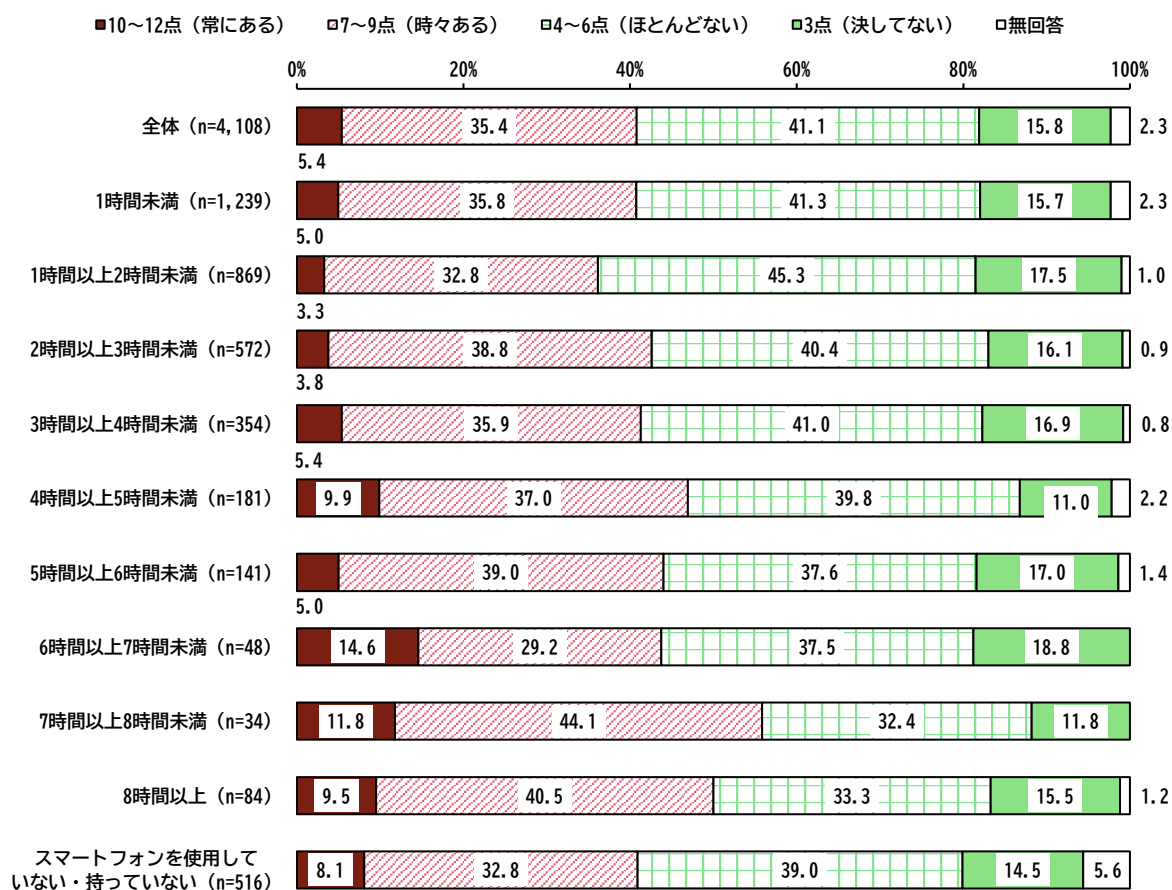
【図1-65】スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)別孤独感(直接質問)



(62) スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、「4時間以上5時間未満」、「6時間以上7時間未満」、「7時間以上8時間未満」及び「8時間以上」で高くなっている。

【図 1-66】 スマートフォンの使用時間(画面を見る時間) 別孤独感(間接質問)

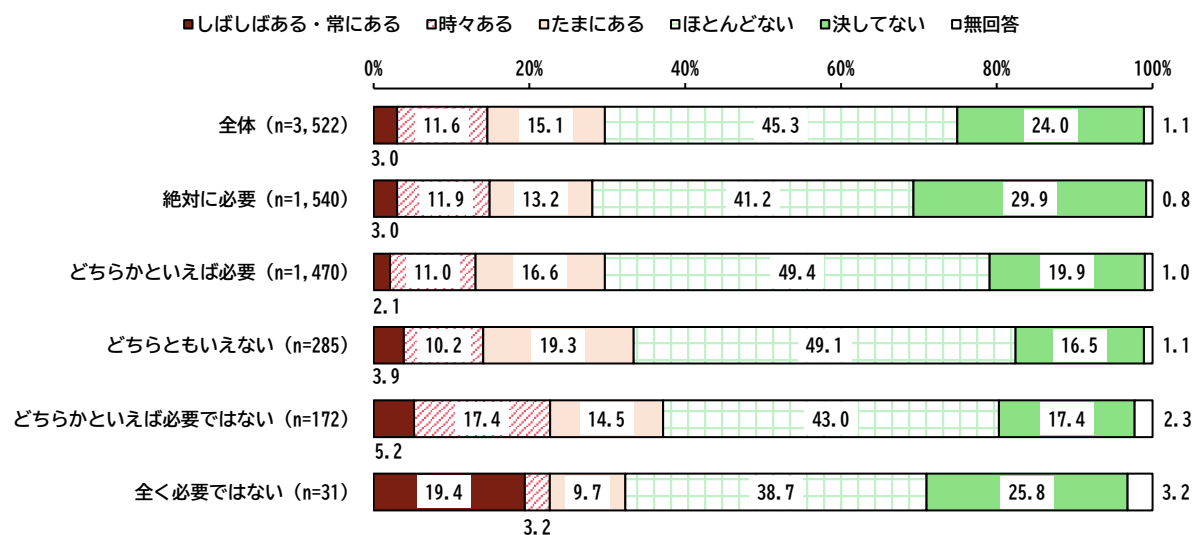


※以下、(63)～(64)については、スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)を回答している人を集計対象としている(P38～39 問 33 参照)。

(63) 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感(直接質問)

孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、「全く必要ではない」で高くなっている。一方、孤独感が「決してない」と回答した人の割合は、「絶対に必要」で高くなっている。

【図 1-67】 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感(直接質問)

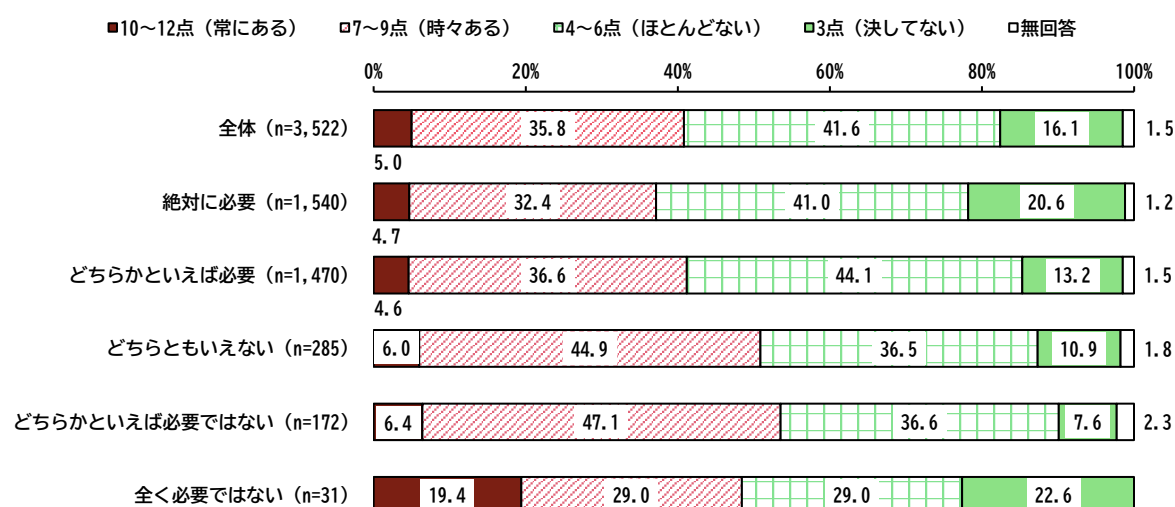


(集計対象:スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)を回答した 3,522 人)

(64) 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感(間接質問)

孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」という人の割合は、「全く必要ではない」で高くなっている。一方、孤独感スコアが「3点(決してない)」という人の割合は、「全く必要ではない」が最も高く、次いで「絶対に必要」などとなっている。

【図 1-68】 生活を送るうえでのスマートフォンの必要性別孤独感(間接質問)



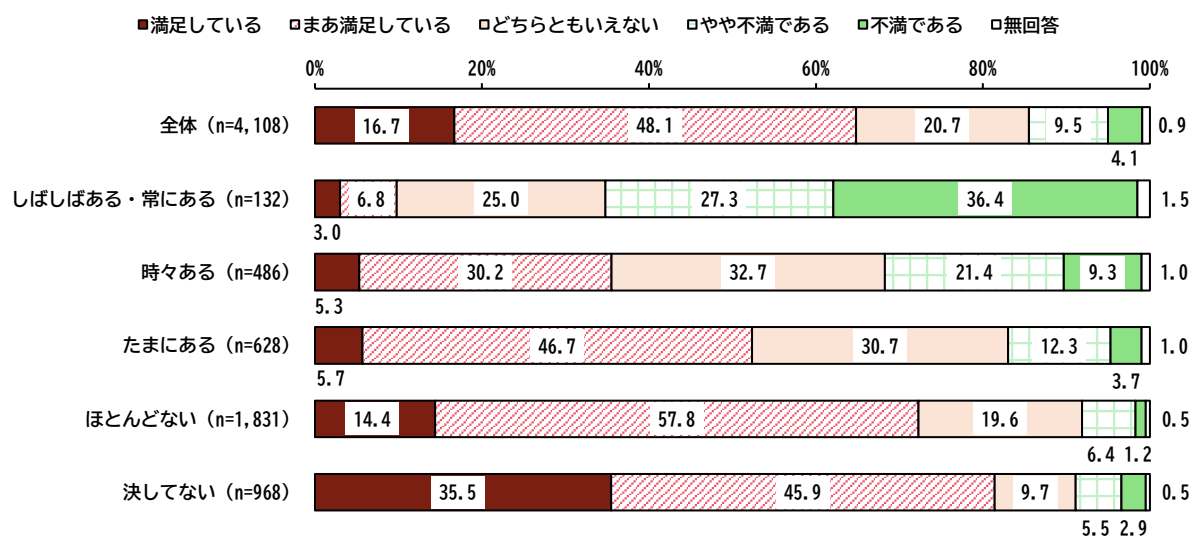
(集計対象:スマートフォンの使用時間(画面を見る時間)を回答した 3,522 人)

(65) 孤独感(直接質問)別生活満足度

現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は 16.7%、「まあ満足している」が 48.1%となっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は 4.1%、「やや不満である」が 9.5%となっている。

現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は、孤独感が「ほとんどない」及び「決してない」で高くなっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は、孤独感が「しばしばある・常にある」で高くなっている。

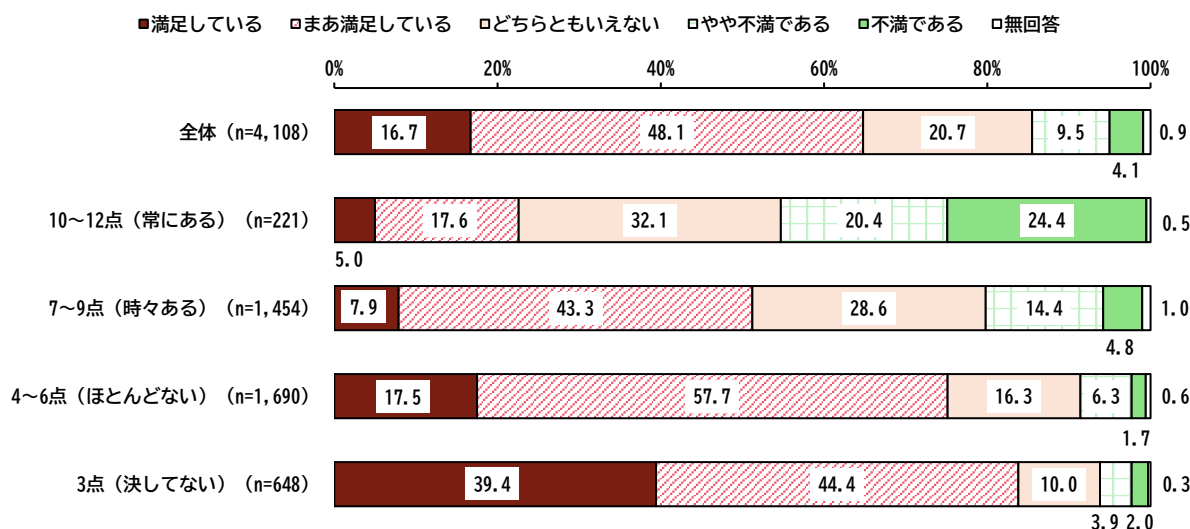
【図 1－69】孤独感（直接質問）別生活満足度



(66) 孤独感(間接質問)別生活満足度

現在の生活に「満足している」と回答した人の割合は、孤独感スコアが「3点(決してない)」及び「4～6点(ほとんどない)」で高くなっている。一方、「不満である」と回答した人の割合は、スコアが「10～12点(常にある)」で高くなっている。

【図 1－70】孤独感（間接質問）別生活満足度

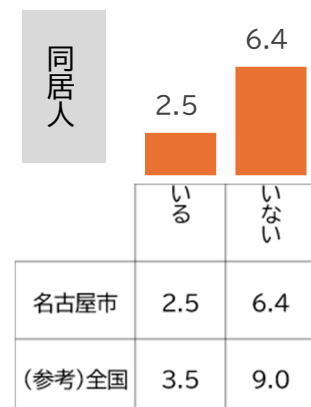
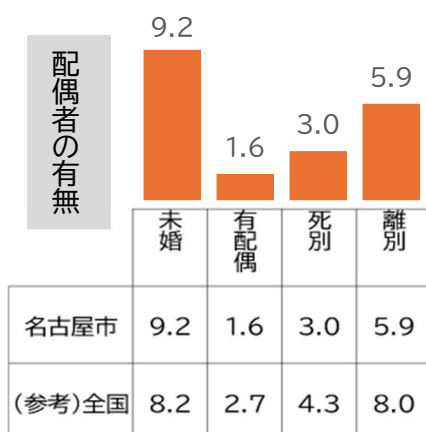
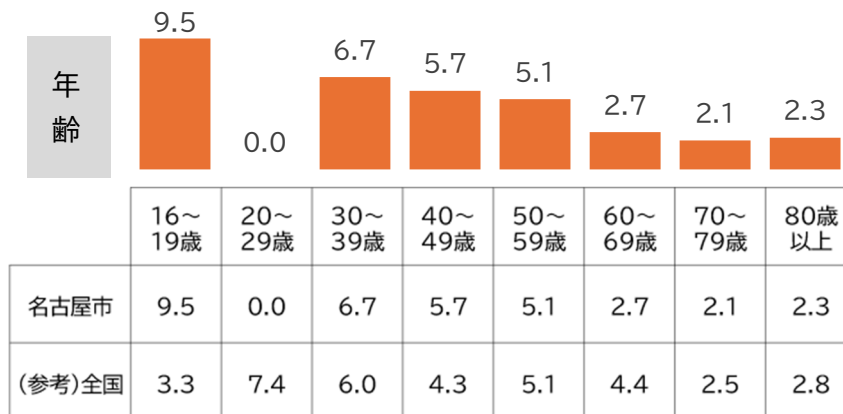


【参考】孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に関する主な属性別結果

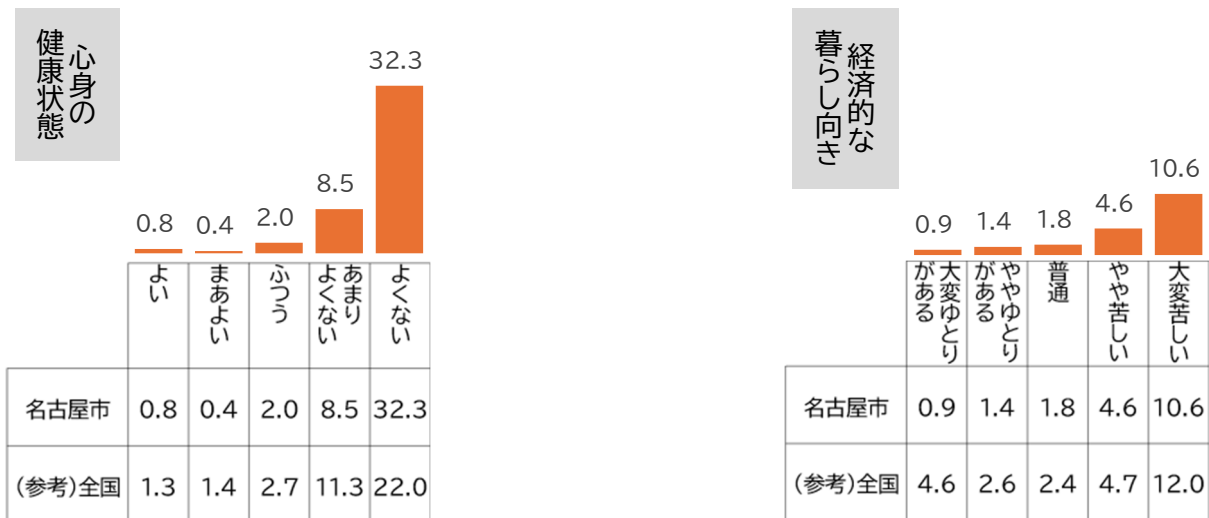
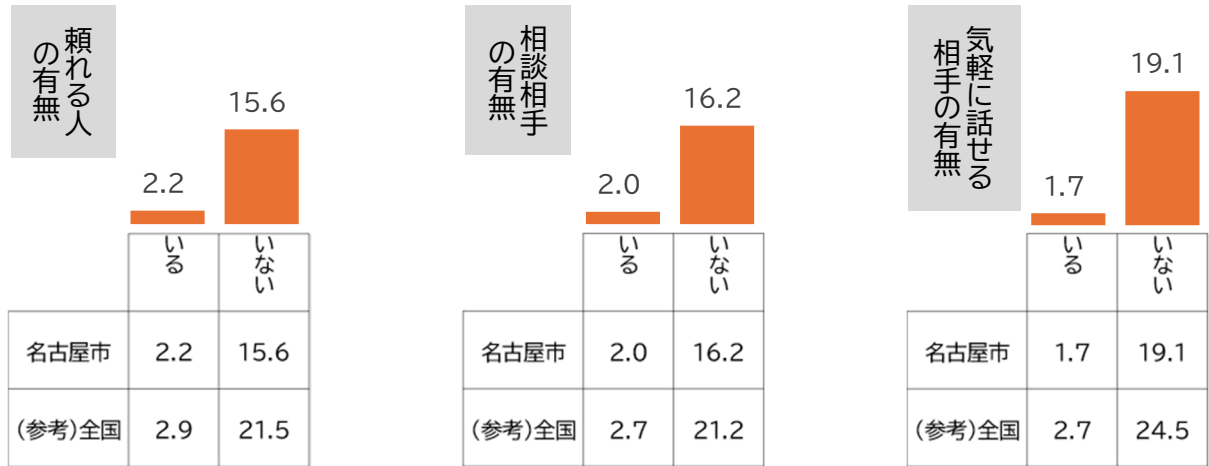
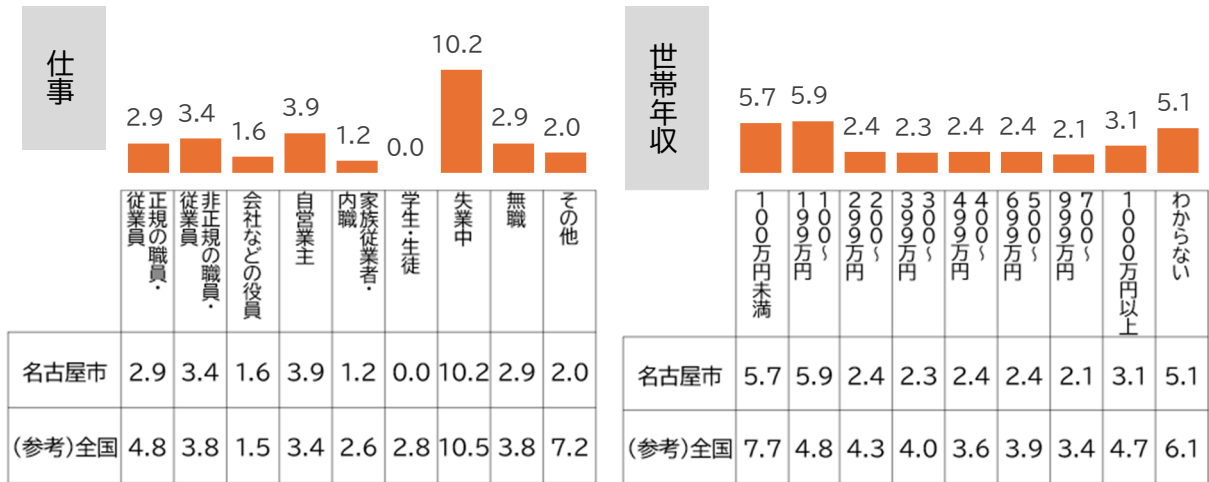
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。



	名古屋市	(参考)全国
しばしばある・常にある	3.2%	4.3%
時々ある	11.8%	15.4%
たまにある	15.3%	19.6%
ほとんどない	44.6%	40.6%
決していない	23.6%	18.4%
無回答	1.5%	1.6%



【参考】孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に関する主な属性別結果（続き）



2 孤立の状況

本調査では、社会的交流(家族・友人等との接触状況等)、社会参加、社会的サポート(他者からの支援/他者への手助け)の状況から孤立の状態を把握した。

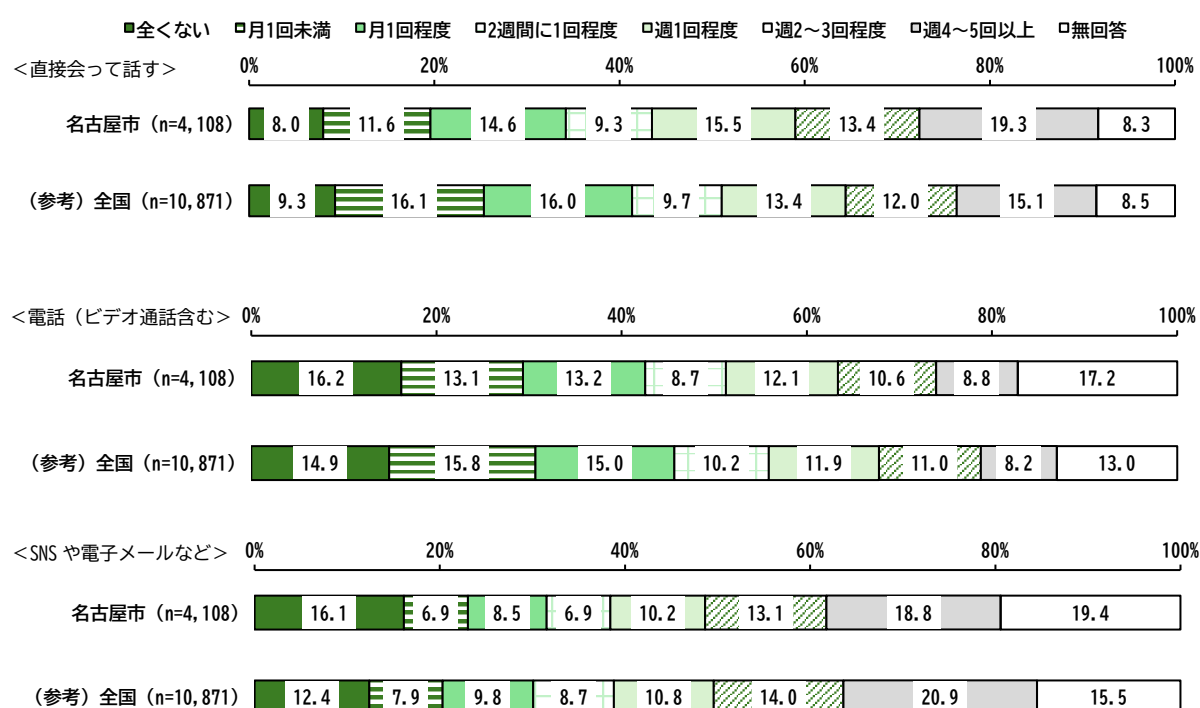
(1) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度(社会的交流)

コミュニケーション頻度が「全くない」と回答した人の割合は、「直接会って話す」で8.0%、「電話(ビデオ通話含む)」で16.2%、「SNS や電子メールなど」で16.1%となっている。

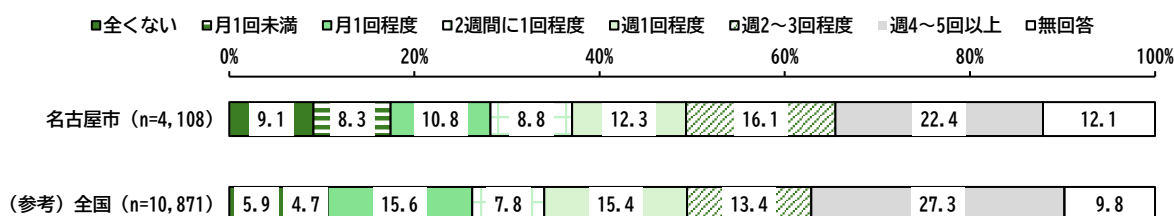
全国調査と比較すると、「直接会って話す」で「週 4～5 回以上」、「電話(ビデオ通話含む)」及び「SNS や電子メールなど」で「全くない」と回答した人の割合が特に高くなっている。

「直接会って話す」を全国調査と比較すると、「週 4～5 回以上」と回答した人の割合が高くなっている。

【図2-1】同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度(名古屋市、全国)



【図2-1参考】同居していない家族や友人たちとの非対面型ツールによるコミュニケーション頻度(名古屋市、全国)



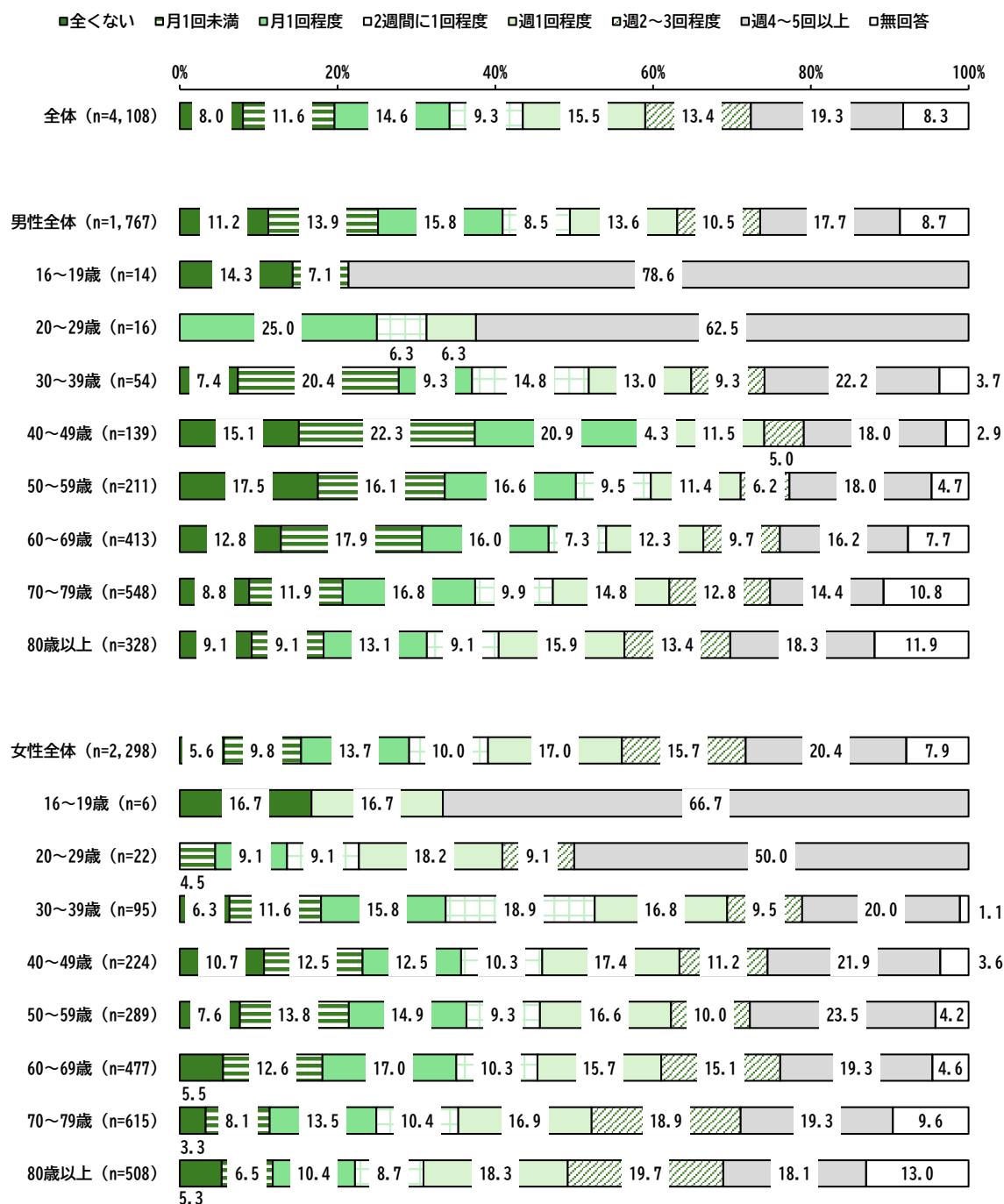
(注)「電話(ビデオ通話含む)」と「SNS や電子メールなど」へのそれぞれの回答を合算し、非対面型ツールの交流頻度として組み替えたもの。

(2) 男女、年齢階級別同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（社会的交流）

「図2-2」から「図2-4」までは、コミュニケーション手段、男女、年齢階級別の同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度を示している。

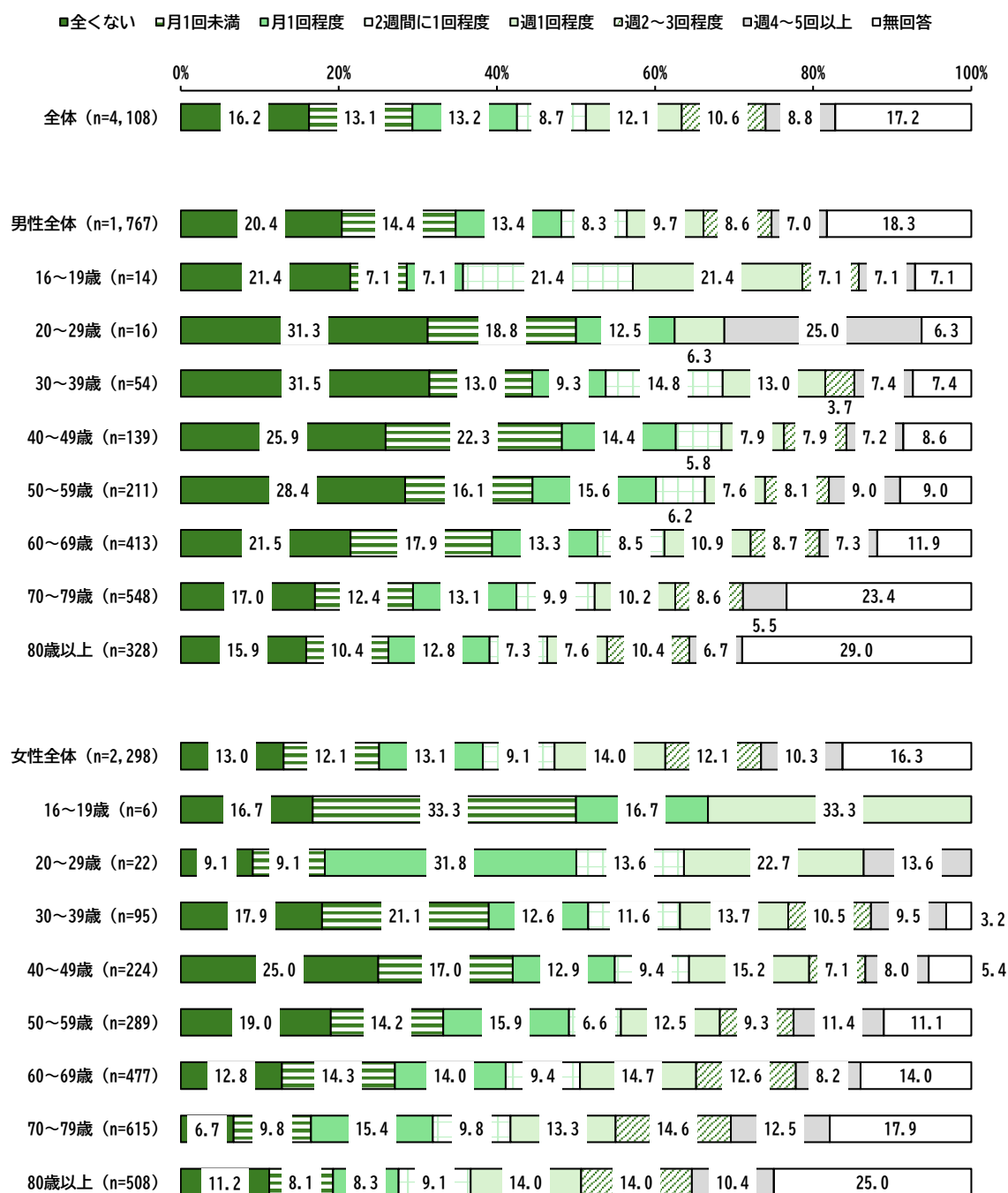
コミュニケーション頻度が「全くない」と回答した人の割合をみると、コミュニケーション手段「直接会って話す」では、男女ともに40歳代及び50歳代で、「電話（ビデオ通話含む）」では、男女ともに30歳代から50歳代で、「SNSや電子メールなど」では、男女ともに80歳以上で高くなっている。

【図2-2】男女、年齢階級別「直接会って話す」頻度



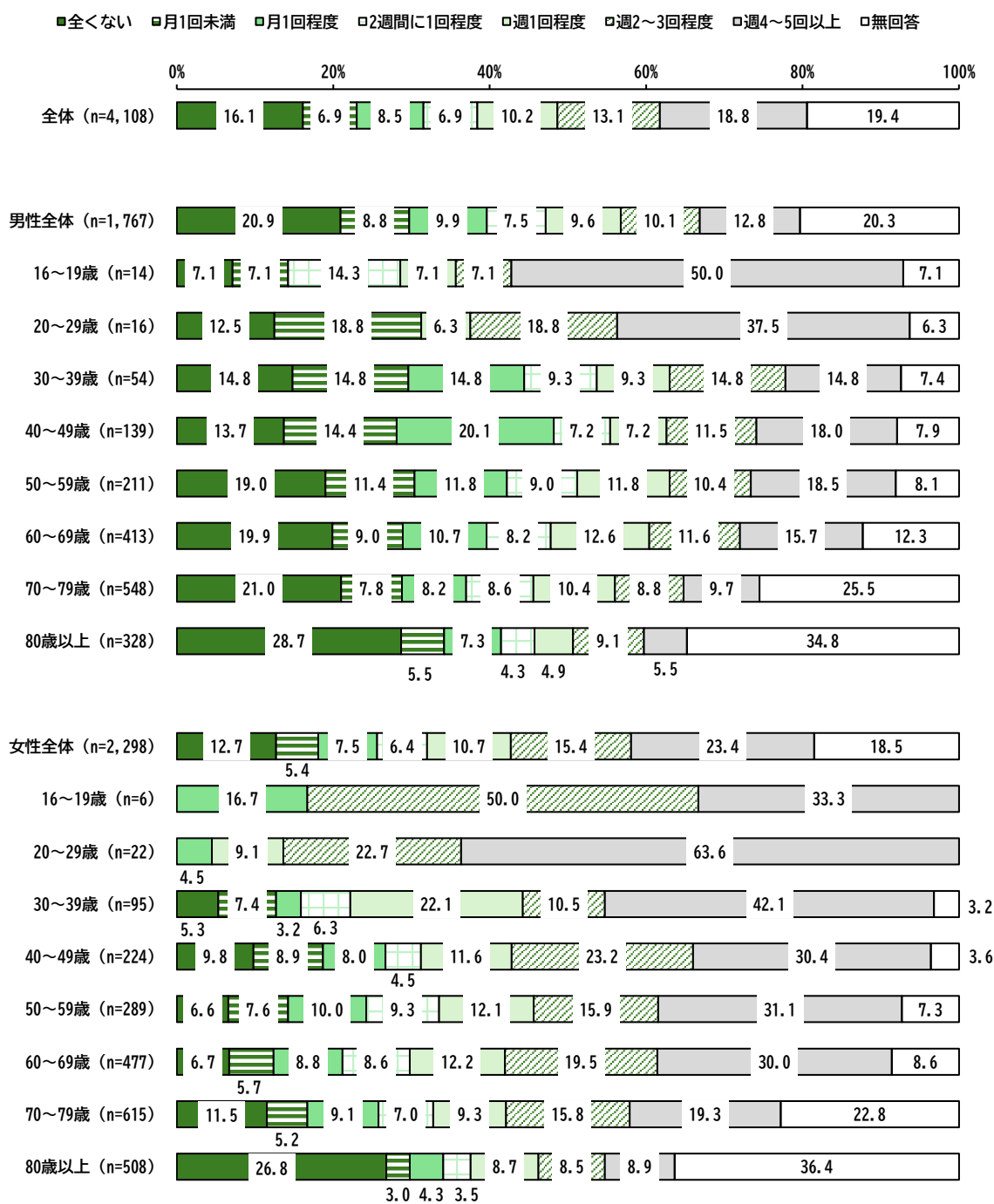
(注) 男性及び女性の「16～19歳」及び男性の「20～29歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

【図2-3】男女、年齢階級別「電話（ビデオ通話含む）する」頻度



(注) 男性及び女性の「16～19歳」及び男性の「20～29歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

【図2-4】男女、年齢階級別「SNS や電子メールなどをする」頻度



(注)男性及び女性の「16～19歳」及び男性の「20～29歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

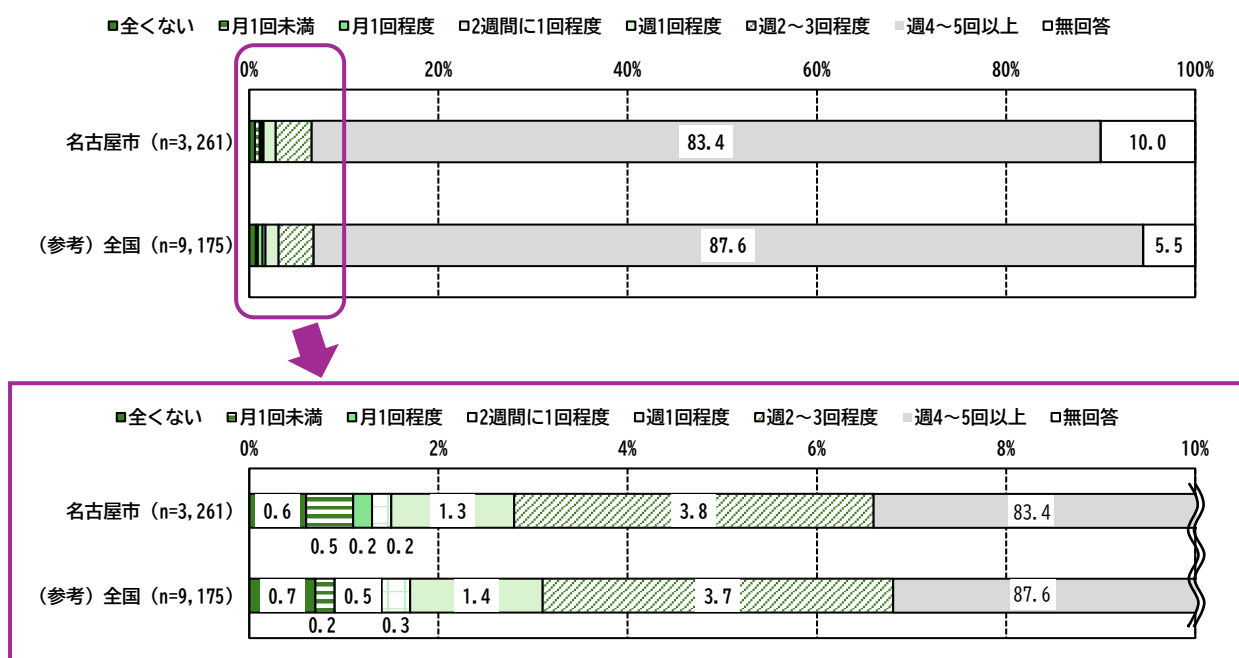
※以下、(3)及び(4)については、同居人がいると判定した人を集計対象としている(P11 参照)。

(3) 同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度(社会的交流)

同居している人たちと直接会って話す頻度は、「週4～5回以上」と回答した人の割合が 83.4%となっている。

直接会って話す頻度が「全くない」と回答した人の割合は 0.6%となっており、全国調査と比較して差異はみられない。

【図2-5】同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度(名古屋市、全国)



(集計対象:同居人がいると判定した 3,261 人)

(4) 男女、年齢階級別同居している人たちとのコミュニケーション頻度(社会的交流)

同居している人たちと直接会って話す頻度が「全くない」と回答した人の割合は、男性が 0.8%、女性が 0.3%となっている。

【図2-6】男女、年齢階級別同居している人たちとの直接会話によるコミュニケーション頻度

(%)

	n	全くない	月1回未満	月1回程度	2週間に1回程度	週1回程度	週2～3回程度	週4～5回以上	無回答
全 体	3,261	0.6	0.5	0.2	0.2	1.3	3.8	83.4	10.0
男性／全体	1,475	0.8	0.6	0.3	0.3	1.6	4.0	82.3	10.2
16～19 歳	13	-	-	-	-	-	-	92.3	7.7
20～29 歳	11	9.1	-	-	-	-	-	72.7	18.2
30～39 歳	49	-	-	-	-	-	6.1	89.8	4.1
40～49 歳	131	0.8	-	-	-	2.3	3.8	90.8	2.3
50～59 歳	176	0.6	0.6	0.6	-	-	3.4	91.5	3.4
60～69 歳	325	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2	5.2	88.0	4.3
70～79 歳	469	0.9	0.6	0.2	0.2	0.9	3.8	79.3	14.1
80 歳以上	271	1.1	1.1	0.4	0.4	2.6	3.0	72.0	19.6
女性／全体	1,755	0.3	0.4	0.1	0.2	1.1	3.6	84.2	10.0
16～19 歳	5	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20～29 歳	21	-	-	-	-	-	4.8	90.5	4.8
30～39 歳	86	-	-	-	-	-	-	93.0	7.0
40～49 歳	207	-	-	-	-	0.5	2.4	93.2	3.9
50～59 歳	253	0.4	0.4	0.4	-	0.4	2.8	92.5	3.2
60～69 歳	330	0.5	0.5	-	0.3	1.3	2.1	89.5	5.9
70～79 歳	459	0.2	0.4	-	0.4	1.3	5.0	76.9	15.7
80 歳以上	287	0.3	0.3	0.3	0.3	2.1	6.3	73.5	16.7

(集計対象:同居人がいると判定した 3,261 人)

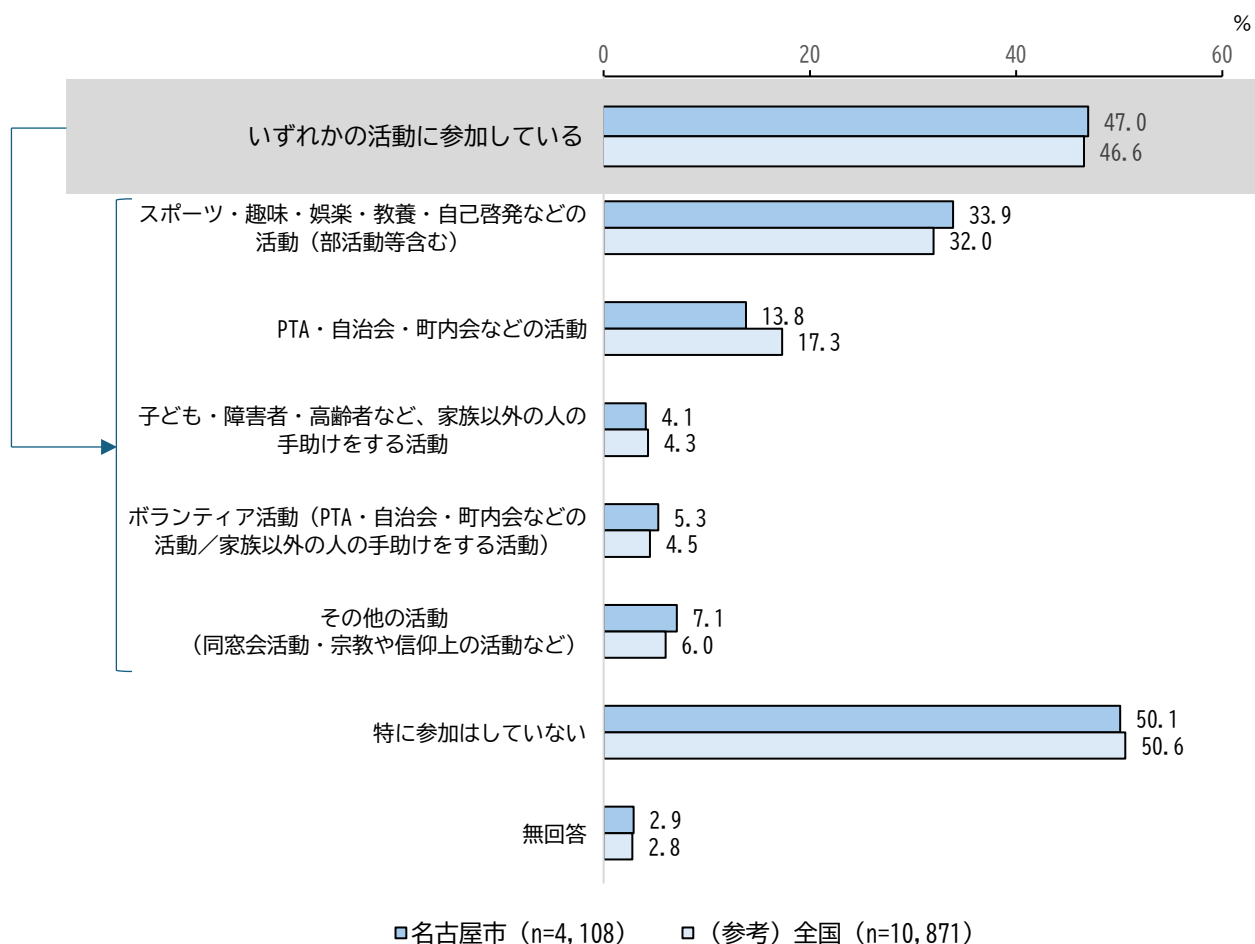
(注)男性及び女性の「16～19 歳」及び男性の「20～29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(5) 社会活動への参加状況(社会参加)

社会活動への参加状況をみると、「いずれかの活動に参加している」で 47.0%、「特に参加はしていない」で 50.1%となっている。

全国調査と比較すると、「いずれかの活動に参加している」及び「特に参加はしていない」ともに割合に差異はみられない。

【図 2－7】社会活動への参加状況【複数回答】(名古屋市、全国)



(注)回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)」のいずれかに回答があった者を「いずれかの活動に参加している」として集計。

(6) 男女、年齢階級別社会活動への参加状況(社会参加)

社会活動への参加状況について、「特に参加はしていない」と回答した割合は、男性が 51.6%、女性が 49.2%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性の 40 歳代及び 50 歳代、女性の 20 歳代から 50 歳代及び 80 歳以上で高くなっている。

【図 2-8】男女、年齢階級別社会活動への参加状況【複数回答】

(%)

	n	PTA・自治会・町内会などの活動	子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動	ボランティア活動(PTA・自治会・町内会などの活動/家族以外の人の手助けをする活動)	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)	その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)	特に参加はしていない	無回答	いずれかの活動に参加している
全 体	4,108	13.8	4.1	5.3	33.9	7.1	50.1	2.9	47.0
男性/全体	1,767	13.5	2.9	5.9	33.0	8.0	51.6	2.5	46.0
16~19 歳	14	-	-	7.1	64.3	7.1	28.6	-	71.4
20~29 歳	16	-	-	-	31.3	6.3	62.5	-	37.5
30~39 歳	54	14.8	1.9	3.7	40.7	9.3	44.4	-	55.6
40~49 歳	139	9.4	1.4	2.9	28.1	2.2	61.9	1.4	36.7
50~59 歳	211	10.9	4.7	4.3	27.5	4.3	60.2	2.8	37.0
60~69 歳	413	14.5	2.9	6.1	34.9	8.2	49.9	1.0	49.2
70~79 歳	548	17.2	3.5	7.7	34.5	12.4	46.9	1.8	51.3
80 歳以上	328	11.9	1.8	4.9	32.3	6.4	51.8	6.4	41.8
女性/全体	2,298	14.1	5.0	4.9	34.6	6.4	49.2	3.1	47.7
16~19 歳	6	-	16.7	-	50.0	-	50.0	-	50.0
20~29 歳	22	4.5	-	9.1	27.3	-	59.1	-	40.9
30~39 歳	95	12.6	6.3	-	21.1	7.4	58.9	2.1	38.9
40~49 歳	224	18.3	4.9	2.2	32.6	2.7	53.1	1.3	45.5
50~59 歳	289	15.9	6.6	2.4	31.8	4.8	52.6	0.3	47.1
60~69 歳	477	17.4	6.7	4.8	40.5	8.4	43.2	1.5	55.3
70~79 歳	615	14.1	5.4	8.0	39.7	9.3	42.9	3.1	54.0
80 歳以上	508	9.6	2.4	4.3	27.6	3.5	56.9	6.9	36.2

(注)回答選択肢「1 PTA・自治会・町内会などの活動」から「5 その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)」のいずれかに回答があった者を「いずれかの活動に参加している」として集計。

(注)男性及び女性の「16~19 歳」及び男性の「20~29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

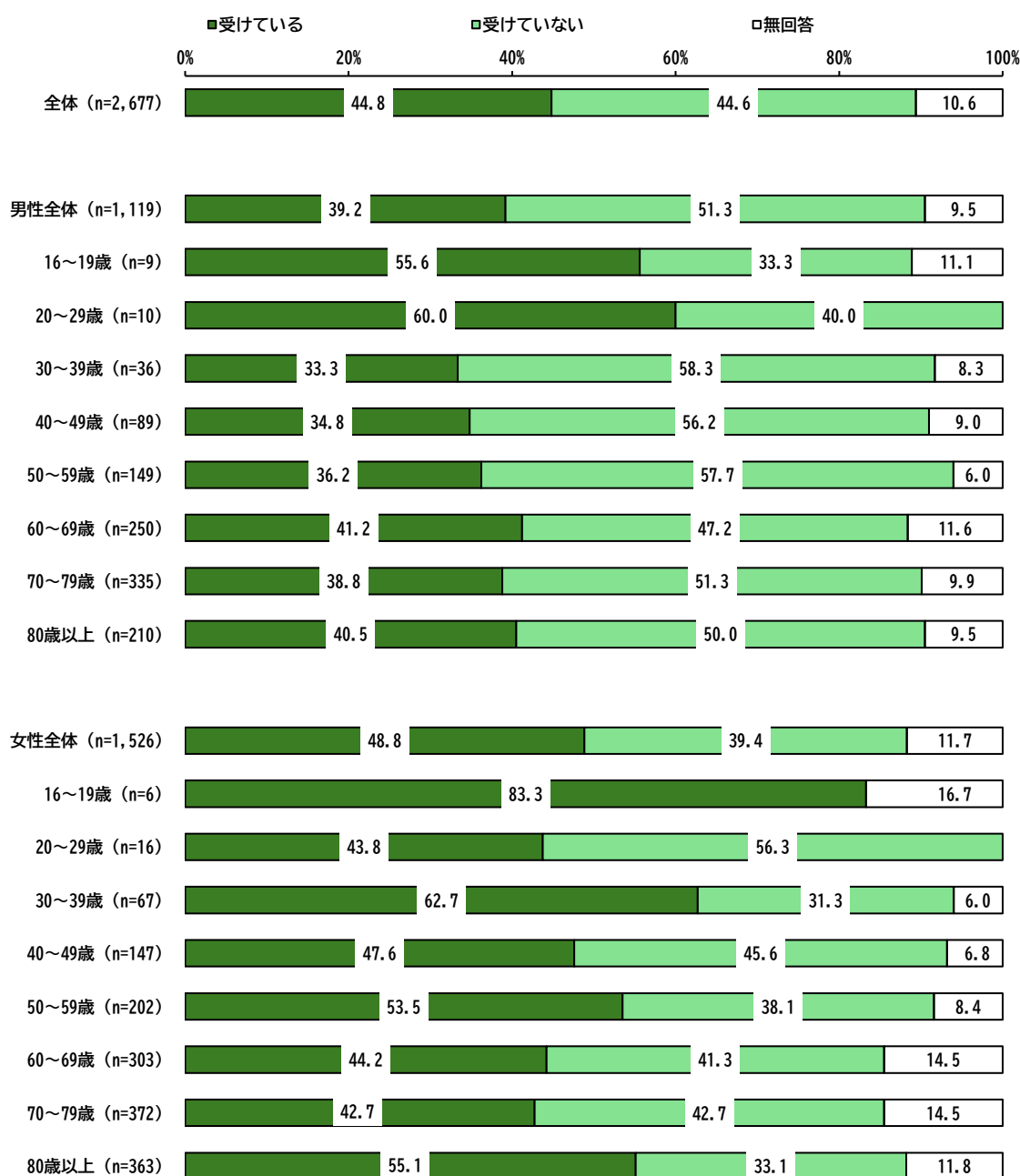
※以下、(7)～(11)については、日常生活に不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した人を集計対象としている(P30 参照)。

(7) 男女、年齢階級別不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況（社会的サポート）

日常生活で感じている不安や悩みについて、家族・友人等からの手助けを「受けている」と回答した人の割合は 44.8%、「受けていない」は 44.6%となっている。

手助けを「受けていない」と回答した人の割合は、男性が 51.3%、女性が 39.4%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では 30 歳代から 50 歳代で、女性で 40 歳代、60 歳代及び 70 歳代で高くなっている。

【図 2－9】男女、年齢階級別不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況



(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(注) 男性及び女性の「16～19 歳」及び「20～29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

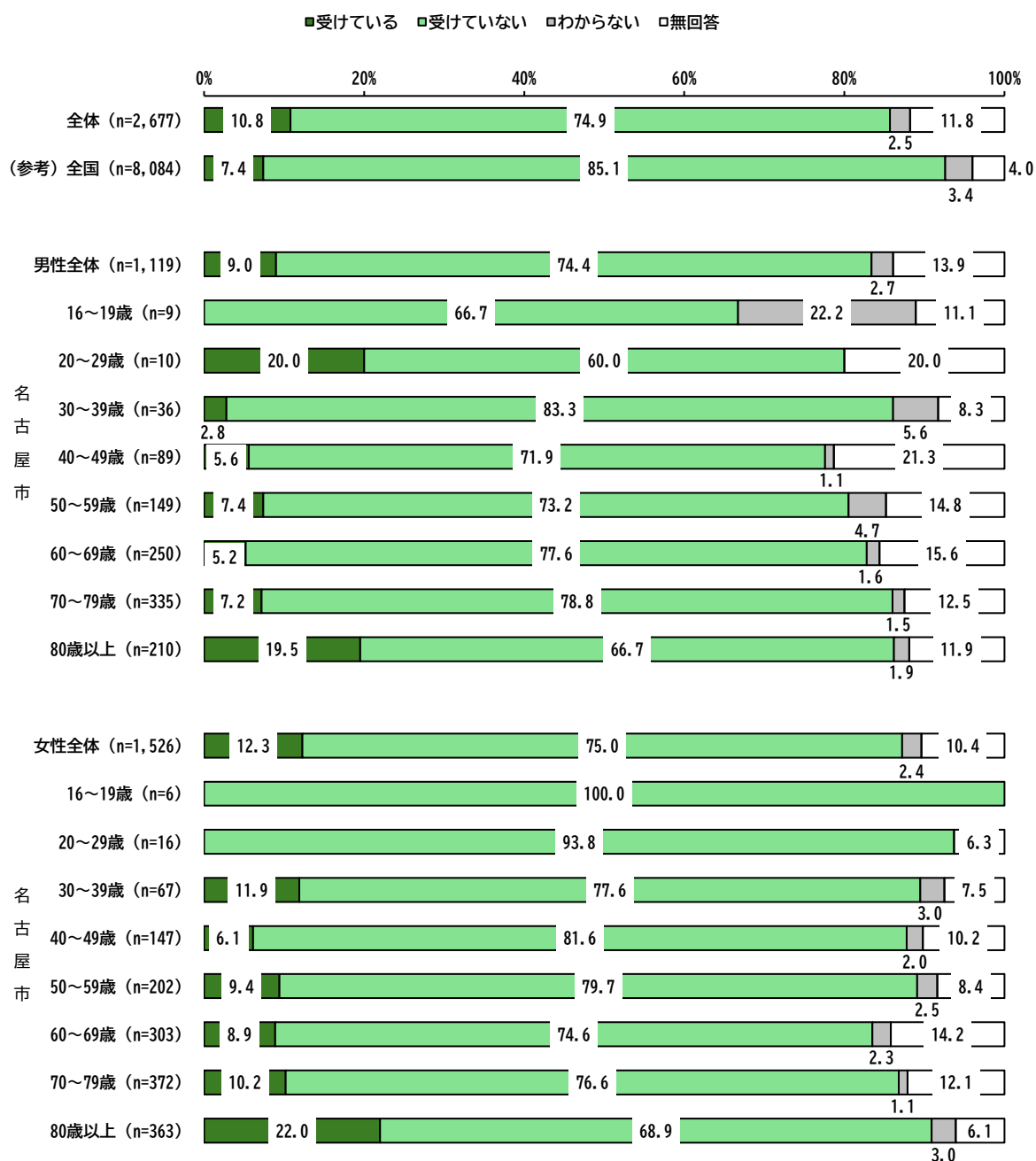
(8) 男女、年齢階級別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況（社会的サポート）

行政機関やNPO等の民間団体から不安や悩みに対する支援（対価を直接支払うものを除く。）を「受けている」と回答した人の割合は10.8%、「受けていない」は74.9%となっている。

全国調査と比較すると、「受けていない」の割合が低くなっている。

支援を「受けていない」と回答した人の割合は、男性が74.4%、女性が75.0%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では30歳代、60歳代及び70歳代で、女性では40歳代及び50歳代で高くなっている。

【図2-10】男女、年齢階級別不安や悩みに対する行政機関・NPO等からの支援の状況

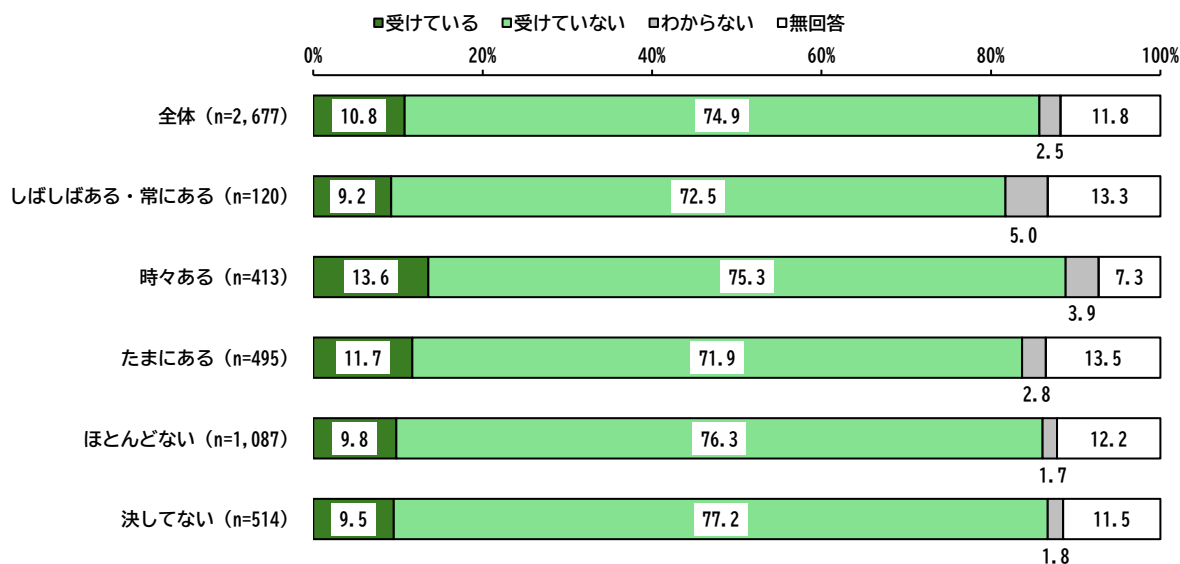


(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した2,677人)

(注) 男性及び女性の「16～19歳」及び「20～29歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

(9) 孤独感(直接質問)別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況 (社会的サポート)
 行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人の割合を孤独感(直接質問)別にみると、孤独感が「決してない」及び「ほとんどない」で高くなっている。

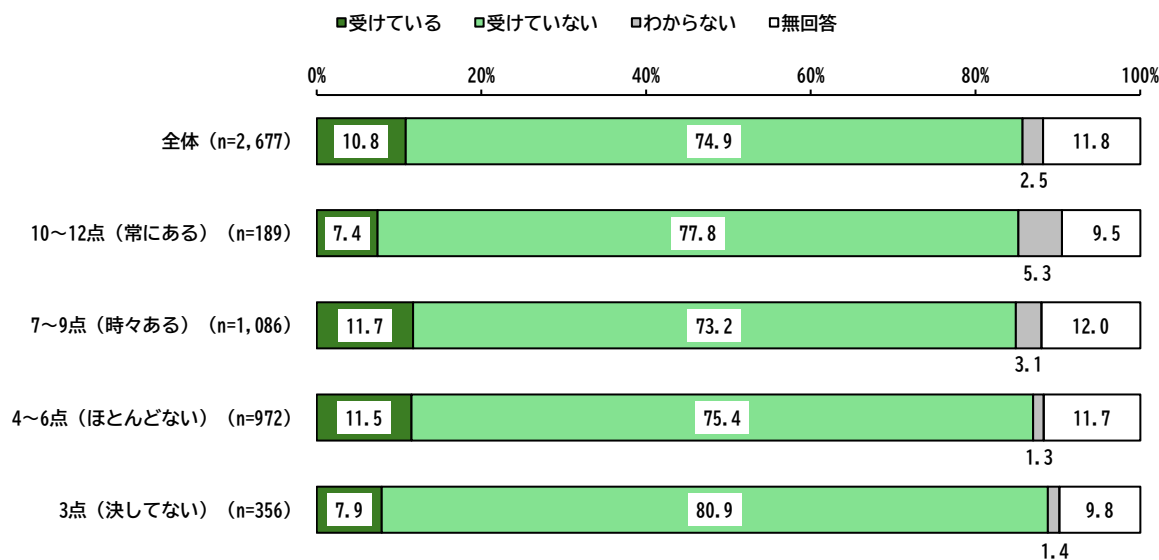
【図 2-11】孤独感(直接質問)別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況



(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(10) 孤独感(間接質問)別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況 (社会的サポート)
 行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人の割合を孤独感(間接質問)別にみると、「3点(決してない)」で高くなっている。

【図 2-12】孤独感(間接質問)別不安や悩みに対する行政機関・NPO 等からの支援の状況

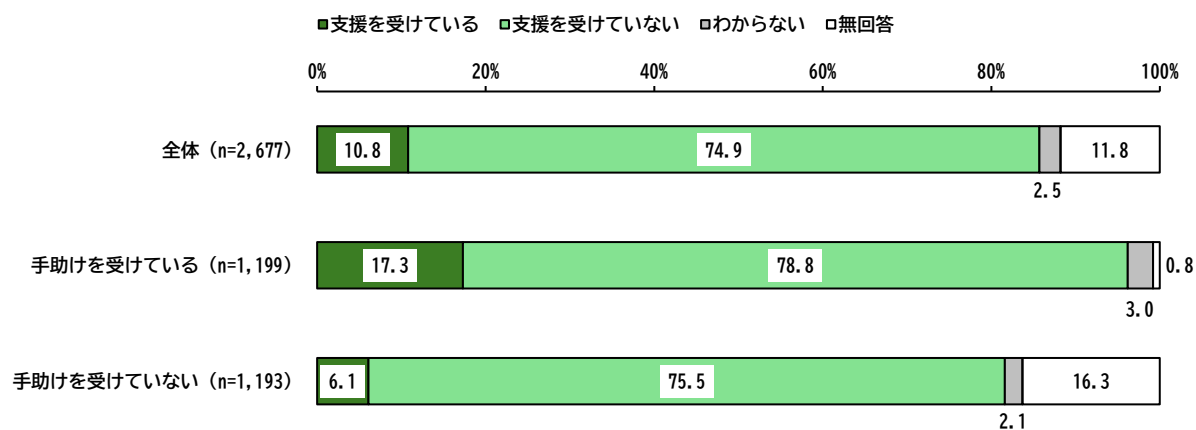


(集計対象: 不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

(11) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別行政機関・NPO 等からの支援の状況(社会的サポート)

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援の状況を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した人の割合は家族・友人等からの手助けを「受けている」で 17.3%、手助けを「受けていない」では 6.1%となっている。

【図 2－13】不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別行政機関・NPO 等からの支援の状況



(集計対象:不安や悩みを感じていることが「ある」と回答した 2,677 人)

※以下、(12)～(15)については、日常生活に不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、行政機関やNPO等の民間団体から支援を「受けている」と回答した人を集計対象としている(P54 参照)。

(12) 孤独感(直接質問・間接質問)別支援を受けている人の支援者(社会的サポート)

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した人に対し、その支援者を尋ねたところ、「行政機関(国や自治体)」と回答した割合が53.8%と最も高くなっている。

全国調査と比較すると、「社会福祉協議会」の割合が特に低くなっている。

支援者を孤独感別にみると、間接質問による孤独感が「3点(決してない)」で「社会福祉協議会」が高くなっている。

【図2-14】孤独感(直接質問・間接質問)別支援を受けている人の支援者【複数回答】

		(%)						
		n	行政機関 (国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア団体	自治会・町内会	その他	無回答
名古屋市		290	53.8	10.7	4.8	3.1	11.7	26.9
(参考) 全国		601	54.6	27.0	9.2	4.3	16.6	5.0
直接質問	しばしばある・常にある	11	54.5	—	18.2	—	9.1	18.2
	時々ある	56	48.2	12.5	8.9	3.6	8.9	32.1
	たまにある	58	55.2	8.6	—	3.4	13.8	25.9
	ほとんどない	107	57.9	13.1	4.7	2.8	11.2	22.4
	決してない	49	49.0	8.2	4.1	4.1	12.2	34.7
間接質問	10～12点(常にある)	14	57.1	7.1	14.3	7.1	—	14.3
	7～9点(時々ある)	127	53.5	9.4	4.7	1.6	11.8	29.1
	4～6点(ほとんどない)	112	55.4	11.6	4.5	4.5	13.4	23.2
	3点(決してない)	28	50.0	17.9	3.6	—	7.1	39.3

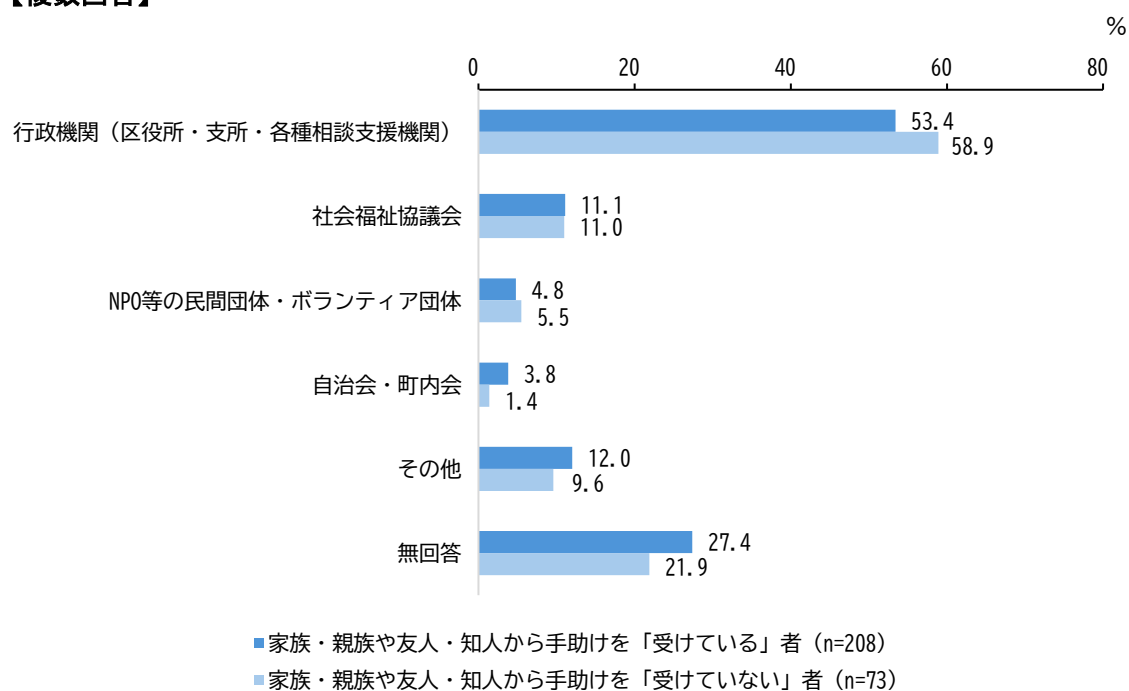
(集計対象:行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した290人)

(注)直接質問の「しばしばある・常にある」及び間接質問の「10～12点(常にある)」については、回答者数が些少のため、参考値。

(13) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けている人の支援者（社会的サポート）

支援者を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、手助けを「受けている」と回答した人と「受けていない」と回答した人との、差異はみられない。

【図 2-15】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けている人の支援者
【複数回答】



（集計対象：行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した 290 人）

(14) 孤独感(直接質問・間接質問)別受けている支援内容(社会的サポート)

行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した人に対し、その支援内容を尋ねたところ、「人的な支援(世話や介護)」と回答した割合が41.0%と最も高く、次いで、「相談支援(助言や情報提供等)」(37.9%)などとなっている。

「人的な支援(世話や介護)」と回答した割合は、全国調査と比較すると高くなっている。一方、「相談支援(助言や情報提供等)」と回答した割合は、全国調査と比較して低くなっている。

支援内容を孤独感別にみると、「現物提供等の支援(食料品・日用品の提供)」と回答した割合は、直接質問による孤独感が「決してない」で、「相談支援(助言や情報提供等)」と回答した割合は、間接質問による孤独感が「3点(決してない)」で高くなっている。

【図2-16】孤独感(直接質問・間接質問)別受けている支援内容【複数回答】

		(%)						
		n	経済的な支援 (給付や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の提供)	人的な支援 (世話や介護)	相談支援 (助言や情報提供等)	その他	無回答
名古屋市		290	23.1	3.1	41.0	37.9	8.6	7.6
(参考) 全国		601	21.1	4.2	31.9	51.6	9.7	7.2
直接質問	しばしばある・常にある	11	36.4	-	18.2	45.5	-	9.1
	時々ある	56	26.8	5.4	41.1	37.5	10.7	5.4
	たまにある	58	25.9	1.7	41.4	29.3	8.6	6.9
	ほとんどない	107	17.8	1.9	47.7	44.9	7.5	5.6
	決してない	49	24.5	6.1	32.7	36.7	8.2	12.2
間接質問	10～12点(常にある)	14	42.9	7.1	28.6	28.6	7.1	-
	7～9点(時々ある)	127	20.5	3.9	41.7	37.8	8.7	8.7
	4～6点(ほとんどない)	112	23.2	2.7	43.8	37.5	8.0	7.1
	3点(決してない)	28	17.9	-	42.9	50.0	10.7	3.6

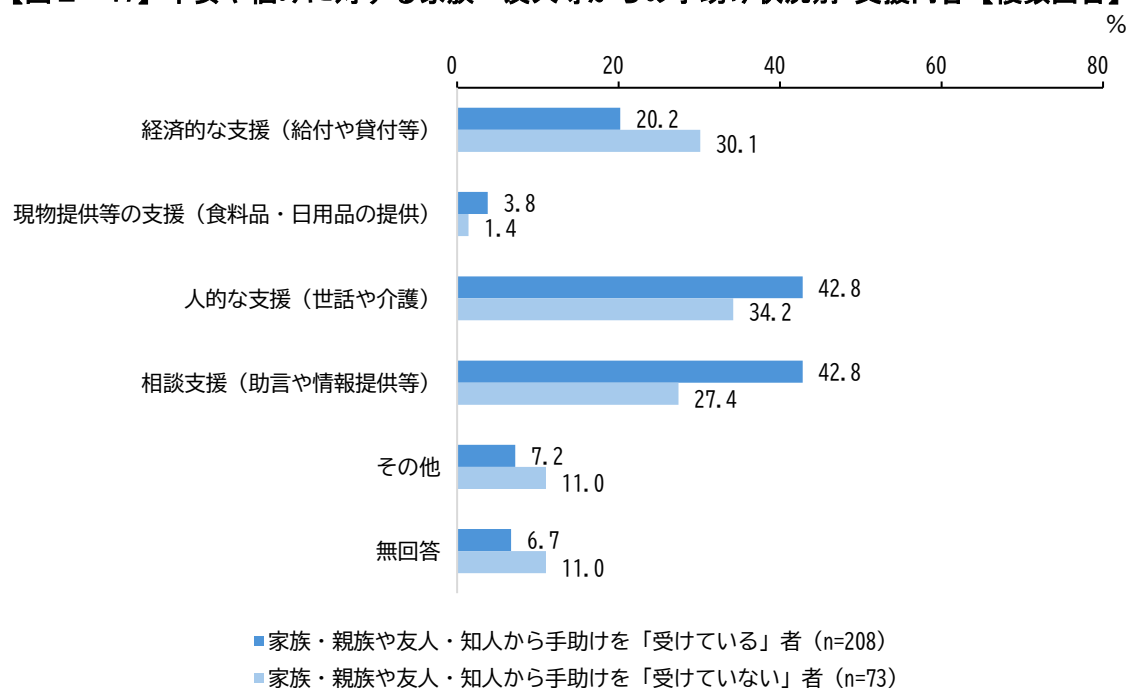
(集計対象:行政機関やNPO等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した290人)

(注)直接質問の「しばしばある・常にある」及び間接質問の「10～12点(常にある)」については、回答者数が些少のため、参考値。

(15) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援内容(社会的サポート)

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援内容を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、「経済的な支援(給付や貸付等)」と回答した割合は手助けを「受けている」で 20.2%、「受けていない」で 30.1%となっている。一方、「相談支援(助言や情報提供等)」と回答した割合は、手助けを「受けている」で 42.8%、「受けていない」で 27.4%となっている。

【図 2-17】 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別 支援内容【複数回答】



(集計対象:行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けている」と回答した 290 人)

※以下、(16)及び(17)については、日常生活に不安や悩みを感じていることが「ある」と回答し、かつ、行政機関や NPO 等の民間団体から支援を「受けていない」と回答した人を集計対象としている(P54 参照)。

(16) 孤独感(直接質問・間接質問)別支援を受けていない理由(社会的サポート)

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した人に対し、その理由を尋ねたところ、「支援が必要ではないため」と回答した割合が 61.5%と最も高く、次いで、「どのような支援があるのか知らないため」(23.7%)、「支援の受け方がわからないため」(15.5%)などとなっている。

全国調査と比較すると、「どのような支援があるのか知らないため」と回答した人の割合は高くなっている。

支援を受けていない理由を孤独感別にみると、「支援が必要ではないため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「決してない」及び「ほとんどない」並びに間接質問による孤独感スコアが「3点(決してない)」及び「4～6点(ほとんどない)」で高くなっている。一方で、「どのような支援があるのか知らないため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「しばしばある・常にある」及び間接質問による孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」で高くなっている。

また、「支援の受け方がわからないため」と回答した人の割合は、直接質問による孤独感が「しばしばある・常にある」及び「時々ある」並びに間接質問による孤独感スコアが「10～12 点(常にある)」で高くなっている。

なお、「支援が必要ではないため」と回答しなかった者についてみると、「どのような支援があるのか知らないため」が 41.7%と最も高く、次いで、「支援が必要だが、我慢できる程度であるため」(31.2%)、「支援の受け方がわからないため」(29.5%)などとなっている。

【図2-18】孤独感（直接質問・間接質問）別支援を受けていない理由【複数回答】

(%)

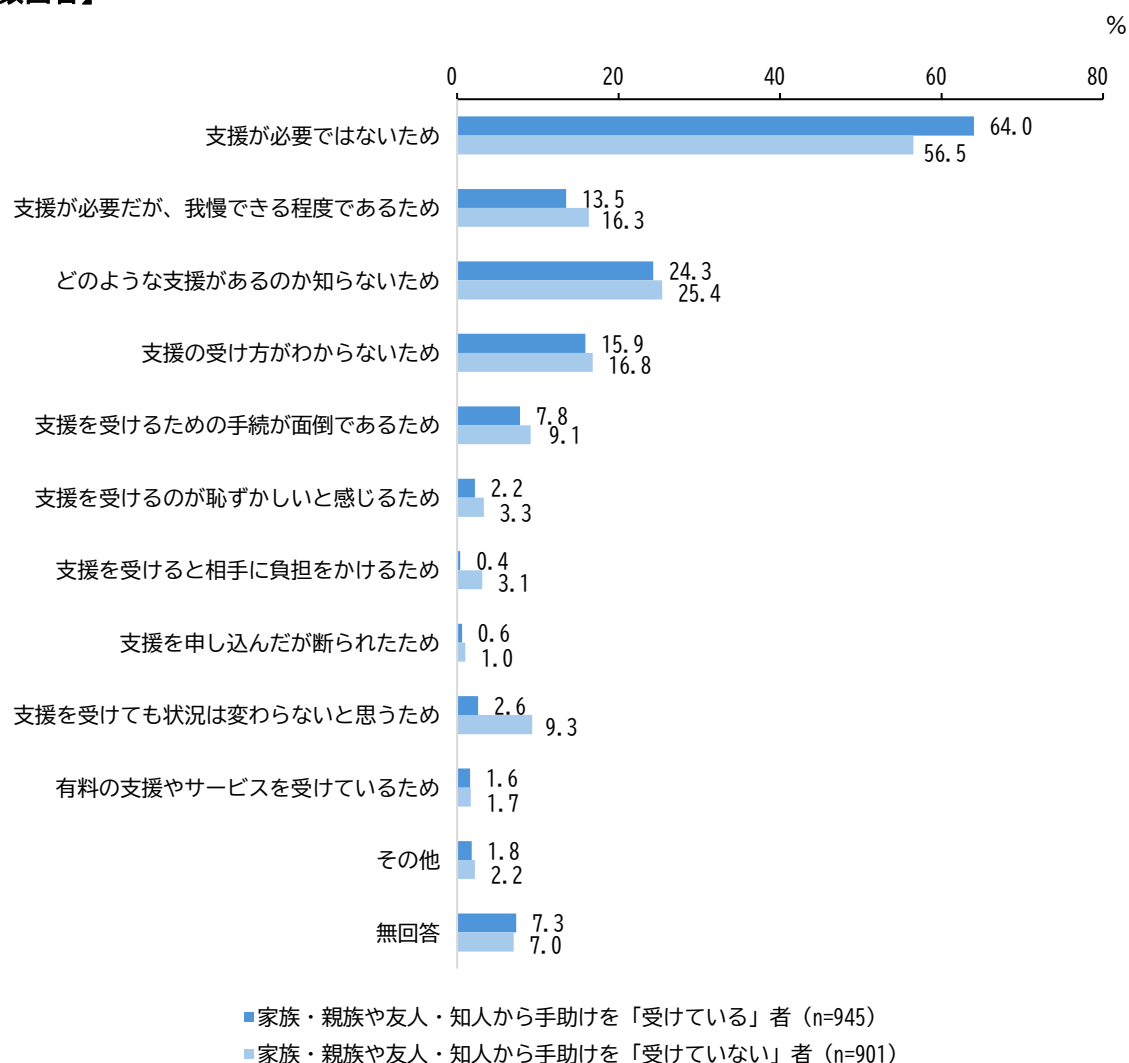
		n	支援が必要ではないため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	どのような支援があるのか知らないため	支援の受け方がわからないため	支援を受けるための手続が面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため	支援を受けても状況は変わらないと思うため	有料の支援やサービスを受けているため	その他	無回答
名古屋市		2,006	61.5	14.6	23.7	15.5	7.9	2.6	1.7	0.7	5.7	1.8	2.1	7.0
(参考) 全国		6,883	62.6	15.2	19.7	18.4	10.3	3.9	2.2	0.8	8.7	1.4	2.8	2.9
直接質問	しばしばある・常にある	87	24.1	19.5	47.1	34.5	16.1	3.4	4.6	5.7	23.0	2.3	5.7	11.5
	時々ある	311	41.5	16.4	36.3	26.7	14.5	5.8	3.2	0.6	9.3	1.6	2.9	7.7
	たまにある	356	57.9	15.7	25.8	15.7	9.6	3.7	2.2	0.3	7.6	2.2	2.2	6.2
	ほとんどない	829	69.5	14.0	19.7	13.1	5.9	1.6	0.8	0.6	3.5	1.9	1.8	6.4
	決してない	397	73.6	12.1	14.6	7.1	3.5	1.3	1.3	0.3	2.3	1.3	1.5	5.8
間接質問	10～12点（常にある）	147	32.0	17.0	47.6	36.1	18.4	6.8	4.1	2.7	19.7	1.4	4.8	5.4
	7～9点（時々ある）	795	55.1	17.6	27.3	18.9	10.6	4.0	2.1	0.8	6.7	2.0	2.0	6.7
	4～6点（ほとんどない）	733	70.7	12.0	18.7	11.7	4.8	1.4	1.1	0.4	3.1	1.9	1.5	6.4
	3点（決してない）	288	72.9	12.2	14.9	6.3	3.8	0.3	0.7	0.7	2.4	1.4	2.4	7.6
「支援が必要ではないため」と回答しなかった者														
名古屋市		773	／	31.2	41.7	29.5	15.9	4.8	3.2	1.8	12.5	4.4	4.3	18.2
(参考) 全国		2,576	／	31.4	37.7	35.8	19.1	7.7	4.4	1.8	18.7	3.1	5.8	7.8

(集計対象:行政機関・NPO等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した2,006人)

(17) 不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けていない理由（社会的サポート）

行政機関や NPO 等の民間団体からの支援を受けていない理由を不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別にみると、「支援が必要ではないため」は手助けを「受けている」と回答した人で高くなっている。一方、「支援が必要ではないため」を除く他の理由では、手助けを「受けていない」と回答した人で高くなっている。

【図 2－19】不安や悩みに対する家族・友人等からの手助け状況別支援を受けていない理由【複数回答】



(集計対象: 行政機関・NPO 等の民間団体からの支援を「受けていない」と回答した 2,006 人)

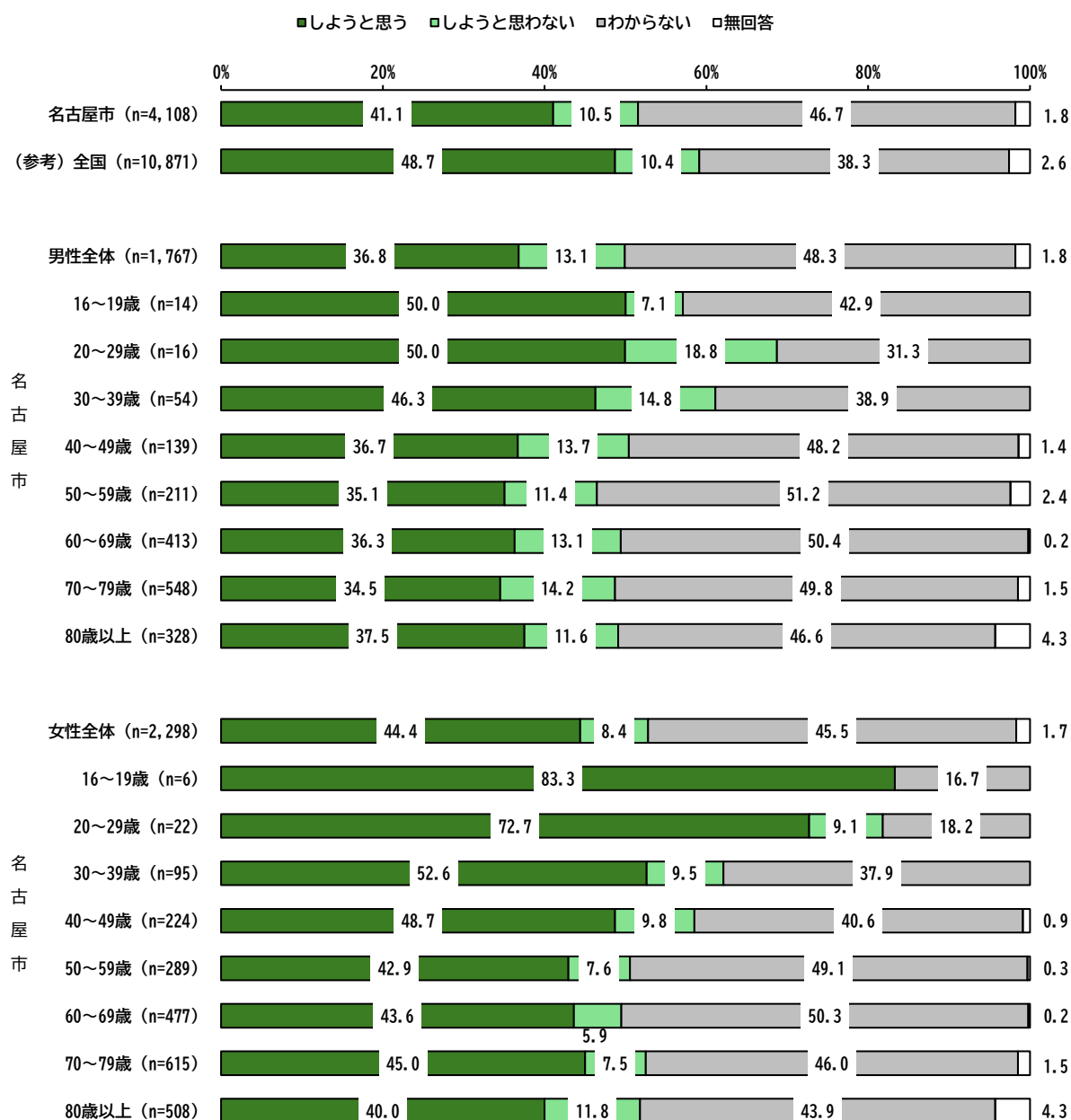
(18) 男女、年齢階級別他者へのサポート意識(社会的サポート)

他者への手助けを「しようと思う」と回答した人の割合は 41.1%、「しようと思わない」は 10.5%、「わからない」は 46.7%となっている。

手助けを「しようと思う」と回答した人の割合は、全国調査と比較すると低くなっている。

手助けを「しようと思う」と回答した人の割合は、男性が 36.8%、女性が 44.4%となっている。これを男女、年齢階級別にみると、男性では 30 歳代で、女性では 20 歳代から 40 歳代で高くなっている。

【図 2-20】男女、年齢階級別他者へのサポート意識（名古屋市、全国）



(注) 男性及び女性の「16～19 歳」及び男性の「20～29 歳」については、回答者数が些少のため、参考値。

3 自由意見

孤独・孤立の問題に関して日頃お感じになっていることがあればご自由にお書きください。

具体的な記述内容は、以下の表のとおりである。（一部抜粋。原文ママ）

□考え方	
	・ ある程度、人間は孤独。
	・ 人と関わるのは好きだが、同じようにひとりの時間も大事。
	・ たまに自身が孤独感を感じ、生きる事の意味を問う。
	・ 生きがいがあればさほど孤独感はなくなると思う。
	・ 孤独・孤立になる原因は、社会的な背景、個々人のこれまでの他人とのかかわり方等、非常に多くあると思う。
	・ 孤独にはペットがいると元気になると思う。
	・ 何でも話せる友人が一人でも居ればいいのだと思う。
□孤独・孤立の経験	
	・ 病気になった時は孤独感を感じる。
	・ 転居で長らく住んでいた所から出て、中々親しい人が出来なくて淋しい思い。
	・ 夜になると、一人ぼっちが寂しい時がある。
	・ いくら配偶者がいても、意見が全くあわない時は反対された時孤独を感じる。
	・ 病気で仕事に行っていない時期は孤独を感じる事があった。職場へ復帰すると解消された。社会とのつながりがあるだけで孤独感はどうすると思う。
	・ 自営業として 40 余年、明け暮れました。今までは仕事を通じて多くの人と接しましたが、それがなくなり、ふと寂しく感じることも時々あります。
	・ 夫と死別後息子夫婦と二世帯住宅とはいえ、ほとんど交流は無く孤独。
	・ 家族がいても自分の話を聞いてもらえなかったら孤独を感じる。
	・ 子育ては意外に孤独を感じる。
	・ 過去の介護経験から家族の介護をしている時に、他の誰も援助が無いと孤独を感じるようになると思う。
	・ 家族の介護をしていた時は強い孤独感孤立感をずっと感じていた。
	・ 会社の友人や居住する町内会、近所の人とのつながりが退職や転居する事によって切れてしまったり、疎遠になり、やがて孤独・孤立が広がっていく感じである。
□今後の不安	
	・ 子供が家を出て、配偶者が亡くなったら、孤独になるだろうと感じる。
	・ 今は車の運転をしているので自由にどこにでも行けるので楽しいですが運転ができなくなると買い物が不便になると思い孤立すると思います。
	・ 今後高齢で不自由になり、介護の事や急病等で孤独死が不安です。
	・ 今はまだ仕事をしているのであまり感じることはないが、50 代に入って定年後のことをたまに考えるようになった。

	・ 現在は仕事を継続しているので、外出、人と会う機会は多く、孤独ではないが、退職した後は淋しく思う日々があるのではないかと考えている。
	・ 母親が亡くなると確実に一人になります。
	・ 老後、1人で動けなくなった時、意志を伝えられなくなった時、誰に頼ればいいのか、誰がお世話してくれるのか不安です。
	・ 今は夫婦で暮らしているので不安はないが、1人になったら困る、近くに知り合いもなく友人もいないので不安です。
□コミュニティ	
	・ 何らかのコミュニティに参加が必要と感じる。
	・ 地域コミュニティがないので、少し足を伸ばしてボランティア活動をしている。心穏やかにいられる居場所が、地域にあればいいと思う。
	・ 地域のコミュニティがますます弱くなっており、孤立する人がいることすら分からない状況。隣近所の人同士が声掛けあえることが大切だと思う。地域の“おっせっかい役”をつくる仕組みがあればと考える。
	・ 気軽に寄れるコミュニティセンターの充実。(囲碁、将棋、カラオケ、絵画、俳句等)
	・ コミュニティセンターを活用して、気楽に参加できる企画あると良いですね。
	・ 孤独、孤立している人達のコミュニティがあれば参加したい。
□気軽に話せる環境・人づくり	
	・ 学力と同じように小さい頃から自然なコミュニケーションの取り方を学ぶ必要があると感じます。
	・ 人との関わり合いが、どの立場においても負担にならないような場所、社会があれば良いと思います。
	・ 都会はどこでも孤独な面はありますが、慣れてしまっている所もあります。気軽に相談できる場所があればいいと思います。
	・ 健康について、無料で気軽に相談できる場所があると助かります。
	・ 人と話す機会があまりない。自分が動けないからもあるが…。
	・ 市役所、空いている部屋、場所あるのでお金をかけずに人々が趣味で集まる場所を提供するぐらいで何人かの孤独の人は減らせると思います。
	・ 孤立している人が気軽に立ち寄れる場所が公であるといい。
	・ 仲間・同じ境遇の人の接触がない。気楽に入退が出来る趣味の集まり、近所付き合いが無い。
	・ なるべく人との会話を心がけて生活しようと思っています。
	・ 積極的に人との出会いを求めたり、人がいる場所(スーパーやショッピングモールなど)へ行けば自然に人との関わりはできる。
	・ 日頃からコミュニケーションを積極的にとっている事で深刻な事態は回避できると思っています。
	・ コミュニケーションを取りたいと思っても迷惑になると思い躊躇してしまう。

	・ まったく知らない人同士、ちょっとしたよいこと、どここの公園の花が見頃だとか、どここの店がおいしいとか、お得とか、マウントもなくたわいもないことを話す安全なコミュニティとかなのかなと思います。
□支援・相談に関する情報の提供	
	・ 孤独・孤立の相談窓口がいつも相談できるところが(場所)わからない。
□行政による支援	
	・ 家族支援や老若男女問わない孤立防止の支援が大切だと思う。
	・ 地域活動(自治会・町内会・老人会等)への積極的な参画、参加が必要と考える。また、こうした地域活動に対する行政支援。(特に補助金や助成金等の援助)

孤立に関する指標（研究会における試案）

孤独・孤立の実態把握に関する研究会（人々のつながりに関する基礎調査（令和 6 年）を行った調査実施事務局が設置した研究会）では、孤立に関する指標について検討を行っている。本市においても、当研究会と同様の指標を用いて、本調査で把握している孤立に関する事項及び先行研究⁴における孤立の類型及び操作的定義を踏まえ、社会的交流及び社会的サポート（受領）からみた孤立について、指標化を検討した。

ア 社会的交流：家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた孤立

本調査では、社会的交流に関して、家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（問 16）を把握している。同居していない家族や友人たちとは手段別（3種）のコミュニケーション頻度、同居している人たちとは直接会って話す頻度について尋ねていることから、これらを合算した総合的なコミュニケーション頻度を求め、それが一定以下となっている者を、孤立状態にある可能性が高いと判定するものである。

具体的な算出手順は以下のとおり。

（ア）合計スコアの算出

1か月の平均が 4.3 週（365 日 ÷ 12 か月 ÷ 7 日）となることから、先行研究に倣い週 1 回 = 4.3 回とし、これを基準として、コミュニケーション頻度別の換算ウェイトを次のとおり定めた。

頻度	換算ウェイト	備考
全くない	0	
月 1 回未満	0.5	
月 1 回程度	1.0	
2 週間に 1 回程度	2.2	2 週に 1 回 → 週 0.5 回、 0.5×4.3
週 1 回程度	4.3	$365 \text{ 日} \div 12 \text{ か月} \div 7 \text{ 日} = 4.3$
週 2 ～ 3 回程度	10.8	週 2 ～ 3 回 → 週 2.5 回、 2.5×4.3
週 4 ～ 5 回以上	19.4	週 4 ～ 5 回 → 週 4.5 回、 4.5×4.3

問 16(1) ①直接会って話す、②電話（ビデオ通話含む）、③SNS や電子メール並びに問 16(2) のそれぞれについて、「全くない」を 0 点、「月 1 回未満」を 0.5 点、「月 1 回程度」を 1 点、「2 週間に 1 回程度」を 2.2 点、「週に 1 回程度」を 4.3 点、「週 2 ～ 3 回程度」を 10.8 点、「週 4 ～ 5 回以上」を 19.4 点としてスコア化し、合計した。

4 齊藤雅茂，近藤克則，他：健康指標との関連からみた高齢者の社会的孤立基準の検討：10 年間の AGES コホートより，日本公衆衛生雑誌，62(3)：95-105，2015。

孤立指標と健康との関連については、以下の論文も参考とした。

Saito M, Aida J, et al. : Cross-national comparison of social isolation and all-cause mortality among older adults: A 10-year follow-up study in England and Japan. *Geriatrics and Gerontology International*, 21(2):209-214. 2021.

合計スコア = 問 16(1)①(直接会って話す)のスコア(換算ウェイト)
 + 問 16(1)②(電話)のスコア
 + 問 16(1)③(SNS や電子メールなど)のスコア
 + 問 16(2)のスコア

※ 問 16(2)は同居している人がいる場合のみ。問 16(1)①～③、問 16(2)のいずれかに回答がある場合は合計スコアを算出するが、問 16(1)①～③、問 16(2)の全てが無回答の場合は算出対象外とした。

(イ) 総合的なコミュニケーション頻度への換算

スコア合計値を基に、以下のとおり総合的なコミュニケーション頻度に換算し、家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた孤立について検討した。先行研究における社会的孤立の操作的定義や本調査における質問内容などを踏まえ、交流頻度が「週に1回未満」となっている者(「2週間に1回程度」、「月1回程度」及び「月1回未満」のいずれかに該当する者)を、孤立状態にある可能性が高いと考えられる者とした(注)。

頻度	スコア合計値		備考
月 1 回未満	0 以上	1 未満	「全くない」を含む
月 1 回程度	1 以上	2 未満	月 1 回程度=2 未満
2 週間に 1 回程度	2 以上	4.3 未満	
週 1 ～ 2 回未満	4.3 以上	8.6 未満	週 1 =4.3
週 2 ～ 3 回未満	8.6 以上	12.9 未満	週 2 =4.3×2
週 3 ～ 4 回未満	12.9 以上	17.2 未満	週 3 =4.3×3
週 4 ～ 6 回未満	17.2 以上	25.8 未満	週 4 =4.3×4
1 日 1 回程度 (週 6 ～ 9 回未満)	25.8 以上	38.7 未満	週 6 =4.3×6
毎日頻繁 (週 9 回以上)	38.7 以上		週 9 =4.3×9

注) 先行研究では、「同居者以外との対面・非対面交流をあわせて週に 1 回未満という状態までがその後の要介護状態や認知症と関連し、月 1 回未満になると早期死亡とも密接に関連する交流の乏しさであることから、これらが社会的孤立の妥当な操作的定義であることが示唆された。」としている。

【家族や友人たちとのコミュニケーション頻度からみた算出結果】

総合的なコミュニケーション頻度が「週に1回未満」となる者の割合は 8.0%となっている。なお、参考までに、「週1回程度以下」となる者の割合をみると12.3%となっている。

(上段：実数、下段：%)

全体	毎日頻繁（週9回以上）	1日1回程度（週6～9回未満）	週4～6回未満	週3～4回未満	週2～3回未満	週1～2回未満（週1回程度）	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満（全くないを含む）	週に1回未満	【参考】 週1回程度以下
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	8+9+10	7+8+9+10
4,108	1,285	663	1,301	116	175	176	120	92	118	330	506
100.0	31.3	16.1	31.7	2.8	4.3	4.3	2.9	2.2	2.9	8.0	12.3

参考：同居している人たちと直接会って話す頻度を除いた場合

4,108	517	452	700	255	391	488	491	357	332	1,180	1,668
100.0	12.6	11.0	17.0	6.2	9.5	11.9	12.0	8.7	8.1	28.7	40.6

参考：

先行研究では、同居していない者との接触頻度を用いる事例が多い。これに倣い、同居している人たちと直接会って話す頻度を除いた場合の合計スコアを算出し(注)、前記(イ)のとおり換算すると、コミュニケーション頻度が「週に1回未満」となる者の割合は 28.7%、「週1回程度以下」となる者の割合は 40.6%となる。

ただし、先行研究では交流相手に「近所の人」や「職場の人」などを含めるケースもあるのに対し、本調査では、交流相手を「家族や友人たち」としている点に留意が必要である。

注)この場合の合計スコアの算出式は以下のとおり。

合計スコア = 問 16(1)①(直接会って話す)のスコア
+ 問 16(1)②(電話)のスコア
+ 問 16(1)③(SNS や電子メールなど)のスコア

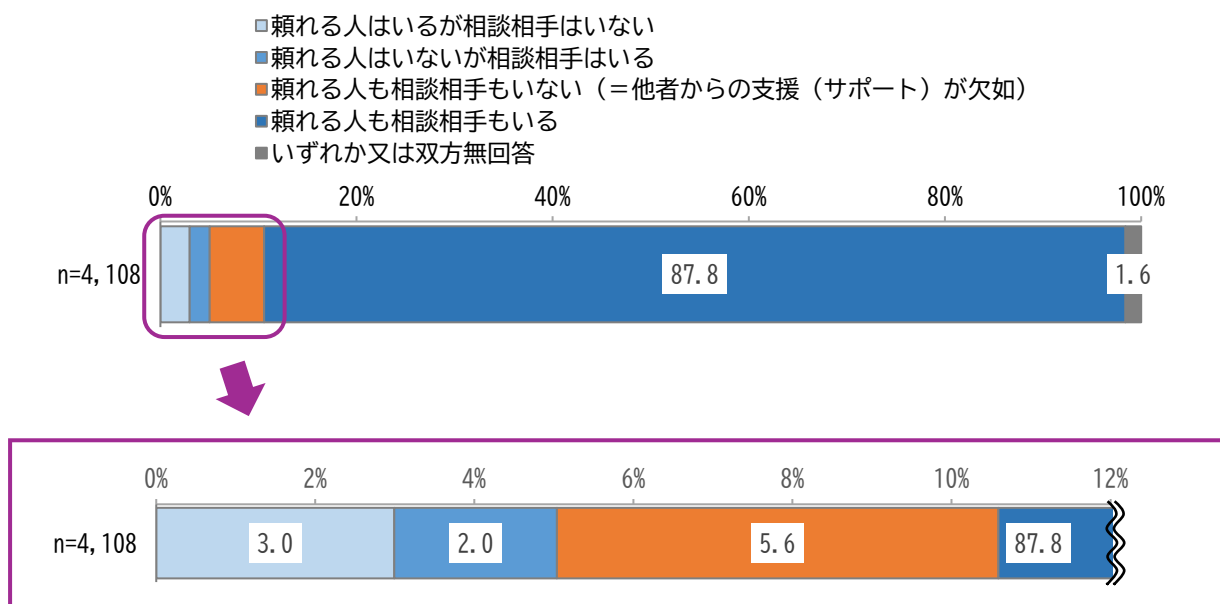
イ 社会的サポート（受領）：困った時に頼れる人の有無及び相談相手の有無からみた孤立

本調査では、孤独・孤立に関する事項の関連事項として、「困った時に頼れる人の有無（問 18）」や「不安や悩みの相談相手の有無（問 19）」を把握している。これらは他者からの支援（サポート）の受領状況を示しており、困った時に頼れる人及び相談相手の双方を持たない者を、孤立状態にある可能性が高いと判定するものである。

困った時に頼れる人の有無及び不安や悩みの相談相手の有無を以下のとおり組み合わせで集計し、「頼れる人も相談相手もない」に分類される者を、孤立状態にある可能性が高いと考えられる者とした。

【困った時に頼れる人の有無×不安や悩みの相談相手の有無に関する集計結果】

「頼れる人も相談相手もない」に該当した人は 228 人で、回答者(4,108 人)に占める割合は、5.6%となっている。



孤立状態にある可能性が高いと考えられる者の指標を属性別に分析すると次のとおりになっている。

		n	指標			
			家族や友人たちとのコミュニケーション頻度から測定した場合（週に1回未満）		他者からの支援の受領状況から測定した場合（頼れる人も相談相手もない）	
			名古屋市	（参考）全国	名古屋市	（参考）全国
全体		4,108	8.0	5.8	5.6	5.7
年齢	16～19 歳	21	0.0	1.0	4.8	3.3
	20～29 歳	38	0.0	6.1	2.6	4.8
	30～39 歳	150	2.7	4.6	2.7	6.6
	40～49 歳	366	3.0	3.9	7.9	6.4
	50～59 歳	509	6.1	4.7	8.1	8.2
	60～69 歳	892	7.8	5.7	6.7	5.8
	70～79 歳	1,164	9.1	8.4	4.3	4.4
	80 歳以上	838	11.1	8.2	3.9	3.2
	（再掲）20～64 歳	1,466	5.3	4.6	7.2	6.7
	（再掲）65～74 歳	1,036	8.3	7.7	4.9	4.7
	（再掲）75 歳以上	1,455	10.4	8.4	4.3	3.8
男女	男性	1,767	10.5	7.5	8.9	8.1
	女性	2,298	6.2	4.3	2.8	3.4
性年齢	男性全体	1,767	10.5	7.5	8.9	8.1
	16～19 歳	14	0.0	1.4	7.1	4.1
	20～29 歳	16	0.0	7.3	6.3	6.3
	30～39 歳	54	3.7	5.4	3.7	7.8
	40～49 歳	139	3.6	6.0	13.7	10.0
	50～59 歳	211	8.1	7.0	13.7	11.4
	60～69 歳	413	11.4	7.2	9.9	8.3
	70～79 歳	548	11.5	10.8	6.6	6.8
	80 歳以上	328	13.7	8.1	7.3	4.6
	女性全体	2,298	6.2	4.3	2.8	3.4
	16～19 歳	6	0.0	0.7	0.0	2.0
	20～29 歳	22	0.0	4.7	0.0	3.0
	30～39 歳	95	2.1	3.8	2.1	5.3
	40～49 歳	224	2.7	2.1	4.5	3.0
	50～59 歳	289	4.2	2.8	3.1	5.5
	60～69 歳	477	4.8	4.0	3.6	3.4
	70～79 歳	615	7.0	5.9	2.3	2.0
	80 歳以上	508	9.4	8.3	1.8	2.1
配偶者の有無	未婚	589	17.5	11.5	14.6	10.2
	配偶者あり	2,551	4.0	2.4	3.5	4.0
	死別	658	11.2	9.5	2.6	3.2
	離別	270	17.4	14.5	11.9	10.8
同居人の有無	同居人がいる	3,261	3.7	2.2	4.4	4.9
	同居人がいない	810	25.2	25.6	10.0	9.9

		n	指標			
			家族や友人たちとのコミュニケーション頻度から測定した場合（週に1回未満）		他者からの支援の受領状況から測定した場合（頼れる人も相談相手もない）	
			名古屋市	（参考）全国	名古屋市	（参考）全国
全体		4,108	8.0	5.8	5.6	5.7
現在の仕事	正規の職員・従業員	681	3.7	5.8	5.3	7.4
	非正規の職員・従業員	759	7.5	4.0	6.7	4.6
	会社などの役員	185	2.7	1.8	5.4	2.7
	自営業主	304	4.6	3.7	6.6	7.9
	家族従業者・内職	82	2.4	2.6	0.0	2.1
	学生・生徒	24	0.0	1.2	0.0	3.7
	失業中	128	7.8	7.9	13.3	9.4
	無職	1,470	10.8	7.8	4.7	4.4
	その他	306	11.4	11.3	6.2	6.0
世帯の年間収入	100万円未満	334	17.7	11.4	8.7	7.7
	100～199万円	540	17.0	11.9	9.4	7.2
	200～299万円	718	9.3	7.5	5.3	6.0
	300～399万円	488	7.2	5.3	5.3	5.7
	400～499万円	329	5.2	4.3	5.2	6.0
	500～699万円	458	2.6	4.8	3.7	4.8
	700～999万円	377	2.4	2.7	4.8	4.3
	1,000～1,499万円	232	0.9	1.1	1.7	4.4
	1,500万円以上	135	3.0	0.7	5.9	2.4
経済的な暮らし向き	大変ゆとりがある	114	3.5	6.1	4.4	1.0
	ややゆとりがある	558	4.1	4.2	2.9	2.4
	普通	2,052	6.8	4.8	3.1	3.6
	やや苦しい	975	9.8	6.6	7.9	5.7
	大変苦しい	349	18.1	9.8	18.6	15.8
社会参加の状況	参加している	1,929	5.1	3.6	3.4	3.5
	特に参加していない	2,060	10.4	7.9	7.8	7.6
困った時に頼れる人の有無	いる	3,753	6.6	4.7	-	-
	いない	314	23.9	18.7	72.6	75.7
不安や悩みの相談相手の有無	いる	3,698	6.3	4.5	-	-
	いない	352	24.7	18.8	64.8	64.8
気軽に話せる相手の有無	いる	3,688	5.7	4.1	2.1	2.1
	いない	366	28.1	25.5	41.5	48.9
行政機関やNPO等からの支援の状況	受けている	290	13.8	7.3	5.5	4.2
	受けていない	2,006	7.6	5.9	6.6	6.4
心身の健康状態	よい	754	4.2	2.9	2.3	1.5
	まあよい	1,129	5.3	3.8	2.7	3.5
	ふつう	1,434	9.8	5.9	6.1	4.8
	あまりよくない	624	12.0	9.1	11.1	12.3
	よくない	124	13.7	11.8	17.7	17.5
現在の生活への満足度	満足している	684	4.1	2.6	2.0	1.2
	まあ満足している	1,975	6.3	3.8	2.5	2.2
	どちらともいえない	850	12.2	7.9	9.4	7.5
	やや不満である	392	10.7	9.2	9.2	11.2
	不満である	169	13.6	13.5	27.2	24.8
孤独感（直接質問）	しばしばある・常にある	132	25.8	21.2	33.3	32.5
	時々ある	486	13.2	9.2	13.2	11.4
	たまにある	628	10.5	6.5	7.6	5.6
	ほとんどない	1,831	6.5	3.8	2.8	2.6
	決してない	968	4.2	2.7	1.8	1.5
孤独感（間接質問）	10～12点（常にある）	221	19.9	16.1	27.1	29.3
	7～9点（時々ある）	1,454	10.0	7.2	7.8	6.9
	4～6点（ほとんどない）	1,690	5.9	3.7	2.4	2.1
	3点（決してない）	648	3.5	2.2	1.1	0.8

第3 単純集計結果付き調査票

名古屋市孤独・孤立に関する調査

このたびはお忙しい中、調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

『名古屋市孤独・孤立に関する調査』は、市内の満16歳以上の方10,000人を対象に、日常生活の状況などについてお伺いするもので、調査結果は市の今後の施策の基礎資料とさせていただきます。

皆様のご意見は、調査対象者が特定されないよう全体を集計します。また、回答内容や個人情報が入記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

質問数が多く、記入時間も長くなり大変恐縮ですが、以下の注意事項をお読みいただき、ご回答くださいますよう、お願い申し上げます。

【ご記入にあたってのお願い】

- ・調査票には、あて名のご本人様がお答えください。
- ・名前は、書かないでください。
- ・自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。また、答えたくない質問には答えなくても大丈夫です。
- ・ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- ・選択肢番号に○を1つつけてお答えください（一部、記入式やいくつでも○をつけてよい設問もあります）。
- ・お手数ですが、記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、

7月13日（日）までに投函してください。

※なお、インターネットでご回答いただくこともできます。質問内容は同じですので、郵送またはインターネットのいずれかの方法で、上記期日までにご回答ください。インターネットでの回答は、下記URLまたは二次元コードからお願い申し上げます。

【インターネット回答用のURL】

https://www17.webcas.net/form/pub/research/nagoya_city

回答者ID：000000

⇒インターネットでご回答いただく際にはIDの入力が必要となります。

【二次元コード】



【調査主体】 名古屋市健康福祉局地域共生推進部地域共生推進課

【調査実施機関・お問い合わせ先】 株式会社BIZPOWER 調査担当

(TEL) 048-645-8368 (MAIL) contact@bizpower.co.jp

このアンケートへの回答は、1人1回までです。郵送かインターネットのどちらか一方でのみご回答ください。

※「調査票・単純集計表」の集計母数の表記について

特にサンプル数の表記のない設問は、全数ベース（n=4,108）で集計しており、集計母数の記載（n=4,108）を割愛した。なお、一部の該当設問については、設問ごとにその設問の集計母数を記している。

問1 あなたの年齢（令和7年（2025年）5月1日現在）を記入してください。

_____ 歳

0.5 16～19歳 8.9 40～49歳 28.3 70～79歳
0.9 20～29歳 12.4 50～59歳 20.4 80歳以上
3.7 30～39歳 21.7 60～69歳 3.2 無回答

問2 あなたの性別をお答えください。

43.0 男性 0.4 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）
55.9 女性 0.7 無回答

問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含めます。

14.3 未婚 62.1 配偶者あり 16.0 死別 6.6 離別 1.0 無回答

問4 あなたは、現在、お子さんはいらっしゃいますか。離れてくらしているお子さんも含めてお答えください。

76.7 いる 22.2 いない 0.4 その他（わからない・答えたくない） 0.7 無回答

問5 あなたの世帯（家族以外の同居人含む）構成をお答えください。なお、「夫婦」「両親」には婚姻届を提出していない場合や、同性パートナーを含めます。

21.4 ひとり世帯 24.0 二世帯世帯（両親と子） 4.7 その他の世帯
34.8 一世帯世帯 7.6 二世帯世帯（ひとり親と子） 2.1 無回答
（夫婦のみ） 5.4 三世帯世帯（親と子と孫）

→「ひとり世帯」、「一世帯世帯」、「その他の世帯」と回答した場合は問6へ

【問5で「二世帯世帯」、「三世帯世帯」と回答した方へ】

問5-1 あなたは、どの世代に当たりますか。 n=1,521

70.7 いちばん上の世代（二世帯世帯の親、三世帯世帯の親）
4.7 真ん中の世代（三世帯世帯の子）
16.1 いちばん下の世代（二世帯世帯の子、三世帯世帯の孫）
8.5 無回答

→「いちばん下の世代」と回答した場合は問6へ

【問5－1で「いちばん上の世代」、「真ん中の世代」と回答した方（世帯の中にあなたのお子さんがいる方）へ】

問5－2 同居しているあなたのお子さんと一番若い方の年齢（令和7年（2025年）5月1日現在）を記入してください。n=1,146

_____ 歳

6.2 6歳未満 80.5 6歳以上 13.3 無回答

【再び、全員の方へ】

問6 あなたは現在、何人でお住まいですか。あなた自身を含めた人数を記入してください（ひとり暮らしの場合は1と記入）。

_____ 人

19.7 1人 19.2 3人 6.2 5人以上

40.9 2人 10.7 4人 3.2 無回答

問7 あなたが最後に卒業した学校、または現在、在学している学校をお答えください。

12.7 小学校・中学校	11.4 短大・高専	0.4 その他
36.4 高校（旧制中学校を含む）	26.7 大学	1.3 無回答
9.4 専門学校	1.7 大学院	

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事（一番長い時間している仕事）についてお答えください。

16.6 正規の職員・従業員
18.5 非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト（学生アルバイトを除く））
4.5 会社などの役員
7.4 自営業主
2.0 家族従業者・内職
0.6 学生・生徒
3.1 収入をともなう仕事をしていない（仕事を探している）
35.8 収入をともなう仕事をしていない（仕事を探していない）
7.4 その他
4.1 無回答

問9 あなたは、ふだん家族・親族の介助や看病（日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けを継続的にすること）をしていますか。

11.2 している	87.6 していない	1.2 無回答
-----------	------------	---------

問10 あなたの現在のお住まいをお答えください。

- 54.0 持ち家（一戸建）
- 22.5 持ち家（マンションなどの共同住宅）
- 11.4 民営の賃貸住宅
- 8.4 市営住宅・県営住宅・都市再生機構（UR）・公社
- 0.7 給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舍
- 2.1 その他・わからない
- 0.9 無回答

問11 あなたの世帯の令和6年（2024年）における年間収入（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には営業利益（税込み）をお答えください。なお、年金は収入に含みます。

- | | | |
|----------------|-------------------|---------------|
| 8.1 100万円未満 | 8.0 400～499万円 | 3.3 1,500万円以上 |
| 13.1 100～199万円 | 11.1 500～699万円 | 7.6 わからない |
| 17.5 200～299万円 | 9.2 700～999万円 | 4.5 無回答 |
| 11.9 300～399万円 | 5.6 1,000～1,499万円 | |

問12 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。

- | | |
|---------------|------------|
| 2.8 大変ゆとりがある | 23.7 やや苦しい |
| 13.6 ややゆとりがある | 8.5 大変苦しい |
| 50.0 普通 | 1.5 無回答 |

問13 あなたは日頃どの程度、外出していますか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 49.0 週5日以上 | 4.7 週1日未満 |
| 26.6 週3～4日程度 | 2.9 外出しない |
| 15.7 週1～2日程度 | 1.0 無回答 |
- 「週1日未満」、「外出しない」と回答した場合は問14へ

【問13で「週5日以上」、「週3～4日程度」、「週1～2日程度」と回答した方へ】

問13-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。（〇はいくつでも） n=3,750

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 43.8 仕事・学校 | 71.7 食事・買い物・日常の用事 |
| 25.9 人とのつきあい・交流 | 33.1 通院 |
| 43.8 趣味や娯楽、散歩や運動 | 5.6 その他 |
| 6.8 地域活動・ボランティア活動 | 0.9 無回答 |

【再び、全員の方へ】

問14 最近1週間の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。(〇はいくつでも)

72.4	自宅（自室）
66.7	自宅（家族と共用の部屋）
18.3	親族・友人等の家
40.6	職場や学校等の拠点
33.0	趣味や活動等の拠点（職場・学校以外）
77.5	商業施設・娯楽施設（スーパーやショッピングセンター、映画館など）
45.4	公共施設・医療施設（公園、図書館、公民館、診療所など）
6.7	その他
0.8	無回答

問15 では、最近1ヶ月の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。

(〇はいくつでも)

75.0	自宅（自室）
69.6	自宅（家族と共用の部屋）
29.9	親族・友人等の家
42.4	職場や学校等の拠点
42.2	趣味や活動等の拠点（職場・学校以外）
84.5	商業施設・娯楽施設（スーパーやショッピングセンター、映画館など）
65.1	公共施設・医療施設（公園、図書館、公民館、診療所など）
9.7	その他
0.6	無回答

問16 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

(1) あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～③ごとにそれぞれお答えください。

	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない	無回答
① 直接会って話す	19.3	13.4	15.5	9.3	14.6	11.6	8.0	8.3
② 電話（ビデオ通話含む）	8.8	10.6	12.1	8.7	13.2	13.1	16.2	17.2
③ SNSや電子メールなど	18.8	13.1	10.2	6.9	8.5	6.9	16.1	19.4

※SNSでのコミュニケーションは、アプリケーションによるチャットなど、テキストベース（文字情報）でのやりとりを指します。また、電子メールには、SMS（ショートメッセージサービス）も含まれます。

(2) (同居している人がいる場合にお答えください)

あなたと同居している人たちとのコミュニケーションについて、直接会って話す頻度をお答えください。 n=3, 261

83.4	週4～5回以上	0.2	月1回程度
3.8	週2～3回程度	0.5	月1回未満
1.3	週1回程度	0.6	全くない
0.2	2週間に1回程度	10.0	無回答

問17 あなたは現在、どのような活動に参加をしていますか。人と交流する活動についてお答えください。(〇はいくつでも)

13.8	PTA・自治会・町内会などの活動
4.1	子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動
5.3	上記以外のボランティア活動
33.9	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)
7.1	その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)
50.1	特に参加はしていない
2.9	無回答

問18 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。

91.4	いる	7.6	いない	1.0	無回答
→「いない」と回答した場合は問19へ					

【問18で「いる」と回答した方へ】

問18-1 あなたは誰を頼りますか。(〇はいくつでも) n=3, 753

95.5	家族・親族
45.0	友人・知人
7.7	自治会・町内会・近所の人
13.2	仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)
8.7	行政機関(区役所・支所・各種相談支援機関)
1.0	NPO等の民間団体・ボランティア団体
2.7	社会福祉協議会
20.8	病院・診療所の医師
1.9	その他
0.8	無回答

【再び、全員の方へ】

問19 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。

90.0	いる	8.6	いない	1.4	無回答
→「いない」と回答した場合は問20へ					

【問19で「いる」と回答した方へ】

問19-1 あなたは誰に相談しますか。（〇はいくつでも）

n=3, 698

- 94.0 家族・親族
- 49.7 友人・知人
- 4.6 自治会・町内会・近所の人
- 12.2 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
- 6.8 行政機関（区役所・支所・各種相談支援機関）
- 1.1 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 2.3 社会福祉協議会
- 18.0 病院・診療所の医師
- 2.2 その他
- 0.5 無回答

【再び、全員の方へ】

問20 あなたには、ふだん気軽に話せる相手はいますか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 89.8 いる | 8.9 いない | 1.3 無回答 |
|---------|---------|---------|

問21 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。

（〇はいくつでも）

- 57.3 相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる
- 68.5 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
- 7.1 相談することが面倒である
- 3.9 相談することが恥ずかしい
- 8.3 相談すると相手の負担になる
- 8.7 相談しても無駄である（相談しても解決しない）
- 3.2 その他
- 2.2 無回答

問22 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか（既に相談機関等に繋がっている場合も含む）。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 65.2 ある | 33.5 ない | 1.4 無回答 |
|---------|---------|---------|

→「ない」と回答した場合は問24へ

【問22で「ある」と回答した方へ】

問22-1 不安や悩みはどのような内容ですか。（〇はいくつでも）

n=2, 677

- 65. 7 自分の健康
- 44. 6 家族の健康、介護
- 16. 4 住まい
- 8. 8 進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題
- 8. 7 結婚、子育てなど、生活上の問題
- 42. 0 収入や資産、老後の生活設計
- 13. 3 家族・親族間の人間関係
- 3. 9 近隣・地域との関係
- 6. 6 学校や勤務先での人間関係
- 5. 0 事業や家業の経営上の問題
- 2. 2 金銭トラブル
- 10. 0 自然災害や事故、事件などの被害
- 1. 9 恋愛・性関係
- 4. 0 その他
- 9. 7 無回答

【問22で「ある」と回答した方へ】

問22-2 不安や悩みについて、家族・親族や友人・知人から、相談するなどの問題解決のための手助けを受けていますか。

n=2, 677

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| 44. 8 受けている | 44. 6 受けていない | 10. 6 無回答 |
|-------------|--------------|-----------|

【問22で「ある」と回答した方へ】

問23 あなたは、問22-1で回答した不安や悩みについて、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。

n=2, 677

- | | |
|--------------|------------|
| 10. 8 受けている | 2. 5 わからない |
| 74. 9 受けていない | 11. 8 無回答 |

→「受けていない」と回答した場合は問23-3へ、「わからない」と回答した場合は問24へ

【問23で「受けている」と回答した方へ】

問23-1 あなたはどのような支援を受けていますか。（〇はいくつでも）

n=290

- 23. 1 経済的な支援（給付や貸付等）
- 3. 1 現物提供等の支援（食料品・日用品の提供）
- 41. 0 人的な支援（世話や介護）
- 37. 9 相談支援（助言や情報提供等）
- 8. 6 その他（支援内容：_____）
- 7. 6 無回答

【問23で「受けている」と回答した方へ】

問23-2 あなたはどこから支援を受けていますか。（〇はいくつでも）

n=290

- 53.8 行政機関（区役所・支所・各種相談支援機関）
- 10.7 社会福祉協議会
- 4.8 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 3.1 自治会・町内会
- 11.7 その他（支援者：_____）
- 26.9 無回答

【問23で「受けていない」と回答した方へ】

問23-3 その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

n=2,006

- 61.5 支援が必要ではないため
- 14.6 支援が必要だが、我慢できる程度であるため
- 23.7 どのような支援があるのか知らないため
- 15.5 支援の受け方がわからないため
- 7.9 支援を受けるための手続きが面倒であるため
- 2.6 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため
- 1.7 支援を受けると相手に負担をかけるため
- 0.7 支援を申し込んだが断られたため
- 5.7 支援を受けても状況は変わらないと思うため
- 1.8 有料の支援やサービスを受けているため
- 2.1 その他（理由：_____）
- 7.0 無回答

【再び、全員の方へ】

問24 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。

- | | |
|---------------|------------|
| 41.1 しようと思う | 46.7 わからない |
| 10.5 しようと思わない | 1.8 無回答 |
- 「しようと思う」と回答した場合は問25へ

【問24で「しようと思わない」「わからない」と回答した方へ】

問24-1 その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

n=2, 349

20. 9 自分には役に立てることがない	10. 0 負担を感じる
37. 1 自分が何をすればよいかわからない	8. 4 面倒である
5. 2 手間をかけたくない	2. 8 誰かがやってくれると思う
5. 7 自分で解決すべきだと思う	3. 0 興味・関心がない
16. 8 人に声をかけづらい	18. 8 そのような余裕がない
27. 9 どのように接したらよいかわからない	4. 3 その他
47. 6 不安や悩みの内容によると思う	3. 1 無回答

【再び、全員の方へ】

問25 あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることがありますか。

21. 4 決してない	32. 2 時々ある	1. 5 無回答
36. 6 ほとんどない	8. 4 常にある	

問26 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

24. 9 決してない	22. 1 時々ある	1. 3 無回答
48. 5 ほとんどない	3. 1 常にある	

問27 あなたは、自分は他の人たちから孤立（社会とのつながりや助けのない又は少ない状態）していると感じることがありますか。

27. 4 決してない	19. 4 時々ある	1. 4 無回答
48. 7 ほとんどない	3. 1 常にある	

問28 あなたはどの程度、孤独（ひとりぼっちと感じる精神的な状態）であると感じることがありますか。

3. 2 決してない	44. 6 時々ある
11. 8 ほとんどない	23. 6 しばしばある・常にある
15. 3 たまにある	1. 5 無回答

問29 その状況（問28で回答した状況）はどの程度前から続いていますか。

3. 9 6ヶ月未満	6. 8 3年以上5年未満
2. 8 6ヶ月以上1年未満	45. 8 5年以上
5. 2 1年以上2年未満	11. 1 その他
4. 6 2年以上3年未満	19. 9 無回答

問30 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。（〇はいくつでも）

- 42. 6 一人暮らし
 - 61. 1 転居
 - 54. 0 転校・転職・離職・退職（失業を除く）
 - 18. 6 失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む）
 - 45. 0 妊娠・出産・子育て
 - 34. 8 介護・介助
 - 41. 6 子どもの独り立ち
 - 53. 4 家族の病気・障害
 - 18. 2 家族との離別
 - 63. 6 家族との死別
 - 39. 2 家族以外の親しい知人等との死別
 - 40. 7 ペットとの死別
 - 8. 3 家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む）
 - 30. 7 心身の重大なトラブル（病気・怪我等）
 - 10. 2 仕事上（職場）の重大なトラブル
 - 13. 6 人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）
 - 10. 5 金銭による重大なトラブル
 - 9. 5 生活困窮・貧困
 - 5. 4 自然災害の被災・犯罪の被害等
 - 2. 9 その他の出来事（その内容：_____）
 - 2. 1 いずれもない
 - 1. 3 無回答
- 「いずれもない」と回答した場合は問31へ

【問30で「一人暮らし」～「その他の出来事」と回答した方へ】

問30-1 現在の孤独感（問28で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。（〇はいくつでも） n=3, 969

12. 6	一人暮らし
3. 9	転居
6. 3	転校・転職・離職・退職（失業を除く）
3. 9	失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む）
4. 8	妊娠・出産・子育て
5. 3	介護・介助
6. 0	子どもの独り立ち
8. 7	家族の病気・障害
4. 5	家族との離別
20. 6	家族との死別
7. 1	家族以外の親しい知人等との死別
7. 4	ペットとの死別
3. 1	家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む）
8. 6	心身の重大なトラブル（病気・怪我等）
2. 5	仕事上（職場）の重大なトラブル
4. 8	人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）
3. 3	金銭による重大なトラブル
3. 8	生活困窮・貧困
0. 9	自然災害の被災・犯罪の被害等
1. 9	その他の出来事
31. 2	特に影響を与えたと思われる出来事はない
14. 7	無回答

【再び、全員の方へ】

問31 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。

18. 4	よい	34. 9	ふつう	3. 0	よくない
27. 5	まあよい	15. 2	あまりよくない	1. 0	無回答

問32 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

16. 7	満足している	9. 5	やや不満である
48. 1	まあ満足している	4. 1	不満である
20. 7	どちらともいえない	0. 9	無回答

30. 2 1時間未満
21. 2 1時間以上2時間未満
13. 9 2時間以上3時間未満
8. 6 3時間以上4時間未満
4. 4 4時間以上5時間未満
3. 4 5時間以上6時間未満
1. 2 6時間以上7時間未満
0. 8 7時間以上8時間未満
2. 0 8時間以上

12. 6 スマートフォンを使用していない・持っていない
1. 7 無回答

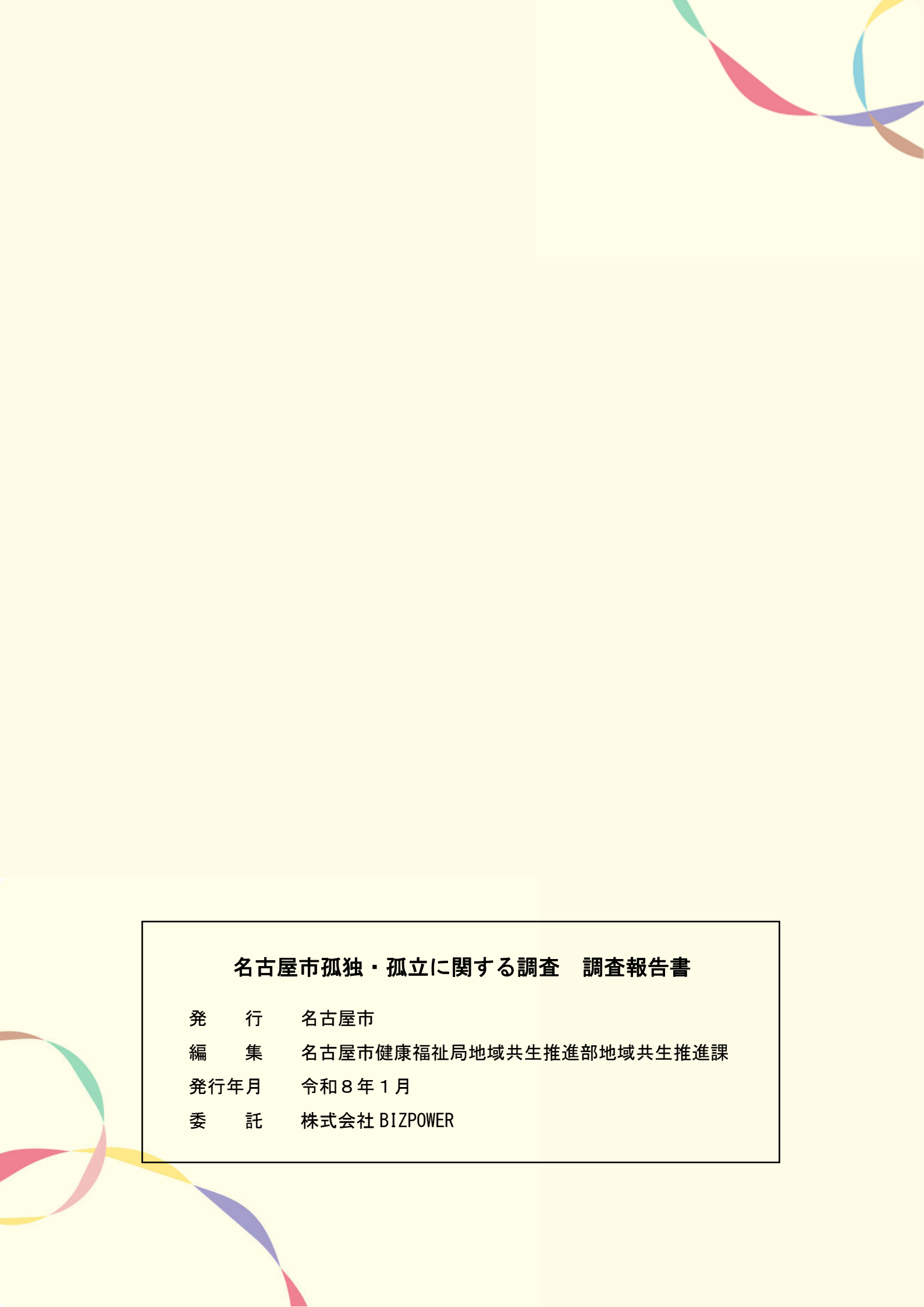
→「スマートフォンを使用していない・持っていない」と回答した場合は問34へ

問33-1 あなたは、生活をするうえでどれくらいスマートフォンを必要としていますか。

43.7 絶対に必要	4.9 どちらかといえば必要ではない
41.7 どちらかといえば必要	0.9 全く必要ではない
8.1 どちらともいえない	0.7 無回答

This image shows a blank sheet of white paper with a solid black border. Inside the border, there are six horizontal dashed lines spaced evenly apart, typical of primary-ruled notebook paper. The lines extend across the width of the page, leaving margins at the top and bottom. There is no handwriting or other markings on the paper.

85



名古屋市孤独・孤立に関する調査 調査報告書

発 行	名古屋市
編 集	名古屋市健康福祉局地域共生推進部地域共生推進課
発行年月	令和 8 年 1 月
委 託	株式会社 BIZPOWER